

巻頭言



2013年度は医療機能評価機構の3度目の更新を迎えるために院内の整備を進めました。過去2度審査を経験しており大きな組織改革や意識改革は必要ではありませんでしたが、時流に沿った対応やリハビリテーション専門病院としてのあるべき姿など、今までと少し異なる対応を求められそれに沿うように整備しました。職員一同見事なチームワークでらくらく乗り越えることができました。

昨年の診療報酬の改訂後新設された「新回復期病棟入院料 1」は成果主義の締め付けが厳しいもので、「在宅復帰率 7割以上」「重症患者入院割合 3割以上」「看護必要度 A 項目 1点以上の入院患者割合 1.5割以上」「看護配置 13対 1以上」の他、いくつかの高いハードルが設定された内容でありましたが、当院も安定的にすべての病棟でクリア可能でした。しかし2014年度の診療報酬改定ではさらに厳しい要件が課せられる見込みで、年度後半はそれに対応すべく情報収集と準備に追われました。

平成 26 年 7 月 吉日

院長 佐藤 信也

病院理念

「愛し愛される病院」

理念の実行目標

1. 患者さん個人の人権を尊重し、障がいを負っても人間らしさの復権のために貢献する
2. 地域社会の要請に応え住民の健康、福祉向上に貢献する
3. 職員のやる気とアイデアを大切にする

基本方針

1. 何人も平等に医療を受けられる病院づくり
2. プライバシー保護とインフォームドコンセントに基づいた患者さん中心の医療
3. 確固たるチームワークによる復帰へのサポート
4. 地域住民、地域医療機関との密着した医療
5. 医療人としての自覚と技術向上のための教育

患者さんの権利

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受ける事ができます
2. あなたは、医療行為について、自由な意思に基づき、同意・選択することができます
3. あなたは、医療行為に関し、医療者から十分な説明・報告を受ける事ができます
4. あなたは、自由に医療機関を選択する事ができます
5. あなたは、医療行為に関し、いつでも他の医療者の意見を求めることができます
6. あなたの個人の情報は、保護されます

2013 年度 事業計画

2013 年度は医療機能評価再受審の年度である。10 周年を済ませ、これからの 10 年を着実に進める一歩としたい。この機会に漫然となっている病院の診療体制の見直しを行う。その他マニュアルの整備を電子化にて行おうと思う。さらにホームページの充実や clinical indicator の公表を併せて行いたい。

近隣に新たに 150 床の回復期リハビリテーション病院の開設があり、129 床もの回復期病床を運営していくのは今後さらに難しくなっていきます。そのためにも全病棟新回復期入院料 1 の維持は絶対です。そして多くの期待に応えるためにも、他より一歩先んじなければなりません。それには今まで困難と思われていた患者を自宅に帰すといった試みを手がける必要もあるでしょう。人材の補充、発掘も急務です。

当院の弱みとしてハードウェア制限があります。長年の課題ですが解消できる方法が見つかりません。ソフトウェアの工夫によって対処する方法について、広く皆さんから意見・提案をいただくことを含め、以下計画を立案します。

1. 医療機能評価受審

- ① 医療機能評価受審へ向けてのスケジュール管理、委員会の立ち上げ
- ② 診療体制の見直しと整備
- ③ マニュアルの見直しと電子化（アイパッド等）の検討

2. リハビリテーション専門病院としてのアピール

- ① 新回復期リハビリテーション病棟入院料 1 の維持継続
- ② 学術活動支援・医学中央雑誌・会議室兼図書室の整備
- ③ リハビリテーション施行単位の充実と業務の効率化（継続）
- ④ 質の向上のためスタッフ教育体制の強化充実・人材の補充と発掘
- ⑤ 在宅復帰率や ADL 改善度など clinical indicator の公表
- ⑥ リハクリニックにおける在宅リハビリテーションサービスの充実
- ⑦ 車椅子他備品の充実

3. ブランドイメージの確立（継続）

- ① 学生の指導
- ② 学会等での研究、発表

4. 病病連携、病診連携の充実

- ① ホームページの充実、clinical indicator の公表
- ② 年報の早期発行・発送

5. 地域に優しいオープンな病院となる（継続）

- ① 地域医療機関の種々の職種のスタッフとの交流
- ② 地域活動への参加

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

病院概要

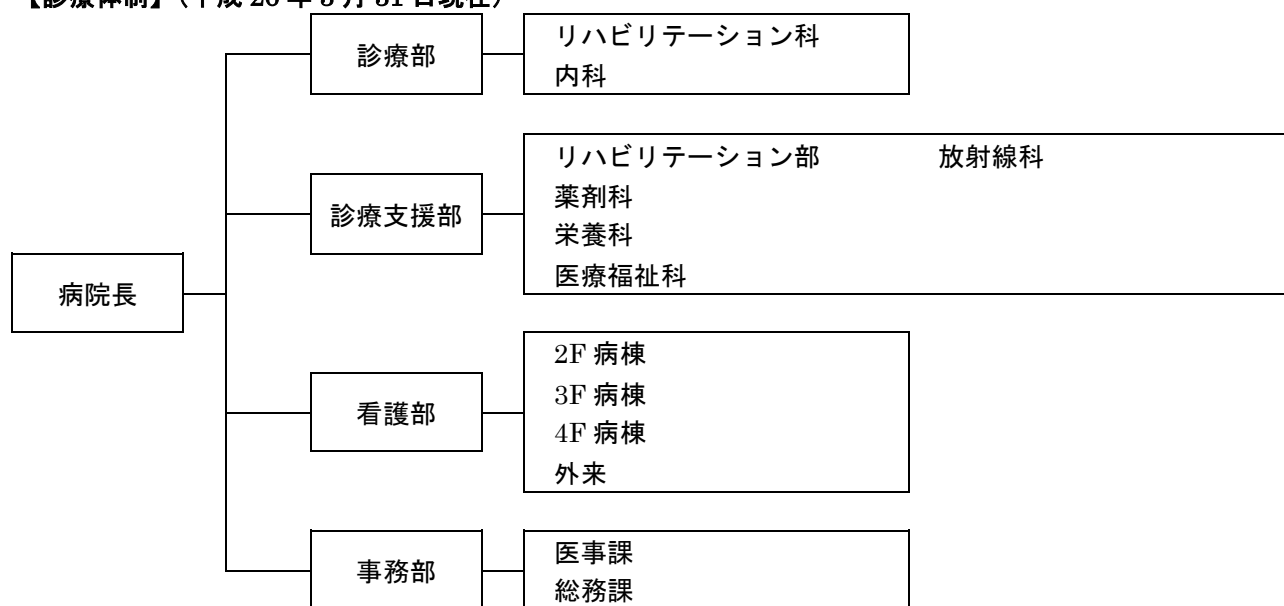
病院概要

- 【名 称】 医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院
- 【所在地】 〒335-0023 埼玉県戸田市本町1丁目14番1号
- 【連絡先】 TEL 048 (442) 1116 FAX 048 (442) 3500
- 【開設年月】 平成14年4月
- 【開設者】 理事長 中村毅
- 【管理者】 院長 佐藤信也
- 【診療科目】 内科、リハビリテーション科
- 【許可病床数】 療養129床
- 【建物概要】 鉄筋コンクリート造 地上5階建（工期：平成13年3月15日～平成14年2月15日）
- 【施設規模】 建築面積 941.9239 m²、延床面積 3614.3550 m²、敷地面積 1813.5600 m²
- 【指定医療】 保険医療機関、生活保護法指定病院、労災保険指定病院、結核予防法指定病院
- 【認定施設】 日本リハビリテーション医学会研修施設（第119744号）
日本医療機能評価機構認定病院・リハビリテーション病院 3rdG：Ver1.0（第JC210-3号）
- 【実習指定】 [看護学校]
戸田中央看護専門学校、蕨戸田医師会看護専門学校、さいたま市立高等専門学校
[リハビリテーション学校]
埼玉県立大学、帝京平成大学、目白大学、首都大学東京、杏林大学、東京工科大学
北里大学、健康科学大学、仙台医療技術専門学校、横浜リハビリテーション専門学校
八千代リハビリテーション専門学校、社会医学技術学院、医学アカデミー
日本リハビリテーション専門学校、彰栄リハビリテーション専門学校、東京福祉専門学校
東京医薬専門学校、首都医校
- 【施設基準等】 回復期リハビリテーション病棟入院料1、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、地域連携診療計画退院時指導料（Ⅰ）、
医療安全対策加算2、薬剤管理指導料、患者サポート充実体制加算、入院時食事療養（Ⅰ）、
リハビリテーション充実加算
- 【顧問教授】 柏森良二（帝京平成大学健康メディカル学部教授、帝京大学医学部客員教授） ※26.4.1 現在
山科章（東京医科大学病院内科学第二講座主任教授）
山本謙吾（東京医科大学病院整形外科主任教授）

【沿革】

平成 14 年	4 月	開院（内科、リハビリテーション科 129 床） ・ 2F 療養 43 床、3F 療養 43 床、4F 療養 43 床 ・ 保険医療機関、労災保険指定、生活保護法指定、結核予防法指定
	7 月	2F 病棟 回復期リハビリテーション病棟 承認
平成 15 年	4 月	4F 病棟 回復期リハビリテーション病棟 承認
平成 16 年	5 月	日本医療機能評価機構による施設 認定（第 JC210 号）
平成 18 年	8 月	3F 病棟 回復期リハビリテーション病棟 承認 （全床 129 床が回復期リハビリテーション病床）
	9 月	「患者さんのための 3 つの宣言」 認定
	12 月	クリスマスイルミネーション 開始（毎年 12 月実施）
平成 19 年	5 月	地域連携診療計画退院時指導料 承認
	7 月	埼玉県子育て応援宣言企業 登録
	10 月	駐輪場 増設
平成 20 年	5 月	リハビリテーション室 拡張（+82 m ² ）、言語療法室 2 室 増設
	6 月	2F 病棟一般浴室を個浴（4 ヶ所） 改修
	10 月	医事システム 更新（オンライン請求対応）
	11 月	電子カルテ、オーダーリングシステム 導入、稼動
平成 21 年	4 月	中村 毅理事長 就任
	5 月	日本医療機能評価機構 病院機能評価更新審査 認定（第 JC210-2 号）
	8 月	休日リハビリテーション 開始（理学療法）
平成 22 年	1 月	休日リハビリテーション 開始（作業療法）
	6 月	休日リハビリテーション 開始（言語聴覚療法）
平成 23 年	7 月	戸田中央リハクリニック 開院
平成 24 年	4 月	屋上緑化庭園 開園
	5 月	日本リハビリテーション医学会研修施設 認定
	6 月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 全病棟取得
	7 月	戸田中央リハクリニック 訪問リハビリテーション 開始
	12 月	開院 10 周年式典 開催
平成 25 年	2 月	全日本病院協会 入会
平成 26 年	2 月	病院機能評価更新審査（リハビリテーション病院 3rdG : Ver1.0） 受審

【診療体制】（平成 26 年 3 月 31 日現在）



【職員数】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

※人員数は勤務の実人数

職 種	常勤	非常勤	計	職 種	常勤	非常勤	計
医師	4	3	7	診療放射線技師	0	2	2
看護師	51	3	54	管理栄養士	3	0	3
准看護師	7	2	9	理学療法士	43	0	43
高看学生	0	0	0	作業療法士	31	0	31
准看学生	0	0	0	言語聴覚士	18	0	18
介護福祉士	19	0	19	医療福祉科	5	0	5
看護助手	5	4	9	事務職員	12	0	12
看護クラーク	2	0	2	その他職員	0	2	2
薬剤師	3	1	4	合 計	203	17	220

【入職・退職の報告】（平成 25 年度）

※転入・転出も含

職 種	入職数		退職数		職 種	入職数		退職数	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	0	0	0	0	診療放射線技師	0	1	0	1
看護師	6	0	7	0	管理栄養士	1	0	0	0
准看護師	1	0	1	1	理学療法士	8	0	10	0
高看学生	0	0	0	0	作業療法士	3	0	2	0
准看学生	0	0	0	0	言語聴覚士	5	0	4	0
介護福祉士	4	0	7	1	医療福祉科	1	0	0	0
看護助手	1	2	3	2	事務職員	4	0	3	0
看護クラーク	0	0	0	0	その他職員	1	1	0	0
薬剤師	1	1	0	0	合 計	36	5	37	5

【病棟構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

病棟名	定床数	個室	4人室	設備
2F 病棟	43 床	3 床	40 床	食堂・談話室、個別浴室（4 槽）
3F 病棟	43 床	3 床	40 床	食堂・談話室、機械浴槽（2 槽）
4F 病棟	43 床	3 床	40 床	食堂・談話室、個別浴室（3 槽）

【各種導入システム】

No	システム名	開始年月	開発元	システム構成
1	超小型コージェネレーションシステム	2002.4	東京ガス(株)	
2	遠隔監視システム (Rings)	2003.7	東テック(株)	録画機 4 台、カメラ 25 台
3	人事給与システム (ADPS)	2005.4	(株)カシオソフト	DELL(INSPIRON6000), HP(CONPAQ nx6120) 1 式
4	デビットカードサービス	2006.12	日本デビットカード推進協議会	Panasonic ZEC-14A00
5	医学会計システム	2008.10	中央ビジコム(株)	サーバ 1 台、デスクトップ PC4 台、プリンター 3 台
6	リハビリテーション支援システム (電子カルテ、オーダーリングシステム含)	2008.11	(株)エムビーテック	サーバ 2 台、プリンター 5 台、デスクトップ PC1 台、ノート PC60 台
7	オムロン絶縁監視装置 (キューピクル)	2008.12	シンクス(株)	
8	HOSPITA-VITA	2014.2	(株)セントラルユニ	富士通 ESPRIMO D551/FX 1 式
9	FDR 搭載デジタル X 線 TV システム	2014.3	(株)島津製作所	FLEXAVSION F3
10	画像読取装置	2014.3	富士フィルム(株)	FCR PRIMA T

【業務委託状況】

No	委託内容	業者名
1	検体検査業務	(株)戸田中央臨床検査研究所、(株)BML
2	寝具、リネン、白衣管理業務	(株)東基
3	食事サービス提供	日清医療食品(株)北関東支店
4	清掃業務	(株)ダスキン
5	鼠族昆虫駆除業務	西武消毒(株)
6	感染性廃棄物回収業務	(株)メッドトラスト東京、日本シューター
7	カーテンメンテナンス、職員ユニフォーム管理	(株)三和企商
8	(1) 消防設備	(株)能美防災
	(2) 昇降機遠隔監視	SEC エレベーター(株)
	(3) 受水槽清掃・水質分析	山大物産(株)・(株)分析
	(4) 自家用電気工作物	垣内電機管理事務所
	(5) 空調機器	東京ガス(株)北部 GHP メンテナンス
	(6) ガスコージェネレーションシステム	東京ガス(株)
	(7) 院内電話	英工電機(株)
	(8) 医療ガス設備	東京エアウォーター(株)
	(9) 放射線設備線量測定	ラドセーフテクニカテクニカルサービス(株)
	(10) FDR 搭載デジタル X 線 TV システム	島津メディカルサービス(株)
	(11) 画像読取装置	富士フィルム(株)
9	カード式 TV	(株)パースジャパン
10	エコロジーガーデン	(株)竹中庭園緑化
11	売店販売	(株)テンソウ商事
12	防犯監視カメラ・セキュリティーシステム	プロテック 21・(株)セコム
13	診療録・フィルム等保管	(株)ふれあい広場

【病院統計】

No	項 目		25 年度		24 年度		
1	病床利用率	2 階病棟	年延入院患者数	15,424	98.3%	15,250	97.2%
		3 階病棟	年延入院患者数	15,465	98.5%	15,405	98.2%
		4 階病棟	年延入院患者数	15,408	98.2%	15,332	97.7%
			年延病床数	15,695		15,695	
		合計	年延入院患者数	46,297	98.3%	45,987	97.7%
		年延病床数	47,085		47,085		
2	1 日平均患者数	回復期リハ	年延入院患者数	46,526	127.5 人	46,353	127.0 人
		療養	年延入院患者数	301	0.8 人	272	0.7 人
		合計	年延入院患者数	46,827	128.3 人	46,625	127.7 人
			入院診療実日数	365		365	
		外来	年延外来患者数	177	1.0 人	185	1.1 人
			外来診療実日数	173		174	
3	診療単価	回復期リハ	年入院収入	1,932,885,610	41,544 円	1,903,847,606	41,073 円
			年延入院患者数	46,526		46,353	
		療養	年入院収入	71,141,312	23,725 円	5,733,582	21,079 円
			年延入院患者数	301		272	
		合計	年入院収入	1,940,026,922	41,430 円	1,909,581,188	40,956 円
			年延入院患者数	46,827		46,625	
		外来	年外来収入	663,300	3,747 円	617,282	3,337 円
			年延外来患者数	177		185	
4	医業収入に対する割合 (構成)		年入院収入	932,788,472	46.6%	918,742,630	46.5%
			年リハビリ収入	906,071,030	45.3%	890,402,880	45.1%
			年食事療養費収入	97,913,834	4.9%	96,940,786	4.7%
			年室料差額収入	46,851,735	2.3%	45,906,810	2.3%
			年保険外収入	13,780,843	0.7%	19,445,771	1.0%
			年医業収入	2,001,322,800		1,975,605,051	
5	医業収入に対する割合 (経費)		年薬品費	10,819,342	0.5%	10,780,242	0.5%
			年医療材料費	7,215,181	0.4%	8,804,471	0.4%
			年人件費	1,101,159,263	55.0%	1,065,267,081	53.9%
			年医業収入	2,001,322,800		1,975,605,051	
6	病床効率		年入院収入	1,998,223,355	42,439 円	1,972,721,469	41,897 円
			年延病床数	47,085		47,085	
7	病床回転数		年暦日数	365	4.2 回転	365	4.3 回転
			平均在院日数	87.5		84.3	
8	死亡率		院内死亡数	1	0.2%	0	0.0%
			退院数	530		546	

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

診療部門

診療部門

医師・リハビリ部部长 西野誠一

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔院長〕 佐藤信也

〔常勤〕 西野誠一、露口都子、幡谷史子

〔非常勤〕 遠藤健司、並木祐樹、山本昌義

【年次報告】

診療部門は循環器専門医である佐藤信也院長以下、3人の常勤医師と3人の非常勤医師で構成されています。

常勤は内科の露口都子医師、神経内科の幡谷史子医師、リハビリテーション科の西野誠一です。専門領域はそれぞれ別ではありますが、病院規模が129床と比較的小さいため各々が一人主治医制を採り、互いの得手不得手は小さな医局内でいつでも相談ができる垣根のない人間関係を築いています。

非常勤は整形外科の遠藤健司医師、皮膚科の並木祐樹医師、リハビリテーション科の山本昌義医師です。皆それぞれの専門領域でリハビリテーション専門病院の特性を良く理解頂いた上で診療に協力頂いております。これに加えて数人の非常勤医師に夜間休日時間帯の日当直もして頂いております。

当院は全館全職種のスタッフの協力のもと我々診療部門にとって非常に働き易い環境であるため、常勤医師はもとより非常勤医師も比類なき定着率で業務に勤しんでいます。

また、次年度にはリハビリテーション科認定医をはじめ2名の常勤医師が入職し、医師6名体制となることも確定しております。

TMGグループの中でも先駆的なリハビリテーション専門病院ですが、近年は周囲にもリハ病院が乱立する傾向にあります。玉石混合のこの業界で走り続けられるリーダーでいられるよう、医局医師は更に邁進してまいりますので、今後も各職種絶え間ない理解と協力をお願いいたします。

【患者属性】

ア. 基本属性（年齢）

年代	25年度		24年度		前年比
	数	構成比	数	構成比	
20歳代	4	0.8%	0	0.0%	+4
30歳代	6	1.1%	8	1.5%	▲2
40歳代	17	3.2%	26	4.8%	▲9
50歳代	40	7.6%	29	5.3%	+11
60歳代	97	18.4%	123	22.5%	▲26
70歳代	169	32.0%	170	31.1%	▲1
80歳代	165	31.2%	162	29.7%	+3
90歳代	30	5.7%	28	5.1%	+2
100歳代	0	0.0%	0	0.0%	+0
計	528	100.0%	546	100.0%	▲18
平均年齢	73.6歳		73.0歳		+0.6歳

イ. 基本属性（性別）

年代	25年度		24年度		前年比
	数	構成比	数	構成比	
女性	281	53.2%	278	50.9%	+3
男性	247	46.8%	268	49.1%	▲21
計	528	100.0%	546	100.0%	▲18

ウ. 原因疾患（入院時の疾患）

区 分	リハビリテーション科		内 科		年間総入院患者数	
年間総入院患者数	46,533 人		294 人		46,827 人	
脳 血 管 系	32,536	69.9%	79	26.9%	32,615	69.7%
整 形 外 科 系	11,276	24.2%	113	38.4%	11,389	24.3%
廃 用 症 候 群	2,283	4.9%	102	34.7%	2,385	5.1%
神 経 ・ 筋 ・ 靱 帯 損 傷	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
置 換 術 後	438	1.0%	0	0.0%	438	0.9%
そ の 他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

エ. 発症から入院までの期間（入院患者 528 件、再入院数 24 件は除く）

期 間	入院数	割 合
14 日以下	12	2.4%
15 日～30 日	195	38.7%
31 日～60 日	283	56.1%
61 日～90 日	10	2.0%
91 日以上	4	0.8%
平 均	35.8 日	100.0%

オ. 在院期間（退院患者 530 件）

期 間	退院数	割 合
30 日以下	43	4.5%
31 日～60 日	72	14.1%
61 日～90 日	218	42.8%
91 日～120 日	93	18.2%
121 日～150 日	88	17.3%
151 日～180 日	16	3.1%
180 日以上	0	0.0%
平 均	86.9 日	100.0%

カ. 入院経路

前 入 院 機 関	脳 血 管 疾 患	骨 折	神 経 ・ 筋 肉 ・ 靱 帯 損 傷	廃 用 症 候 群	置 換 術 後	療 養	計
戸田中央総合病院	52	43	0	27	5	0	127
関連病院 (TMG)	4	4	0	1	0	0	9
そ の 他	260	114	0	10	4	4	392
計	316	161	0	38	9	4	528

キ. 退院経路

年度		25年度		24年度		増減	
区分		件数	割合	件数	割合	ポイント	
回復期リハビリ病棟	転帰	軽快	459	87.4%	470	87.0%	▲11
		治癒	4	0.8%	2	0.4%	+2
		不変	20	3.8%	24	4.4%	▲4
		寛解	2	0.4%	2	0.4%	+0
		増悪	39	7.4%	42	7.8%	▲3
		死亡	1	0.2%	0	0.0%	+1
		希望	0	0.0%	0	0.0%	+0
	退院先	在宅	377	71.8%	397	73.5%	▲20
		在宅施設	18	3.5%	11	2.0%	+7
		老健施設	66	12.6%	64	11.9%	+2
		急性期病院	58	11.1%	66	12.2%	▲8
		慢性期病院	5	1.0%	2	0.4%	▲3
	退院数		524		540		

年度		25年度		24年度		増減	
区分		件数	割合	件数	割合	ポイント	
療養病棟	転帰	軽快	4	80.0%	5	100.0%	▲1
		治癒	0	0.0%	0	0.0%	+0
		不変	0	0.0%	0	16.7%	+0
		寛解	1	20.0%	0	0.0%	+1
		増悪	0	0.0%	0	0.0%	+0
		死亡	0	0.0%	0	0.0%	+0
		希望	0	0.0%	0	0.0%	+0
	退院先	在宅	4	80.0%	3	60.0%	+1
		在宅施設	0	0.0%	0	0.0%	+0
		老健施設	0	0.0%	2	40.0%	▲2
		急性期病院	1	20.0%	0	0.0%	+1
		慢性期病院	0	0.0%	0	0.0%	+0
	退院数		5		5		

① リハビリテーション効果（25/04/01～26/03/31、病状悪化等による転院を除く）

リハビリテーションの効果を入院時と退院時の FIM 指数の変化で捉えました。

入院時の平均が 75.1 点、退院時の平均は 97.0 点となっており、平均で 21.9 点の向上・良化が見られました。

FIM の変化（効果）を患者数で見ると、患者の % で FIM 指数が向上しています。

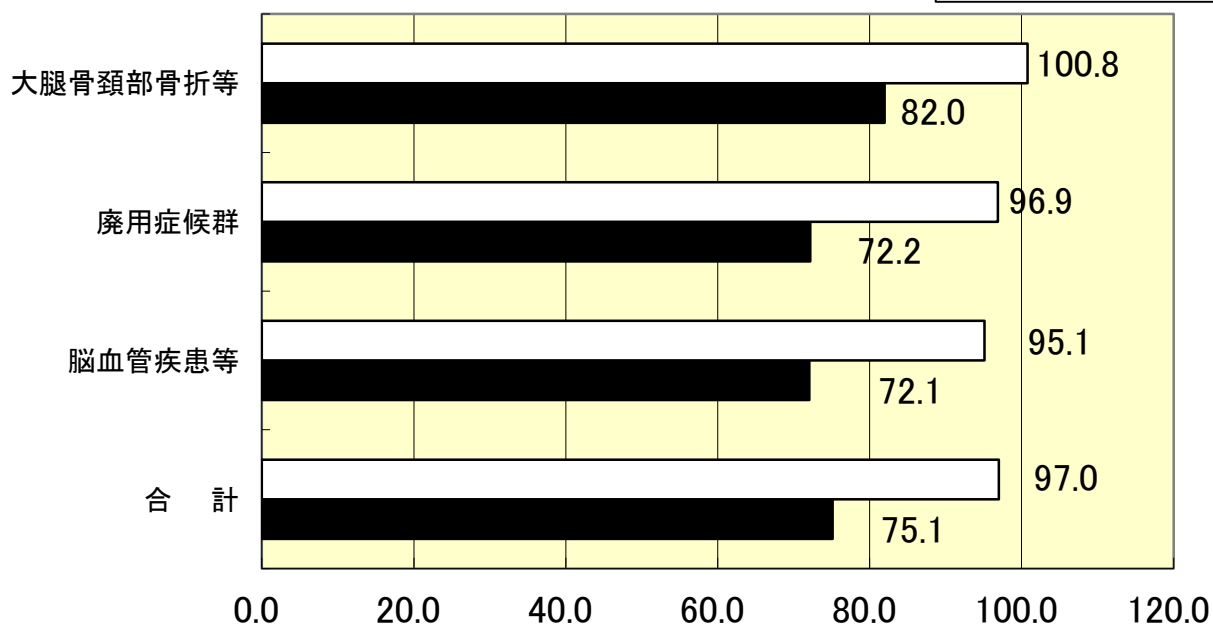
区 分	患者数	年齢			FIM 指数（入院時－退院時）		
		平均	最高年齢	最若年齢	平均	最高値	最低値
脳 血 管 系	296	68.8	99	24	23.1	57	▲9
整 形 外 科 系	147	79.5	95	30	18.9	50	▲4
廃 用 症 候 群	28	80.5	94	64	25.2	67	+2
神 経 ・ 筋 ・ 靱 帯 損 傷	0	—	—	—	—	—	—
そ の 他	0	—	—	—	—	—	—
計	471	72.9	99	24	21.9	67	▲9

区 分	患者数	改善度									
		効果あり		10 点以上		20 点以上		30 点以上		40 点以上	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
脳 血 管 系	296	287	97.0%	80	27.9%	85	29.6%	44	15.3%	37	12.9%
整 形 外 科 系	147	145	98.6%	45	31.0%	51	35.2%	16	11.0%	3	2.1%
廃 用 症 候 群	28	27	63.4%	11	40.7%	3	11.1%	5	18.5%	5	18.5%
神 経 ・ 筋 ・ 靱 帯 損 傷	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	471	459	97.5%	136	29.6%	139	30.3%	65	14.2%	45	9.8%

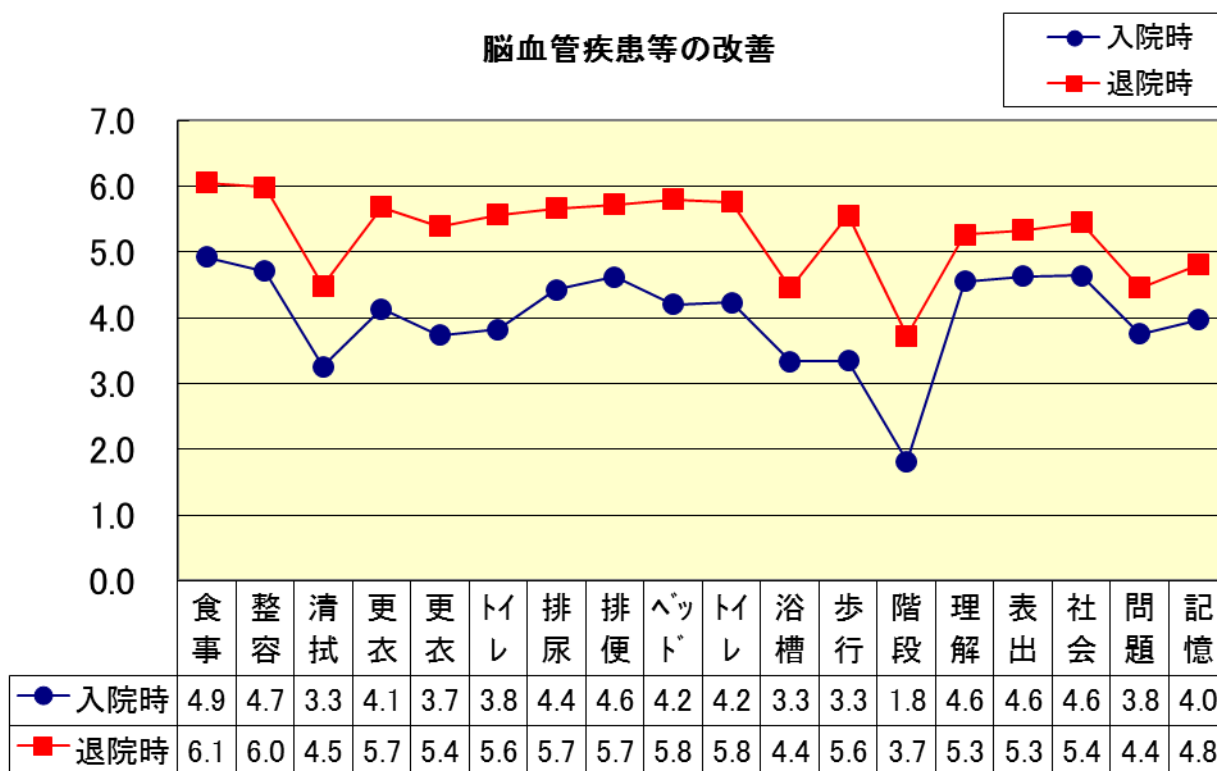
平成25年度

疾患別の改善状況（FIM18～126）

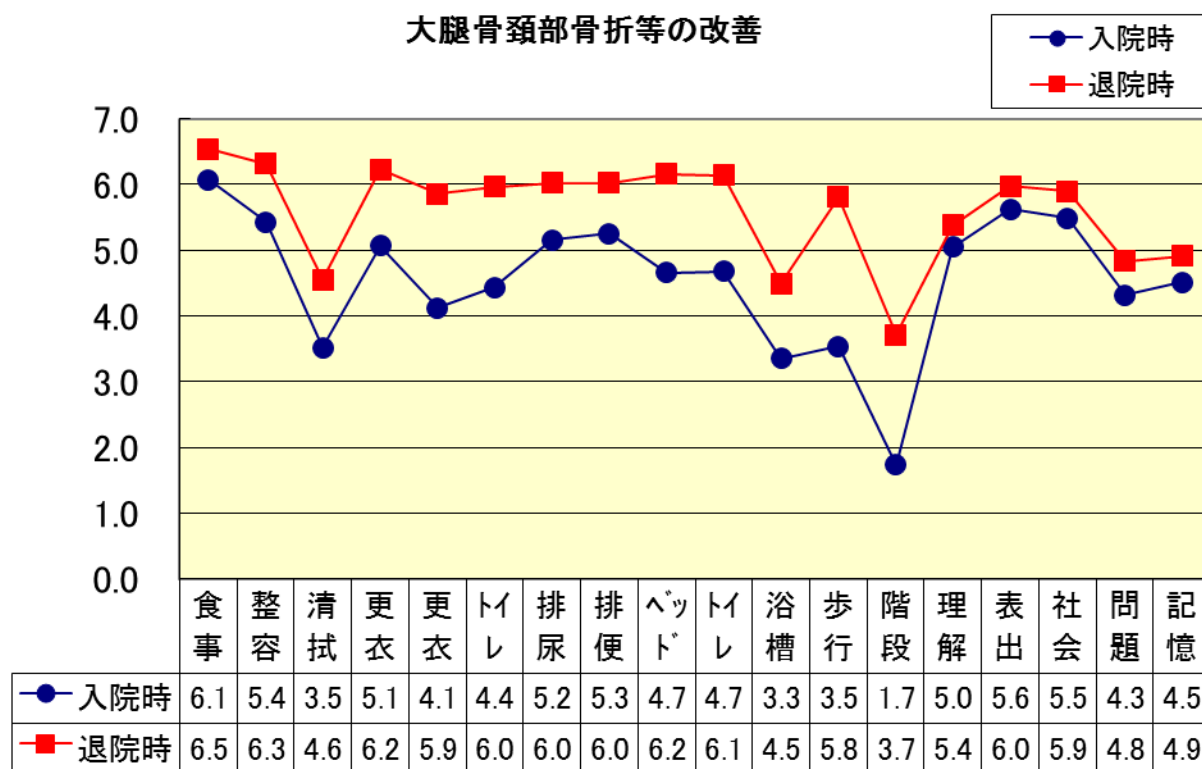
□退院時 ■入院時



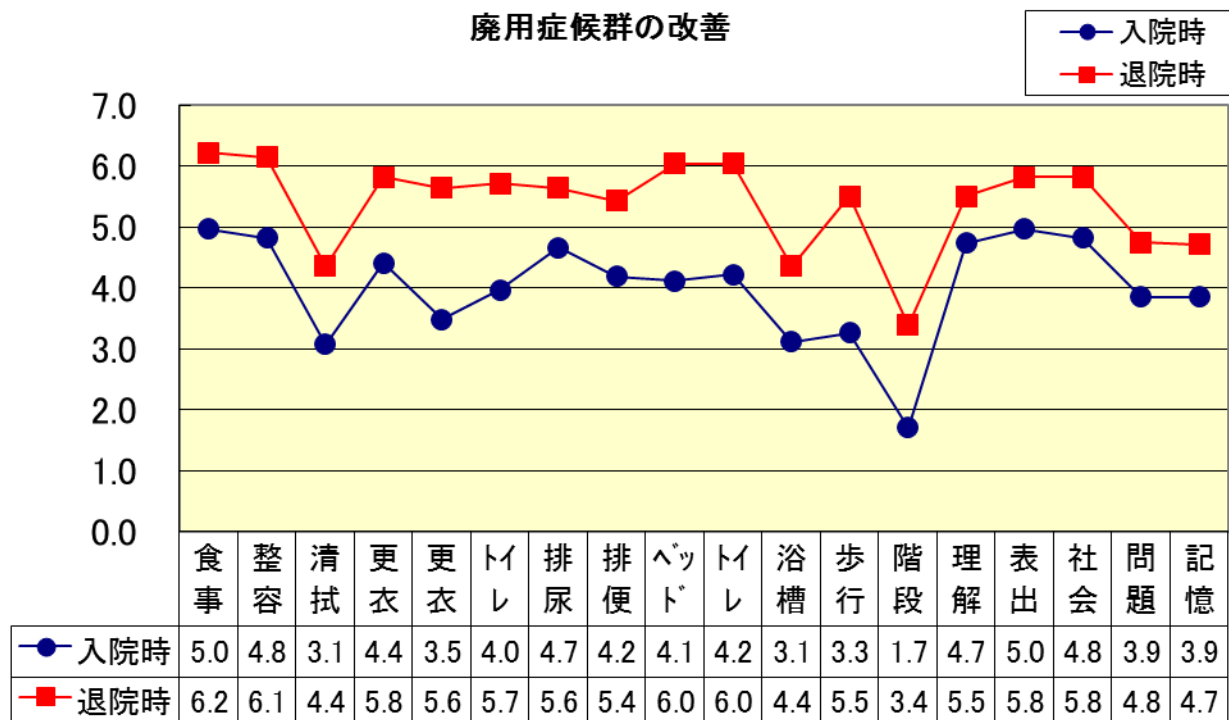
脳血管疾患等の改善



大腿骨頸部骨折等の改善



廃用症候群の改善



FIM 指数とは？

FIM は、世界的に使われている ADL(日常生活活動(動作))の評価法です。身の回りの動作を 18 項目で分け各 7 段階の採点をするもので、全自立で 126 点、全介助レベルで 18 点となる指標です。当院は、平成 19 年 6 月より『バーセル指数』から『FIM 指数』に変更しました。

【外来担当医表】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	月	火	水	木	金	土
リハビリテーション科	午前	—	—	—	佐藤	—
内科	午前	—	露口	—	—	—

【病棟担当医表】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	月	火	水	木	金	土
2 階病棟	幡谷	幡谷	幡谷	幡谷		幡谷
3 階病棟	露口	露口	露口		露口	露口
4 階病棟	佐藤・西野	佐藤 (pm)	佐藤(am) 西野	佐藤・西野	佐藤・西野	佐藤・西野
整形外科	遠藤(am)					
リハビリテーション科		山本 (am) 第 2・4 週				
皮膚科	並木(pm)			並木(am)		
歯科	ラムザ歯科クリニック					
当直	原田	山本	交代勤務	並木	交代勤務	交代勤務

【実績】

[入院患者・病棟の稼働状況]

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2階 病棟	在 院 数	1,275	1,327	1,272	1,305	1,326	1,282	1,295
	入 院 数	14	16	14	15	22	9	17
	退 院 数	15	15	16	13	22	10	16
	平均在院日数	87.9	85.6	84.8	93.2	60.3	134.9	78.5
	稼働率	100.0%	100.7%	99.8%	98.9%	101.1%	100.2%	98.3%
3階 病棟	在 院 数	1,280	1,312	1,272	1,330	1,333	1,277	1,308
	入 院 数	17	15	14	11	14	12	10
	退 院 数	18	15	14	10	14	13	9
	平均在院日数	73.1	87.5	90.9	126.7	95.2	102.2	137.7
	稼働率	100.6%	99.5%	99.7%	100.5%	101.1%	100.0%	98.8%
4階 病棟	在 院 数	1,284	1,305	1,259	1,311	1,324	1,267	1,321
	入 院 数	13	16	17	15	12	16	17
	退 院 数	13	18	18	12	12	16	17
	平均在院日数	98.8	76.8	71.9	97.1	110.3	79.2	77.7
	稼働率	100.5%	99.2%	99.0%	99.2%	100.2%	99.5%	100.4%
合計	在 院 数	3,839	3,944	3,803	3,946	3,983	3,826	3,924
	1日平均入院数	129.5	128.8	128.4	128.4	130.0	128.8	128.0
	入 院 数	44	47	45	41	48	37	44
	退 院 数	46	48	48	35	48	39	42
	平均在院日数	85.3	83.0	81.8	103.8	83.0	100.7	91.3
稼働率	100.4%	99.8%	99.5%	99.6%	100.8%	99.87%	99.2%	
区 分		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
2階 病棟	在 院 数	1,273	1,275	1,289	1,195	1,310	15,424	1,285
	入 院 数	13	21	19	13	13	186	15.5
	退 院 数	16	20	18	13	13	187	15.6
	平均在院日数	87.8	62.2	69.7	91.9	100.8	—	82.7
	稼働率	99.9%	97.1%	98.0%	100.3%	99.2%	—	99.5%
3階 病棟	在 院 数	1,255	1,305	1,289	1,182	1,322	15,465	1,289
	入 院 数	20	13	15	14	10	165	13.8
	退 院 数	21	13	14	15	10	166	13.8
	平均在院日数	61.2	100.4	88.9	81.5	132.2	—	93.4
	稼働率	98.9%	98.9%	97.7%	99.4%	99.9%	—	99.6%
4階 病棟	在 院 数	1,286	1,284	1,276	1,179	1,312	15,408	1,284
	入 院 数	16	19	14	9	13	177	14.8
	退 院 数	16	21	12	9	13	177	14.8
	平均在院日数	80.4	64.2	98.2	131.0	100.9	—	87.1
	稼働率	100.9%	97.9%	96.6%	98.7%	99.4%	—	99.3%
合計	在 院 数	3,814	3,864	3,854	3,556	3,944	46,297	3,858
	1日平均入院数	128.9	126.4	125.7	128.3	128.4	—	128.3
	入 院 数	49	53	48	36	36	528	44.0
	退 院 数	53	54	44	37	36	530	44.2
	平均在院日数	74.8	72.2	83.8	97.4	109.6	—	87.5
稼働率	99.9%	98.0%	97.5%	99.5%	99.5%	—	99.5%	

診療部門－実績

[疾患別平均在院日数]

区 分	25 年度	24 年度	23 年度
脳血管疾患、脊椎損傷等	97.7 日	92.2 日	93.0 日
骨 折 等	70.6 日	72.0 日	70.8 日
廃 用 症 候 群	60.1 日	61.4 日	60.7 日
神 経 ・ 筋 ・ 靱 帯 損 傷	—	—	—
準 ず る も の	—	—	—
療 養 対 象	78.3 日	82.0 日	58.7 日
全 体	86.4 日	84.3 日	83.0 日

[外来]

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
外来延数	17	6	15	15	13	16	16
区 分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
外来延数	17	11	15	14	21	176	14.7

[規程・マニュアルの整備]

- ア. 戸田中央リハビリテーション病院医局員業務規程
- イ. 診療のガイドライン (I～XII)
- ウ. 疼痛管理ガイドライン
- エ. 電子カルテ・オーダーリング使用マニュアル
- オ. 人事考課基準

[医局会]

- 開催日 第3月曜日 11:00～
- 構成員 院長、常勤医師
- 開催回数 12回

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

看護部門

看護部門

看護部長 黒井有子

【年次報告】

平成 25 年度は、下記の目標を掲げ活動しました。

25 年度 看護部目標

1. 医療機能評価受審に向けての準備
 - 1) 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 の維持
 - 2) 看護体制・基準・手順の整備
 - 3) 記録の充実と効果の可視化
2. 選ばれる病院づくり
 - 1) 安全で快適な環境づくり
 - 2) 地域へのアピールと連携
 - 3) クリニカルインジゲーターの公表
3. チームアプローチの強化と在宅支援の向上
 - 1) 摂食・嚥下訓練のシステムの強化
 - 2) 患者・家族参加したチームとしての取り組み
 - 3) 自宅退院率維持と退院後訪問の導入
4. 組織人・専門職業人としての育成
 - 1) 専門職業人としての自覚と自信
 - 2) 働きやすい職場づくり
 - 3) ワークライフバランスの充実

平成 25 年度は、医療機能評価 3 度目の更新の年でありました。受審に向けて病院職員一丸となり、半年以上をかけて準備に当たり無事に合格することができました。おかげさまで院内のシステムの見直しとチームアプローチのさらなる強化を図ることができました。評価内容として S 評価を 2 つ頂くことができました。どちらも看護部が中心となり取り組んでいる事への評価でした。1 つは 9 年以上実施している介護教室の取り組みについての評価、もうひとつは患者参加型ファイルに対する取り組みの評価でした。看護部スタッフが日頃から努力して取り組んでいることに対し、高評価をいただいたことは大変うれしく思っております。今後も患者さんやご家族に喜んで頂けるよう看護・介護ケアにさらに力を入れて取り組んでいきたいと思っております。そして、今以上に安全で快適な入院生活を送れる環境づくりにも力を入れて取り組んでまいります。

また、今年度は看護研究にも力を入れて取り組みました。院外への 6 題の看護・介護研究の発表をすることができました。また、管理者の育成にも力を入れ、新しく看護主任が 4 名昇進することができました。今後も副主任以上の管理者の育成を図り、より良い看護部の組織づくりを目指していきたいと思っております。

それから、当院では初めての脳卒中リハビリテーション看護認定看護師育成コースを 1 名終了することができました。7 月の認定試験結果発表を待って活動していけるように準備をしていきます。脳卒中疾患の急性期から回復期・維持期までの看護を追及し、学んできた知識・技術をスタッフ教育に力を注いでもらいたいと考えております。現在活躍中の摂食・嚥下認定看護師と連携を取り、2 名の認定看護師の力を十分発揮してもらい、さらなる回復期リハビリテーション看護の質向上に貢献していただきたいと思います。

また、人事では「とだ優和の杜」オープンに伴い、転勤者があり、特に介護福祉士のマンパワー不足になってしまいました。入職者の確保と定着に向けて今後も力を入れて取り組む必要があると考えています。

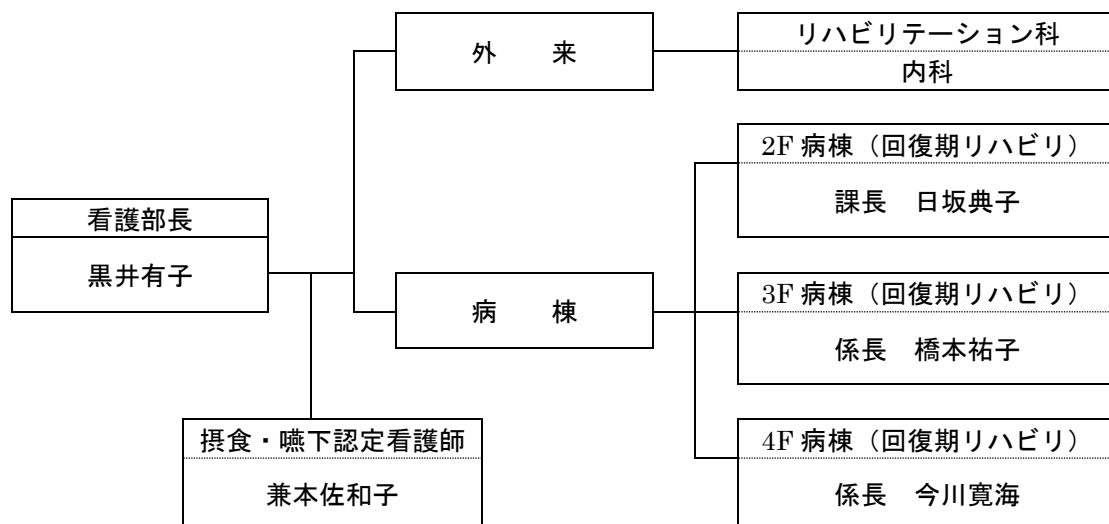
当院には外来設備がないため、退院後の患者さんやご家族の様子がわかりづらく、在宅での不安や悩みに迅速に対応できないという課題がありました。そこで地域のケアマネジャーや訪問看護師との連携の会を

看護部門

開きたいと考え、1月22日多くの参加者のもと第1回地域看護ネットワークの会を開催することができました。貴重なご意見を多数いただき、今後につなげられるものになりました。

また、「戸田中央リハクリニック」も2年目を迎え、訪問リハビリも定着し、順調に取り組んできています。今後も、在宅復帰率の維持と平成26年度も安心して自宅での介護が実践できるよう、9月に地域へ向けての介護教室の実施も実現させていきます。これからも地域に密着した医療が提供できるよう看護部職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

【組織図】（平成26年3月31日現在）



【昇進・転勤等】

[昇進]

看護主任 野口亜紀子、加藤正美、佐藤絵馬、松原昌子
 看護副主任 本橋亜紀子
 臨床指導者 松田裕美

[転入]

島佐智子 . . . 4月1日付 戸田中央総合病院より
 東悠一郎 . . . 2月1日付 戸田中央総合病院より
 福井七夢 . . . 3月1日付 戸田中央総合病院より

[転出]

望月真理子 . . . 1月21日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 秋元力也 . . . 1月21日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 倉持雄一 . . . 2月1日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 大澤巧 . . . 2月1日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 関根沙也伽 . . . 2月1日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 李雪 . . . 2月1日付 特別養護老人ホームとだ優和の杜
 小林里子 . . . 3月21日付 グリーンビレッジ蕨

【動態】

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
採用	看護師	3	1										1	5
	准看護師													
	高看学生													
	介護福祉士	3											1	4
	看護助手	1												1
	クラーク													
合 計		7	1										2	10
退職	看護師					1					3		1	5
	准看護師													
	高看学生													
	介護福祉士	1				1				1		1		4
	看護助手										1		1	2
	クラーク													
合 計		1				2				1	4	1	2	11

※産休・育休者1名、転勤者7名は除く

【看護単位・配置人員】(平成26年3月31日現在)

所属	病床	看護師	准看護師	介護福祉士	看護助手	クラーク	合計
2階病棟	43床	17(1)		8	2(2)	1	27(3)
3階病棟	43床	15	4(1)	5	1(1)		25(2)
4階病棟	43床	16(2)	4	7	3(2)	1	31(4)
部長室	—	2					2(0)
合 計	129床	50(3)	8(1)	20	6(5)	2	86(9)

()は非常勤

【平均年齢】

看護師	准看護師	介護福祉士	看護助手
34.9歳	38.4歳	36.1歳	39.2歳

（１）看護部会

看護部長 黒井有子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔部 長〕 黒井有子看護部長

〔委 員〕 日坂典子看護課長、橋本祐子看護係長、今川寛海看護係長

（第 4 火曜日のみ 兼本佐和子認定看護師）

【目的】

病院の方針、看護部の方針に基づき、看護管理に関する連絡調整や看護組織の運営、改善等協議し看護の質向上を図る。

【運営】

毎月 2 回 計 24 回実施

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/9	看護部総会について 診療報酬改定について 委員会活動目標	4
4/26	看護部総会について 看護まつりについて ふれあいコンサートについて	6
5/7	介護教室同窓会・フォローアップについて 看護部総会評価について	4
5/23	医療機能評価受審について 看護師賠償保険について 前期目標面接	5
6/4	オムツ持ち込み方法見直し 病院機能評価について 介護教室同窓会評価	4
6/18	ふれあい看護体験について 保育室運営方法の変更 人事考課面接	5
7/2	ナーシングスキル導入について ふれあい看護体験について	4
7/16	インターンシップ受け入れについて 臨床指導者会について、ラダー評価	5
8/6	ナーシングスキル運用方法について 認定看護師実習受け入れについて	4
8/28	看護研究コンサルテーション日程 戸田高看入職試験 運動会について	4
9/10	床頭台の入れ替えについて 臨床心理士の導入とシステムについて	4
9/20	退院後訪問システムについて カンファレンス時間の変更について	5
10/1	クリニカルラダー評価表の見直し検討 風呂場の排水溝の安全性検討 個人情報保護に関する取り扱いについて 患者満足度調査について	4
10/15	障害者雇用について 来年度昇進者について 所属長面接について	5
11/8	ボランティアふれあいコンサートについて とだ優和の杜について 介護教室タペストリー購入について 各病棟 DVD 購入について	4
11/19	職員満足度調査結果について 医療機能評価について（ケアプロセス）	5
12/4	地域看護ネットワークの会開催について 脳卒中リハビリテーション認定看護師実習受け入れについて 医療機能評価について	4
12/17	新入職員嵐山研修救護について ホームページの見直し、修正	5
1/7	地域看護ネットワークの会について 感染予防について 平成 23 年度目標評価委員会評価について	4
1/15	医療機能評価について ホームページの修正 年末年始の業務の振り返り 戸田高看の就職説明会の検討	5
2/4	医療機能評価ケアプロセスうちあわせ 来年度の TMG の方針について リハクリニックのボトックス外来開始について 接遇面について	4
2/18	2014 年度の事業計画について、看護研究コンサルテーション内容の検討 新入職者の人員配置について 医療機能評価について	4
3/4	新入職者人員配置について、新委員会メンバーについて 新入職者オリエンテーションについて 看護研究導入研修実施日程調整	4
3/20	認定看護師専従について 部署面接での確認事項、来年度の委員会メンバーについて 新入職者オリエンテーションについて	5

（２）看護部主任・副主任会

看護主任 野口亜希子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 野口亜紀子主任

〔委員〕 松原昌子主任、佐藤絵馬主任、加藤正美主任、山本陽子副主任、清水睦子副主任
本橋亜紀子副主任、大森真由美副主任、井関和江副主任

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

1. 看護研究のサポートを行う
2. 主任・副主任として病院・看護部・各部署の目標達成のために部署横断的な活動をする
3. 管理者として成長するための情報収集・情報交換の場とする
4. 働きやすい職場作りのために活動する

【成果目標】

1. 看護・介護の質向上のために看護研究をサポートし、研究発表会を実施する
2. 各部署の病棟目標が達成できる
3. 疑問や不安、各部署の問題点を表出する場とし、情報交換を行い協力し合う
4. 管理に必要な知識の共有の習得の場となる

【運営】

毎月第 3 水曜日 14：30～

【活動報告】

1. 看護研究発表までのサポート
2. 機能評価受審準備、備品台帳の作成、各階倉庫、備品の整理を実施
3. リハクリニックとの情報交換、各部署の課題を共有し検討
4. 管理に必要な知識の伝達講習を実施

【開催報告】

開催日	議事内容	参加数
4/17	・今年度より 2 階井関副主任 3 階本橋副主任参加 ・今年度の活動目標 ・看護研究進捗状況の確認	11
5/15	・看護研究進捗状況の確認 ・看護部総会について打ち合わせ	10
6/17	・看護研究進捗状況の確認	9
7/17	・不穏患者に対するスタッフの対応、倫理的配慮について ・看護研究進捗状況の確認 ・各部署からの検討事項	9
8/21	・看護研究進捗状況の確認 ・各階からの検討事項	10
9/18	・伝達講習「ナースのための管理指標 MaIN」について ・備品台帳作成について ・今月より 2 階山本副主任参加	11
10/16	・クリニカルラダーレベル 行動目標の見直し ・備品台帳作成のため、各階の物品をリストアップ	10
11/20	・備品台帳作成について ・機能評価について ・ネスレよりアイソカルセミソリッドの紹介	10
12/18	・備品台帳の作成、統一に向けて管理の規定を確認 ・食事用、排泄用ディスポエ プロン使用規準の確認 ゴミ箱購入について ・入院時のベッド清掃について各 階で統一 ・看護研究進捗状況、発表会までのスケジュール確認	9
1/15	・台帳による備品管理開始について ・看護研究査読について ・リハクリニックに井関副主任が移動 ・優和の柱に望月主任が移動	10
3/5	・看護研究発表会打ち合わせ、役割分担について ・来年度の看護研究導入研修について ・リハクリニックボトックス開始について	6
3/19	・看護研究発表会の振り返り ・クリニックよりボトックス外来について	6

（３）看護部教育委員会

看護副主任 本橋亜紀子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 本橋亜紀子副主任

〔委員〕 日坂典子課長、橋本祐子係長、今川寛海係長、加藤正美主任、阿部正子、大森真由美副主任

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

- ア. 看護の質の向上を図るため、自己の責任と役割を持ち、実践する自立した職員を育成する。
- イ. 臨床指導者は教育的な関わりを持つことにより学生、患者、教育、病棟スタッフ間の良好な関係を持つことができる。

【運営】

毎月 2 回 計 24 回実施

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/8	・ 4 月、5 月研修打ち合わせ	8
4/22	・ 臨床指導者会（蕨戸田医師会看護専門学校、戸田中央看護専門学校指導者会）	6
5/13	・ 研修報告、5 月、6 月の研修打ち合わせ	6
5/27	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校、蕨戸田医師会看護専門学校 実習中の経過報告） ・ 全日病学会演題選出の話し合い	5
6/3	・ 研修報告、6 月、7 月の研修打ち合わせ	8
6/24	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校、蕨戸田医師会看護専門学校実習中の経過報告） ・ ナーシングスキル導入について	9
7/1	・ 研修報告、7 月、8 月の研修打ち合わせ	6
7/22	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校実習報告と経過報告）	8
8/5	・ 研修報告、8 月、9 月の研修打ち合わせ	7
8/19	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校実習報告・蕨戸田医師会看護専門学校の情報交換）	8
9/2	・ 研修報告、9 月、10 月研修打ち合わせ ・ 次年度看護研究について話し合い	7
9/17	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校・蕨戸田医師会看護専門学校実習報告と経過報告）	7
10/7	・ 研修報告、10 月、11 月の研修打ち合わせ	6
10/21	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校・実蕨戸田医師会看護専門学校実習報告と経過報告）	8
11/6	・ 研修報告、11 月、12 月の研修打ち合わせ	6
11/18	・ 臨床指導者会（戸田中央看護専門学校・蕨戸田医師会看護専門学校実習報告） ・ 次年度教育計画打ち合わせ	7
12/2	・ 研修報告、12 月、1 月の研修打ち合わせ	6
12/16	・ 臨床指導者会（実習予定打ち合わせ） ・ 次年度教育計画打ち合わせ	8
1/6	・ 研修報告、1 月、2 月の研修打ち合わせ	5
1/20	・ 臨床指導者会（蕨戸田医師会看護専門学校実習中の経過報告）	7
2/3	・ 研修報告、2 月、3 月の研修打ち合わせ ・ 次年度教育計画打ち合わせ	7
2/17	・ 臨床指導者会（蕨戸田医師会看護専門学校、戸田中央看護専門学校実習中の経過報告、教員との打ち合わせ）	6
3/3	・ 研修報告、3 月と次年度の研修打ち合わせ	7
3/17		8

【院内研修実績】（他委員会と共催のものは除く）

開催日	議 事 内 容	参加数
4/8	介護研修 認知症の方への食事支援	14
4/25	新人研修 「SOAP、看護診断」	9
4/27	新人研修 「高齢者の特徴」	9
5/10	新人研修 「看護必要度評価」	5
5/11	新人研修 「患者・家族の心理」	9
5/13	新人研修 「リハビリの評価」	15
5/18	新人研修 「遊びりテーション基礎編」	9
5/27	新人研修 「高次脳機能障害について」	9
5/31	新人研修 「1ヶ月フォローアップ研修」	8
6/3	新人研修 「整形外科疾患」	8
6/6	新人研修 「漏れないオムツの工夫について」	12
6/17	第1回ケーススタディ発表会	31
6/22	介護と看護の協同	16
6/22	介護研修 伝達講習会	13
7/22	プリセプターフォローアップ研修	8
7/29	新人研修 「言語機能障害」	12
7/31	介護研修 伝達講習会 「認知症ケア学会報告」	14
8/5	新人研修 「入院時 IC について」	7
8/19	リーダーシップ	6
8/30	合併症予防と異常の早期発見①	4
9/2	倫理研修 I	12
9/5	新人研修 「排泄ケア」	3
9/9	新人研修 「救急看護」	13
9/30	合併症予防と異常の早期発見②	3
9/30	介護研修 伝達講習会 「新しい認知症ケア」	13
10/4	看護研究論文の書き方	10
10/7	新人研修 「褥瘡ケア」	10
10/7	介護研修 伝達講習会 「赤十字救命救急講習会」	10
10/21	第2回ケーススタディ発表会	31
10/28	新人研修 「プリセプティーフォローアップ研修」	8
10/31	介護研修 「BPSD（認知症の行動・心理症状）への関わり」	13
11/11	新人研修 「介護保険」	14
11/18	倫理研修 II	21
12/16	医療機能評価受審に向けて	
12/19	介護研修 看護と介護の協同	
1/20	急変時の看護	
1/27	合併症予防と異常の早期発見③	
1/30	記録研修	
2/7	感染・医療安全研修会	
3/3	第3回ケーススタディ発表会	
3/17	院内看護研究発表会	

【実習生受け入れ状況】

学校名	項目	期間	人数
戸田中央看護専門学校	老年看護学実習Ⅱ	4月8日～26日（15日間）	6
	〃	5月6日～24日（15日間）	6
	〃	5月27日～6月14日（15日間）	6
	〃	6月17日～7月5日（15日間）	12
	〃	7月8日～26日（15日間）	6
	〃	9月16日～10月4日（15日間）	6
	基礎看護学実習Ⅱ	9月2日～13日（15日間）	12
	成人Ⅰ	1月28日～2月15日	12
	統合実習	9月16日～10月4日（15日間）	6
	〃	10月14日～11月1日（15日間）	6
蕨戸田市医師会看護専門学校	成人・老年看護学実習	6月5日～20日（14日間）	6
		9月2日～17日（14日間）	6
		9月18日～10月3日（12日間）	6
		10月7日～22日（12日間）	6
		10月23日から11月7日（14日間）	5

【院外研修参加の実績】

No	開催日	主催	研修内容	参加者			
				2F	3F	4F	看
1	4/6	雲母出版	老人介護基礎講座	1		1	
2	4/7	雲母出版	高齢者の転倒予防アセスメント	1	1		
3	5/9	埼看協	新人看護職員研修		2	1	
4	5/10、6/13	埼看協	新人のための薬の知識	2	1	2	
5	5/15	埼看協	新人のための医療安全・感染管理	1	1	1	
6	5/21	埼看協	新人看護職員技術習得研修		1	1	
7	5/21	埼看協	新人のための臨床検査の基礎知識			1	
8	5/25	日常生活評価	日常生活評価 評価者研修	1	1		
9	5/25	日本脳卒中中協会	第16回脳卒中市民シンポジウム	1		1	
10	5/28～8/7	埼看協	H25年度看護学生実習指導者講習会		2		
11	5/24、6/7、7/5、2/27	TMG	管理者の役割（新主任研修）	1		2	
12	6/1	埼看協	人を育てること・教えることは－基礎編－		3		
13	6/11	埼看協	生き！生き！2年目	1	1	3	
14	6/7～9/28	AMG	認定看護管理者教育課程ファーストレベル			1	
15	6/12	埼看協	新人のための救急看護・心電図	2		1	
16	6/1・2	日本認知症ケア学会	日本認知症ケア学会	1	1		
17	6/3	埼看協	リーダーシップ研修	1	1	1	
18	6/18	埼看協	家族看護			1	
19	6/18	TMG	リーダーシップ	1			
20	6/26	埼看協	効果的な摂食・嚥下ケアと口腔ケアⅠ	1	2		
21	6/27	埼看協	接遇の基本		1	2	
22	5/11,7/13,8/8,9/7,10/12	ブリコラージュ	生活リハビリ講座 2013（6回シリーズ）	2		1	
23	7/1	埼看協	組織マネジメントと人材育成	1			
24	7/4	埼看協	臨床における救急医療の実際	1			

№	開催日	主催	研修内容	参加者			
				2F	3F	4F	看
25	7/13・7/14	日看協	院内スタッフの感染対策意識を高めよう	1			
26	7/13・14	KTSM	第1階口から食べる幸せを守る会 in 横浜				1
27	7/20	埼看協	効果的な摂食・嚥下ケアと口腔ケアⅡ	1			
28	7/22	埼看協	ナースのための管理指標 MaIN		1		1
29	7/27	TMG	介護管理研修		1	1	
30	7/28	CAPE	褥瘡対策を考える	1		1	
31	7/28	CAPE	褥瘡対策を考える	1		1	
32	8/2	日本赤十字社	赤十字救急法講習会		1		
33	8/9	TMG	教えるをデザインする	1			
34	8/20	TMG	マナー研修	1			
35	8/24・25	国際リハ	国際リハビリテーション看護研究会		2		1
36	8/28	埼看協	認定看護管理者教育課程ファーストレベル フォローアップ研修	1			
37	8/31・9/1	回リハ	回復期リハビリ病棟協会 全職種研修会		1		
38	9/2～7	回リハ	回復期リハビリ看護認定コース		1		
39	9/3	埼看協	感情と看護	1			
40	9/6	埼看協	心電図判読スキルアップ	1			
41	9/13	埼看協	医療安全：リスクマネージャー交流会			1	
42	9/21～23	日本摂食・嚥下リハ びリテーション	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術 大会				1
43	9/26	TMG	新人交流研修	1			
44	9/24	埼看協	感染予防対策の具体的実践	1			
45	10/3	埼看協	看護職確保・定着 WLB 推進ワークショップ	1	1	1	1
46	10/4	TMG	既卒採用者研修		2		
47	10/12	日本赤十字看護大学	NOC セミナー A コース		1		
48	10/12	キャリアメディカル研究所	後輩育成の基本と実践			1	
49	10/11	茨城県立医療大学	摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ				1
50	10/7	日本口腔看護研究会	日本口腔看護研究会第1回東京地区セミナー			1	
51	10/12	キャリアメディカル研究所	クレーム初期対処法を指導する	1	1		
52	10/13	雲母出版	介護 中間管理職に必要なリーダーシップ論	1			
53	10/24	TMG	労務管理Ⅰ		1		
54	10/24	埼看協	臨床で実践！褥瘡ケアの実際		1		
55	10/25・26	第25回NPO法人 リハビリテーション看護 学会埼看協	第25回NPO法人リハビリテーション看護学会		1	2	
56	11/2・3	全日本病院学会	第55回全日本病院学会 in 埼玉	2	3	3	1
57	10/30	TMG	エンゼルケア		2		
59	10/30	埼看協	高次脳機能障害の理解と看護			1	
60	11/6	埼看協	認知症になるということ	1			
61	11/6	TMG	アサーティブコミュニケーション	1	1	1	
62	11/12	埼看協	元気な組織を作るコミュニケーション			1	
63	11/20	埼看協	糖尿病の治療と看護			1	
64	11/22	埼看協	看護記録パーフェクトガイドー書くべきこと 書いてはいけない事			1	
65	11/23	慶応義塾大学	第25回ADL評価法 FIM 講習会	2	3	2	
66	11/23	日本口腔看護研究会	第2回日本口腔看護研究会 埼玉セミナー	1			
67	11/24	埼看協	医療安全管理等入院基本料に係わる研修会		1		

看護部門－会議・委員会（教育委員会）

No	開催日	主催	研修内容	参加者			
				2F	3F	4F	看
68	11/25	埼看協	脳卒中の治療と看護			1	
69	11/21	TMG	労務管理Ⅱ		1		
70	11/30	日本リハビリテーション 栄養研究会	第3回日本リハビリテーション栄養研究会 学術集会				1
71	11/30	ネスレ日本（株）	臨床栄養セミナー ～排泄ケア カタチあるもの～	1	3		
72	12/3	TMG	組織運営のためのマネージメント	1			
73	12/4	TMG	介護員・クラーク看護補助者研修	1			
72	12/5～8	埼看協	埼玉県認定看護師交流会				1
73	2/17	埼看協	臨床場面で知っておきたい精神疾患	2			
74	12/7・8	回リハ	第1回病棟管理者研修会	1	1	1	
75	12/9	埼看協	退院調整の理論と実践		1		
76	12/10	埼看協	医療安全：医療安全管理体制			1	
77	1/20	埼看協	新人看護職員実地指導者研修（2日間）	1	1		
78	1/24	埼看協	高齢者のエンドオブライフケア	1	1	1	1
79	1/31	埼看協	プリセプターシップ			1	
80	2/5	埼看協	プリセプターシップ		1		
81	2/5	埼看協	プリセプターシップ		1		
82	2/7	エルゼビア・ジャパン	ナーシングスキル日本版使い方講座	1			
83	2/18	埼看協	退院調整の理論と実践Ⅱ			1	
84	3/21	回リハ	平成26年度診療報酬改定説明会	1	1	1	1
参加者数				50	54	40	11
総数				155			

注) 埼看協：埼玉県看護協会、国際リハ：国際リハビリテーション看護研究会
回リハ：全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会

【長期研修】

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程 加藤正美
認定看護管理者ファーストレベル研修 野口亜紀子 9/1～11/9（AMG 協議会）
臨床指導者研修 松田裕美

【院内看護・介護ケーススタディ発表演題】

開催日	演題名	所属	発表者
6/17	排泄自立への関わりを通して学んだこと ～排尿自立によって得られた セルフケア意欲の向上～	2F 看護師	影山智子
	認知機能の低下により独力行動が多い患者・家族との関わりを通して ～回復期病棟での病棟スタッフの役割について考える～	3F 看護師	古川ゆかり
	脳梗塞発症により歩行障害となった患者との関わり ～その人が望む看護を実践して～	4F 看護師	関根美佐緒
10/21	自宅退院は難しいと思われる患者を自宅退院へと導くために行ったこと	2F 介護福祉士	根岸由佳
	認知症の患者と関わって学んだこと	3F 介護福祉士	倉持雄一
	退院へ向けて家族への介護指導で学んだこと	4F 介護福祉士	吉田祐功

開催日	演題名	所属	発表者
3/3	身体機能低下の受容が困難な患者への関わり方	2F 看護師	山崎藍
	嚥下障害のある患者と関わり自宅復帰へ向けてアプローチした事	3F 看護師	坂下志穂
	認知症があり帰宅願望が強い患者との関わりを通して学んだこと	4F 看護師	田鎖愛里

【学会研究会等の発表実績】

開催日	学会・研究会名	発表演題	所属	発表者
5/12	TMG 学会	エコーマップを活用した家族システムを考える～新婚期に高次機能障害の夫と向き合った妻絵の関わり～	看護師	加藤正美
9/21,22	第 19 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	摂食・嚥下状態患者への取り組み～他職種によるチームアプローチの構築～	看護部	兼本佐和子
11/2,3	第 55 回全日本病院学会	排尿自立へのかかわりを通して学んだこと	看護部	影山智子
11/2,3	第 55 回全日本病院学会	慢性混乱の患者とかかわって学んだこと	看護部	秋元力也
11/2,3	第 55 回全日本病院学会	リハビリ拒否が強い患者を受け持ってわかったこと～失語患者とのコミュニケーション～	看護部	蛭田菜月
2/7,8	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協会 第 23 回研究大会 in 名古屋	他職種参加の NST・摂食・嚥下ラウンドを開始して～現状と今後の課題～	看護部	兼本佐和子

（４）看護部記録委員会

看護課長 日坂典子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 日坂典子課長

〔委員〕 佐藤絵馬主任、菊池園香、橋本恵美子、西脇千恵美

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

1. 患者の姿が見える、全職種で活用できる記録が書ける
2. 記録指導者の育成
3. 退院サマリーの充実

【運営】

毎月第 2 木曜 14：30～15：30

【活動内容】（職員教育も含む）

1. 記録監査 1 回／人以上
2. FIM・日常生活機能評価の研修会実施
3. 記録指導者研修開催
4. 記録委員に対する勉強会
5. 介護サマリー基準・手順の周知
6. NANDA-I 改訂に伴う定義の見直し
7. リハビリ用語略語集の見直し
8. 診療録記録表現事例集の見直し

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/11	・新人記録研修について ・平成 24 年度記録監査集計について ・ FIM・日常生活機能評価研修打ち合わせ	6
5/9	・平成 24 年度記録監査集計報告 ・記録指導者研修について	5
6/13	・新人オリエンテーション（日常生活機能評価）報告 ・介護記録基準／手順について	5
7/11	・看護記録指導者研修について ・患者情報の電子カルテ入力不備について	5
8/8	・看護記録指導者研修について ・用語／略語集の見直し ・異常時指示使用時の記録方法について ・禁忌入力について	5
9/12	・看護記録指導者研修について ・用語/略語集の見直し	5
10/10	・看護記録指導者研修について ・介護サマリーの見直しについて ・ NDC セミナー参加報告	4
11/14	・看護記録指導者研修について ・介護記録基準・手順について ・平成 25 年度記録監査予定について ・夜勤時の記録について ・患者参加型の患者目標と看護診断のリンクについて	4
12/12	・看護記録指導者研修について ・ FIM 研修報告 ・電子および紙カルテ取扱いについて	5
1/23	・看護記録指導者研修について ・記録監査進捗状況報告	5
3/19	・記録基準・手順改訂について ・記録監査進捗状況報告 ・平成 25 年度活動評価	5

（５）業務委員会

看護係長 橋本祐子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 橋本祐子係長

〔委員〕 小池美由紀、大野寛子、秋元力也（1/20～異動：とだ優和の杜）、渡辺美智子

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

医療機能評価受審に向けて看護基準・手順、介護基準・手順を見直し、修正する

【運営】

毎月 1 回 第 1 木曜日 15:30～16:30 計 12 回実施

【活動内容】（職員教育も含む）

1. 医療機能評価受審の為の看護、介護基準・手順の修正
2. 患者指導・疾患指導パンフレットの充実・周知の充実
3. 急変時対応に備えての、救急カート整備
4. 業務が円滑に進むための準備と修正
5. 新人スタッフへの技術指導

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/11	・CW 秋元委員加入し、新メンバー紹介 ・先月の決定事項の進捗状況確認 ・医療機能評価のスケジュール確認 ・看護手順見直しの項目を書くメンバーに振り分ける	6
5/2	・救急カート内のセット類組み直し ・退院時チェックリストの見直し ・介護手順見直し→療養委員会との調整	6
6/6	・救急カート内の薬品チェック表内容検討 ・ナーシングスキル（e-ラーニング）登録振り分け	6
7/4	・ナーシングスキルの内容修正開始 ・退院時チェックリスト検討	6
8/1	・ナーシングスキルの内容修正	6
9/5	・ナーシングスキルの内容修正	4
10/3	・ナーシングスキルの内容修正開始	6
11/7	・ナーシングスキルの内容修正開始 ・退院時チェックリストの評価 ・看護基準見直し・不足部分の内容検討	4
12/5	・看護基準見直し・不足部分の内容検討 ・退院時チェックリストの評価後の修正	4
1/9	・看護手順最終見直し ・介護手順（e-ラーニング）の入れ替え ・退院時チェックリストの評価後の修正	4
2/13	・看護手順最終見直し ・看護基準・手順、介護基準・手順ファイルページ摺り合わせ	4
3/6	・次年度新人研修について ・今年度の評価・反省・次年度に向けて	5

（６）セーフティマネジメント対策委員会

看護係長 今川寛海

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 今川寛海係長

〔委員〕 松原昌子主任、清水睦子副主任、蛭田菜月、大和田清香

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【委員会方針】

1. 医療安全管理体制の充実を図り事故の未然防止活動を推進する
2. 看護部職員の事故に対するリスク感性を高める活動を行う

【運営】

毎月第 3 木曜日 15：30～16：30

【活動内容】

1. インシデント・アクシデントレポートの把握・分析・対策立案・修正・評価
2. 医療安全に関する教育研修（セクハラ・パワハラ・暴力・虐待・薬剤について）
3. 内服指導方法について基準作成
4. 医療安全管理マニュアル一部改訂
5. 高次脳機能障害研修（新人・中途入職者・介護職中心に実施）
6. 院内ラウンド 年 4 回実施
7. リスク的視点よりカンファレンス室流し台撤去実施

【開催報告】

開催日	議事内容	参加数
4/25	・今年度の方針・活動内容について ・平成 24 年度の反省からの課題 ・3 月のアクシデント報告・分析 ・各階救急勉強会内容検討	4
5/16	・4 月のアクシデント報告・分析 ・リスクカンファレンスについての実態調査	8
6/20	・5 月のアクシデント報告・分析 ・各階救急勉強会内容検討 ・ラウンド結果報告	8
7/25	・6 月のアクシデント報告・分析 ・各階救急勉強会内容決定、ナーシングスキルも活用していく ・医療安全マニュアル見直し作業開始 ・公衆電話より警察に連絡してしまうケースへの対応について ・8 月医療安全・感染合同勉強会について内容検討	6
8/15	・7 月のアクシデント報告・分析 ・8 月医療安全・感染合同研修、セクハラ・パワハラ・暴力・虐待等について実施 ・内服落下に対する指導方法、内容等検討し院内統一できるよう対応していく	6
9/19	・8 月のアクシデント報告・分析 ・8 月研修の結果報告	6
10/17	・9 月のアクシデント報告・分析 ・高次脳機能障害勉強会実施について ・内服落下アクシデントについての対応について ・各病棟に分析結果提出について依頼 ・ラウンド結果報告	6
11/21	・10 月のアクシデント報告・分析 ・内服落下指導方法について各階で実施開始 ・内服自己管理開始時条件について検討 ・リスクカンファレンスの現状と今後について ・ADL 拡大についてリハビリとの協働について検討 ・1 月医療安全・感染合同研修について内容検討	6

開催日	議事内容	参加数
12/19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月のアクシデント報告・分析 ・ リスクカンファレンスについて、今後成功ケースについて報告会など実施したい意向説明 ・ 内服落下に対する指導開始後アクシデント件数減少について報告 ・ トイレ対応時エプロン着用徹底に対するスタッフ着用時間による事故増加についての対応検討 ・ 院内盗難発生対応について検討 ・ リストバンド装着基準について ・ 医療安全・感染合同研修、内容薬剤について決定 	6
1/23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月のインシデント報告・分析 ・レベル4 転倒骨折について報告 ・ 1月16日医療安全・感染合同研修実施 ・ リストバンド装着基準徹底されておらず対応徹底するよう周知 ・ リスクカンファレンス現状 今後についての課題提出依頼 	6
2/27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月のインシデント報告・報告 ・ 医療安全・感染合同研修終了。未受講者 DVD 配布など対応開始 ・ 医療安全研修等、全体研修が各科で個別研修へ移行に伴い検討 	2
3/27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月のインシデント報告・分析 ・ラウンド結果報告 ・ 内服落下件数減少無く経過、今後について検討 ・ リスクカンファレンス今後の課題について検討 ・ オーバーテーブルリスク的視点から、買い替え購入について ・ 分析定着化について ・今年度の反省 	5

（7）身体抑制廃止推進委員会

看護主任 野口亜希子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 野口亜紀子主任

〔委員〕 黒井有子看護部長、山本陽子副主任、吉池典子、山田千恵子、内田日和、吉田佑功

【目的】

1. 患者の人権を尊重し身体抑制「ゼロ」を目指し活動を行う
2. 事故防止・倫理的配慮の観点から身体抑制の考え方を看護部職員に教育・指導する
3. 安全器具（センサー類）の管理を行い安全対策の開発・提案を行う

【運営】

毎月第 4 水曜日 15：30～16：00

【活動内容】

1. 新入職員への研修（身体抑制廃止の考え方、身体抑制規定の周知）
2. 身体抑制規定、身体抑制解除に向けたケアのポイントの周知
3. 機能評価受審のための準備
4. 安全器具を 4 階の中央管理とし管理の徹底を施行
5. 新たな安全器具購入の検討
6. 身体抑制実施状況の実態調査

《25 年度累計》

4 点柵 277 名、ミトン 13 名、安全ベルト 44 名、病室移動 30 名、施錠 7 名、固定帯 0 名
床マット 5 名、抑制着 13 名

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/24	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計、安全器具使用状況、25 年度委員会目標） ・身体拘束の名称から身体抑制への名称変更について	5
5/22	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計、安全器具使用状況） ・拘束→抑制への名称変更に伴う、規定、承諾書の変更について ・医師の指示のもと、抑制施行と解除を行う規定の徹底について	4
6/26	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・マグネット付き安全ベルトのデモ貸出について	7
7/24	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・抑制への名称変更に伴う委員会名、カンファレンス他電子カルテの名称変更、 規定、フローチャート、承諾書の変更について ・身体抑制規定と、解除のためのケアのポイントについて各階で勉強会を実施	6
8/28	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・各階実施の勉強会についての報告 ・安全器具の貸し出しは備品台帳に記載し管理していくことを決定	7
9/25	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・修理依頼中の安全器具について	7
10/23	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・新たな安全器具購入の検討について（カメラ付きセンサー）	6
11/27	・報告、連絡事項（身体抑制者累計 安全器具使用状況） ・あゆみちゃんを新たに 1 個購入し中央管理とする	6
12/25	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・抑制解除に向けたカンファレンスシート有効活用のための見直し	6
1/22	・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況） ・ミトンの寄付について ・抑制を解除するためのカンファレンスのあり方について	6

開催日	議 事 内 容	参加数
2/26	<ul style="list-style-type: none">・報告、連絡事項（身体抑制者数累計 安全器具使用状況）・機能評価についての報告	6
3/27	<ul style="list-style-type: none">・報告、連絡事項（身体抑制者累計報告 安全器具使用状況）・H26年度の委員会活動内容について	7

（８）療養委員会

看護部長 黒井有子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 小林里子

〔委員〕 林美津江、根岸由佳、倉持雄一、青木智恵、井汲咲貴

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

1. 快適な療養環境を整える
2. 療養生活に必要な物品を整える

【成果目標】

1. 季節の行事を取り入れ、潤いのある療養環境を目指す
2. 効果的な遊びりテーションが行えるよう支援する
3. 患者に使用する寝具、オムツ、タオル類が適切に使われるよう定数の見直しやシステムの改善を行う

【運営】

毎月第 3 金曜日 15：30～

【活動内容】

1. 季節ごとの行事の実施
年 2 回春と秋の音楽会（コンサート）の実施
2. 絵手紙教室 毎月 1 回第 3 日曜日 14：00～
退院後も継続して趣味にできるような遊びりテーションの提供
今年度は大石先生の都合で、各病棟持ち回りとして実施
3. リハビリ着・パジャマのリース類の交換と定数の見直し
4. 不潔リネン庫の整理整頓とチェック表の見直し委託業者との調整

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加人数
4/19	・顔合わせ・今年度の活動方針の確認 ・5月のふれあいコンサート企画	7
5/17	・リネン庫清掃・リネンについて ・ボランティアコンサートについて	5
6/17	・行事の反省・七夕について ・年次交換について・夏まつり企画	8
7/15	・七夕行事の報告・リネン類伝票管理・検討 ・遊びりテーションについて	8
8/16	・夏祭りについて企画・秋のコンサートについて・カラオケ機械購入について	6
9/20	・夏祭りの反省 ・ボランティア秋のコンサートについての詳細	7
10/18	・遊びりテーションの見直し・パジャマ・リハビリ着の定数見直しと変更	7
11/15	・ボランティアコンサートとクリスマス会について ・ゆず湯、年次交換について ・遊びりテーションの見直し	7
12/20	・秋のコンサート報告・クリスマス会について ・遊びりテーションの見直し	7
1/17	・節分について ・リースのリハビリ着の見直し ・絵手紙の会について	4
2/14	・節分報告・ひな祭りについて・遊びりテーションの見直し	6
3/14	・ひな祭り報告 ・今年度の反省 ・来年度に向けての課題について	6

【行事開催実績】

開催日	内 容	場 所
5/3～4	端午の節句、菖蒲湯	各病棟浴室
5/19	春のふれあいコンサート コンセール・ルネッサ吹奏楽団	戸田中央看護専門学校
7/7	七夕会	各病棟食堂談話室
9/1	夏まつり	リハビリ室
11/11	秋のコンサート スタッフによるマリンバ、ピアノ演奏	各病棟食堂談話室
12/20～21	冬至 ゆず湯	各病棟浴室
12/23	クリスマス会	各病棟食堂談話室
2/3	節分会	各病棟食堂談話室
3/3	ひな祭り	各病棟食堂談話室

（９）介護教室推進委員会

看護係長 今川寛海

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔委員長〕 今川寛海係長

〔委員〕 影山智子、檀智子、間宮宏樹、笹野彩乃、平野久子、加藤多賀子、行方信、大森真由美副主任
齋藤紘子

〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

1. 家族に介護についての基本的な知識を学んでもらうことで、病棟における個別指導の導入的役割を果たす
2. 長期的な介護生活の中で、介護者自身の健康を保つ方法を学んでもらう
3. 集団で学ぶことで家族同士の交流、介護についての不安表出の場となる
4. 地域との連携の構築

【目標】

1. 年 24 回開催
2. 退院に備えて・車椅子の介助・入浴・着替えの介助・合併症の予防を 1 クールとし、各クールの境は設けずに 4 回受講で完了
3. 介護教室と病棟の連携を強化する介護教室での実施内容、家族の状況、病棟での様子等の情報を教室、病棟間で共有する
4. 新規参加者が、退院後の生活を知る機会とし退院患者との交流の場を作る

【運営】

毎月第 4 金曜日 15：30～

【議題】

1. 介護教室開催、介護教室同窓会開催、フォローアップ教室開催について
2. 介護教室のバージョンアップ、各物品の充実について検討
3. 地域に向けての活動について検討

【開催実績】

開催回数 24 回 延べ参加者数 577 名

クール	開催日	テーマ・内容	担当者	参加数
1	4/20	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	28
	5/18	体験！車いすの介助・心理の会	平野 齋藤 加藤	27
	6/8	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	34
	6/22	合併症の予防	行方 大森	28
2	7/6	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	30
	7/20	体験！車いすの介助・心理の会	平野 齋藤 加藤	26
	8/10	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	32
	8/31	合併症の予防	行方 大森	31
3	9/7	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	23
	9/21	体験！車いすの介助・心理の会	平野 齋藤 加藤	19
	10/5	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	17
	10/19	合併症の予防	行方 大森 笹野	21
4	11/2	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	23
	11/16	体験！車いすの介助・心理の会	平野 齋藤 加藤	17
	11/30	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	20
	12/7	合併症の予防	行方 大森 笹野	21

クール	開催日	テーマ・内容	担当者	参加数
5	12/21	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	23
	1/11	体験！車いすの介助・心理の会	平野 斎藤 加藤	28
	1/25	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	32
	2/2	合併症の予防	行方 大森 笹野	21
6	2/22	退院に備えて～介護者の心構え～	今川	21
	3/8	体験！車いすの介助・心理の会	平野 斎藤 加藤	22
	3/22	体験！入浴・着替えの介助・心理の会	影山 間宮 壇	20
	4/5	合併症の予防	行方 大森 笹野	13

【実施報告】

平成 25 年度より介護教室に対するニーズも高く、5 クールから 6 クールに回数を増やし参加者 577 名（前年度 5 クール 417 名）であった。

老々認々介護、核家族化問題、重介護患者の増加など様々な問題も多く、介護教室に対するニーズも高く、それに答えるために指導内容を強化し対応している。参加する家族のニーズが高く、毎回家族のニーズに近づけた内容にし、「頑張らない介護」「介護される側・する側の気持ちの大切さ」を伝えられるように工夫した教室を心掛けています。

体験教室においては、実際に患者・介護体験してもらい、患者の状況・気持ち、介護の大変さを体験してもらいながら、介護の基本を学んでもらっています。その中で、退院先で自宅か施設か迷っているご家族には判断の場となっている。介護に自身を持ち自宅退院に決定されるご家族も実際にいました。

その他、入院中・退院後にも、家族同士の繋がり・ネットワークの確立、その関係の中からストレス発散の場・情報交換の場・介護の仲間作りの目的で心理の会も行っており、毎回リアルな悩み・不安等の意見を活発にディスカッションする場となっている。

介護教室参加で基本を学び、より具体的な知識や応用・個別的技術等必要な場合は、各病棟で家族・退院指導が開始され、退院に向け不安無く自信を持って退院してもらおうアプローチを行っている。その結果、自宅退院率 80%以上をキープすることにも繋がっていると思います。

平成 26 年 5 月 18 日に第 4 回目の介護教室家族同窓会兼第 3 回目フォローアップ教室を 22 名（患者 12 名を含む）の参加者で開催しました。

初年度より参加されている方もいっしょり、目的のひとつでもある家族同士の繋がり・ネットワークの確立も、連絡を取り合っている方や、一緒に出かける間柄になっておられるご家族もあると報告がありました。何より皆さんが同窓会を楽しみにしていること、歩けなかった患者が歩けるようになっている・話せなかった人が話せるようになっているなど、患者・ご家族が元気に過ごされている姿を拝見できることで、看護・介護・介護教室の意義を実感できる場となっている。

今年度医療機能評価合格、その中で介護教室は高評価を頂きました。

今後の課題としては、地域との連携を考え、来年度地域に向けた介護教室を検討している。

（10）患者参加型プロジェクトリーダー会議

看護係長 橋本祐子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 〔委員長〕 橋本祐子係長
- 〔委員〕 堤克美、笹野彩乃、中井浩美
- 〔顧問〕 黒井有子看護部長

【目的】

1. 患者参加型ファイル実施率 80%達成
2. ICF の精神を学び、看護計画へ活かす
3. ファイル内の用紙を標準化する

【運営】

毎月第 2 金曜日 11：00～12：00

【活動計画】

1. 患者参加型ファイル実施率を上げていくために毎月発表
2. 介護が必要な患者・家族に対する介護指導チェック表の使用・評価
3. 看護まつりの企画・運営
4. ファイル内の用紙を標準化し修正

【開催報告】

開催日	議事内容	参加数
4/21	・看護まつり委員会（4・5月のみ） （5月11日実施予定 準備・検討）	4
5/11	・看護まつり実施、反省会	4
6/14	・今年度の目標確認 ・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・患者参加型看護計画実施基準作成の検討 ・介護チェックリストについて ・ICF 説明会	4
7/12	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・各階からの検討事項 ・患者参加型看護計画実施基準の周知 ・介護チェックリストについて ・ICF 説明会	4
8/9	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・各階からの検討事項 ・介護チェックリストについて ・ICF 説明会	4
9/13	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・ICF 説明会 ・各階からの検討事項 ・介護チェックリストについて	4
10/11	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・各階からの検討事項 ・介護チェックリストについて ・PEG パンフレット配布し、退院指導で説明	4
11/15	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・各階からの検討事項 ・介護チェックリストについて	4
12/13	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・ファイル内の用紙改善検討 ・介護チェックリストについて ・ICF 説明会	4
1/10	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・各階からの検討事項 ・介護チェックリストについて ・ICF 説明会	5
2/14	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・ICF 説明会 ・介護チェックリストについて ・ファイル内の用紙改善検討	4
3/14	・各階の患者参加型ファイル実施率調査 ・介護チェックリストについて ・各階からの検討事項 ・1年間の反省会	4

（11）外出・外泊プロジェクト

看護主任 松原昌子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 〔委員長〕 松原昌子主任
- 〔委員〕 松田裕美、行方信、中村実副主任
- 〔顧問〕 黒井有子看護部長

【委員会方針】

1. 在宅復帰を決定するために外出・外泊の体験が欠かせないものであるという事を認識し、それが安全安心に行えるよう部署を超えて支援する。
2. 施設転院を選択した患者に対して転院後も外出外泊による気分転換ができるよう訓練できることを支援する。

【目標】

病棟・職種を超えて外出・外泊の為のアプローチを確立する。

【成果目標】

1. 自宅退院については退院 1 か月以上前から 1 回以上の外泊を行うことができる。
2. 施設転院例で外出外泊訓練が必要なケースを抽出し支援できる。
3. 安心して外泊に行くための方策を検討。
4. 回復期リハ病棟にとって外出・外泊への支援が重要であることをスタッフ・家族に理解してもらえる支援。

【運営】

毎月第 4 火曜日 15：00～

【開催報告】

月日	議事内容	出席数
4 月	・外出外泊実績数 ・外出訓練 ・各病棟の活動に RH スタッフも参加予定 ・RH 指導の窓口について	4
5 月	・外出外泊実績数 ・RH 指導日程調整について ・外出訓練	5
6 月	・外出外泊実績数 ・RH 科病棟プロジェクト参加 ・物品管理について ・ボイスレコーダー購入	6
7 月	・外出外泊実績数 ・勉強会計画 ・外泊チャンス日 ・車椅子指導	4
8 月	・外出外泊実績数 ・貸出物品について ・各病棟での活動メンバーの周知	6
9 月	・外出外泊実績数 ・RH 向けアンケート ・勉強会のアンケート集計中	3
10 月	・外出外泊実績数 ・福祉機器展のお知らせ ・勉強会立案	5
11 月	・外出外泊実績数 ・RH 室の設備について ・勉強会打ち合わせ	4
12 月	・外出外泊実績数 ・勉強会反省会	5
1 月	・外出外泊実績数 ・勉強会アンケート結果配布	5
2 月	・外出外泊実績数 ・CW のみの外泊指導について ・歩行器デモについて	4
3 月	・外出外泊実績数 ・今年度振り返り ・勉強会立案	3

【外出外泊勉強会】

〔開催〕 12 月 20 日

- ・外泊の流れ・物品紹介・事例紹介
- ・参加者がプロジェクトメンバーでほとんどを占め充実した内容とはならなかった。
アンケート内容からは好評価が得られたが、勉強会の参加を促す必要あり。来年度の課題とする。

【物品購入】

スロープ・ハピネスウォーカー・低床型車椅子を購入。業者によるデモ機の貸出で選出した。

【外出・外泊率】

70.4%

2 F病棟

看護課長 日坂典子

【病棟概要】

〔患者概要〕

2階病棟は43床の回復期リハビリテーション病棟です。

疾患別では脳血管障害約67.4%、骨関節疾患約26.3%、廃用症候群約5%です。平均在院日数は81.2日となっています。在宅復帰率は82.7%と昨年度より上昇しています。今後も在宅へ向けてのアプローチを行っていききたいと思います。

〔スタッフ概要〕

1年間で中途入職者、退職者、異動が数名ありましたが、平成26年3月31日現在、常勤の看護師19名・介護福祉士8名・看護補助1名・看護クランク1名、非常勤の看護師1名・看護補助2名で構成しケアにあたりました。

※産休・育休職員を除く

職 種	役 職	氏 名
看 護 師	課 長	日坂典子
	主 任	松原昌子
	副 主 任	山本陽子（臨床指導者）
	臨 床 指 導 者	阿部正子
	ス タ ッ プ	菊池園香、堤克美、丸田真理子、小池美由紀、佐藤静香、林奈央子 西本真那実、重田愛子、中河春菜、鈴木揚子、日野貴子、影山智子 山崎藍、周紹萍、神田由紀子、木皿みつる
介 護 福 祉 士	〃	大和田清香、間宮宏樹、根岸由佳、西脇千恵美、檀智子、林美津江 岩切かず美、神田美佐子
看 護 補 助	〃	橋本禮子、森北美沙、秦巖
ク ラ ー ク	〃	中野マユミ

【病棟目標と経過】

➤ 回復期リハビリテーション病棟スタッフとして使命を理解する

ア) 日常生活機能評価 B 項目 10 点以上患者の受け入れ 30%・自宅退院率 80%外出・外泊訓練実施率 80%
日常生活機能評価は複数人評価の定着により評価のばらつきもなくなり、今年度は43.9%の重症者受け入れとなりました。介護指導の強化、介護教室への参加を促し続け、82.7%の自宅退院率となりました。外出・外泊訓練に関しては、初外出の不安を軽減できる様、車椅子指導を兼ねた集団外出訓練を導入しましたが、61.4%と目標達成には至りませんでした。今後も外泊困難なケースでも面会時の外出などを勧め、介護者が自信を持って介護できるような関わりを継続していききたいと思います。

➤ チームアプローチを強化し患者・家族へ適切な環境を提供する

ア) 安全・快適な環境の提供

患者が安心してリラックスした状況での入浴環境を目指してきましたが、業務的になってしまうこともあり、目標達成には至りませんでした。遊びリテーションの充実に関しては、介護福祉士を中心に運営し、看護師も積極的に参加することで患者と楽しい時間を共有できるようになりました。入院生活が充実できるように、今後も継続していききたいと思います。

イ) モジュール力の強化

モジュール会議の開催は定着している為、今後も情報の共有が図れるように継続していききたいと思います。また、リーダー会議の開催も定着してきているので、患者様中心のより良い看護・介護が提供できるように開催内容の検討を実施していく予定です。

ウ) 患者・家族の思いに寄り添った看護・介護の提供

患者参加型看護計画の充実をはかり、患者にあったファイルを作成することができました。また、モジュール会議の定着を図ったことで、担当看護師・介護士のみが知り得ていた情報を共有することができるようになりました。今後も多職種でのカンファレンスの充実を図り、更に患者・家族に寄り添った看護・介護を提供していきたいと考えております。

エ) 退院後訪問の導入

当院から自宅退院された患者様の了解を得て、3件の退院後訪問を実施いたしました。退院後の生き生きとした患者様を目の当たりにすることで、看護・介護の振り返りをすることができました。今後も継続して実施していきたいと思っております。

➤ **回復期リハビリ病棟スタッフとして、看護人・組織人としての成長**

ア) 看護・介護研究の発表

全日病学会・院内発表会と合計2題の研究を発表することができました。今後も研究を継続し、患者様に還元していきたいと考えております。

イ) 院外研修への参加

埼玉県看護協会の研修など、ほぼ全員が研修に参加することができました。介護福祉士も全員が院外研修に参加できるような関わりを継続し、研修で得た知識を患者様に還元できる様伝達講習を継続していきたいと思っております。

3F病棟

看護係長 橋本祐子

【病棟概要】

〔患者概要〕

平成25年度の入院患者の疾患別割合は、脳血管疾患73%・整形疾患24.8%・廃用症候群1.5%でした。平均在院日数は96.4日でした。

今年度は、昨年と比べて重症者割合と在宅復帰率が70%を切る月がありました。そのため、重症者が多く入院される月もあり苦労したこともありました。重症者改善の割合にもバラつきが見られました。しかし、在宅復帰率は平均しており、70%を保つことができました。

患者・家族の背景が、認知症・高齢者の独居・家族の介護力の低下、要介護度の高い患者、家族間に複数の要介護者がいるという環境は、昨年と同様でした。

〔スタッフ概要〕

1年間の動態は、中途入職者・退職者・異動の転出が数名あり、平成26年3月31日現在で看護師14名、准看護師4名、介護福祉士5名、看護補助1名の計24名で患者・家族ケアにあたりました。

それぞれのライフスタイルに合わせて、常勤からパートへの移行や職場の異動も多くあり、年後半は忙しい毎日ではありましたが、他病棟の協力で乗り切ることができました。

今年度は、スタッフの定着を目標に頑張っていきたいと思えます。

※産休・育休職員を除く

職 種	役 職	氏 名
看 護 師	係 長	橋本祐子
	主 任	佐藤絵馬
	副 主 任	清水睦子、本橋亜紀子
	臨 床 指 導 者	松田裕美
	ス タ ッ プ	山田千恵子、仲村奈美、鴨志田恵美子、島佐智子、笹野彩乃、大野寛子、鈴木淑江、坂下志穂、石井美穂
准 看 護 師	〃	吉池典子、佐藤純子、有路さつき、永井和也
介 護 福 祉 士	〃	平野久子、青木智恵、在原芽久、加藤多賀子、崔承光
看 護 補 助	〃	春山泰子

【病棟目標と経過】

➤ 患者・家族に安心かつ満足してもらえるような病院作りを目指す

重症患者を受け入れの為、病棟を越えた人員配置の調整は昨年度に引き続き実施してきました。新しくe-ラーニングを導入し、ケアの標準化にも努めてきました。在宅復帰率が73%となり、目標としていた78%を超える事が出来ず、病棟目標が達成できませんでした。

その背景として、認知症・重症度の高い入院患者が多い月があり、施設を選ばれる方が増えたことももう要因と考えます。

しかし、来年度は重症度の高い患者の受け入れ、受け入れ後の在宅復帰率を上げるためには退院支援に力を注いでいきます。

➤ 患者・家族を中心にチームアプローチを強化し、今後の新たなる生活への再構築が支援できる

KYT・5S活動の指導は、継続しており定着しており、安全で安心・安楽な環境を提供しています。今年度は、新しく摂食・嚥下ラウンドを実施し、各スタッフがラウンドに入れるように勤務調整をしています。摂食・嚥下認定看護師とカンファレンスしながら、食事について、アプローチしています。

また、患者と家族との声から退院後の目標を上げて退院支援につなげている患者参加型ファイルの作成と実施を行っており、担当看護師や介護福祉士による指導、疾患についての予防的指導を取り入れております。退院後に自宅に持って帰っても使えるファイルを目指して作成しています。

退院支援の一つとして、外出・外泊を促し自宅でチャレンジしたことができないことを、リハビリに連動できるように行っています。今年度は、重症度の高い患者の外出・外泊にチャレンジします。外出・外泊につながった患者を中心に、退院後訪問を実施する予定でしたが、マンパワーや企画の段階から実施できませんでした。来年度はしっかりと計画を立てて実施します。今後も退院支援についてチャレンジしていきます。

➤ **組織人・専門職業人としての育成ができる**

クリニカルラダー別に合った勉強会は、参加できています(80%)。院外看護研究発表1件実施しました。また、院外研修に参加した方の伝達講習を、病棟集会でを行っています。参加するメンバーが偏っているので勤務調整を行って参加できる環境作りをしています。昨年より、勉強会に対する拒否感は減ってきているように感じています。来年度も継続していきたいと思います。

年3回、所属長による目標面接を行っています。目標の達成率が50%と昨年より低下して、目標シートの活用ができませんでした。しかし、職員満足度調査からスタッフのやりがい感80%でした。そのやりがい感から、自身の目標・課題を見いだせるスタッフの育成をしていきたいと思います。しかし、今年度は数名の退職と転勤を出してしまい、スタッフ定着をどのようにしていくか、もう一度職場風土を見直していきたいと思います。

ワークライフバランスをスタッフも活用しています。時間外残業の短縮にはつなげられなかったので、人員配置に配慮しながら、今後もワークライフバランスを活用してもらいたいと思います。

4 F病棟

看護係長 今川寛海

【病棟概要】

〔患者概要〕

平成 25 年度の入院患者の疾患別内訳は、脳血管疾患 69.6%、整形疾患 21.5%、廃用症候群 8.2%の割合でした。

平均在院日数は 84.6 日から 107.6 日と増加しているが、患者・家族からの強いニーズへの対応、社会背景として、認知・老老介護、認知症・高齢者の独居者が多いなど核家族化の問題、家族の介護力の低下・すでに要介護者が存在しているなど困難なケースもあります。重症患者割合も 34.9%、改善率は 70.5%と高い水準で目標を達成できました。在宅復帰率も 83.1%と目標値を超える事が出来ました。これも早期から外出・外泊を多く体験してもらったこと、より個別的な家族・退院指導も関連していると思います。

〔スタッフ概要〕

平成 26 年 3 月 31 日現在の職員は看護師 16 名、准看護師 4 名、介護福祉士 7 名、看護補助 5 名、看護クラーク 1 名の計 33 名で構成され、患者のケアにあたりました。

今年度は、新卒 2 名、中途入職者 1 名が入職し、グループ病院からの移動もありました。

※産休・育休職員を除く

職 種	役 職	氏 名
看 護 師	係 長	今川寛海
	主 任	加藤正美、野口亜紀子
	副 主 任	大森真由美
	臨 床 指 導 者	今川寛海、加藤正美、石田陽子
	ス タ ッ プ	渡辺美智子、橋本恵美子、佐藤瑠夏、行方信、本下早苗、佐藤秀美 大川輝美、井口眞理、関根美佐緒、内田日和、東悠一郎、伊藤佳保里
准 看 護 師	〃	中井浩美、土川純子、蛭田菜月、福井七夢
介 護 福 祉 士	〃	大森真由美、斎藤紘子、井汲咲貴、吉田祐功、峯岸史恵、渡部麻衣 石橋真道
看 護 補 助	〃	田代都子、渡邊恵、野島幹子、湊綾乃、駒崎蘭
ク ラ ー ク	〃	榊原薫

【病棟目標と経過】

➤ 自宅生活が快適に過ごせる環境の支援をする

患者・ご家族のニーズに近い状態で退院後の生活を過ごしていただけるように、各プロジェクト・委員会・各チームがチームカンファレンスや他職種と意見交換を多く行いました。外出・外泊プロジェクトでは、入院 1 ヶ月以内の患者を中心とした外出訓練も定着し、57 組 127 名の参加がありました。年間外出・泊延べ人数も、380 名と目標人数を超える事ができました。患者参加型プロジェクトでは、より患者・家族とスタッフが情報共有のツールとして活用し、患者・家族の思いに寄り添え密接な関係が築け、入院生活・退院後の生活について目標を明確にする目的で使用しています。実施率は 100%を達成、更新率は 77%と高く具体的・個別的な目標設定に繋がっています。介護教室委員会では、介護教室を開催しており、今年度は 4 階では延べ 120 名参加、個別的な介護指導にも 28 件繋がりました。摂食・嚥下プロジェクトでは、口腔ケア指導に重点をおき、スタッフのレベルアップのため活動を行っており、今年度は院内で看護研究の発表も行っている。これらのチームアプローチの結果、在宅復帰率を 83.1%と目標の 75%をクリアすることができました。

➤ **入院生活が安心・安全で過ごせる環境をつくる**

アクシデントレポートについては、4階病棟総件数が、転倒に関するアクシデントが109件、薬に関するアクシデントが53件、その他が89件の計251件であった。レベル3以上のアクシデントは、転倒による骨折1件、脱臼1件、胃腸チューブの自己抜去1件であったが、適切な対応にて後遺症の残存やトラブルに繋がることは無かった。カンファレンスについても、毎日身体抑制に関するカンファレンス、週1回リハビリスタッフも参加したリスクカンファレンス、その他ケースカンファレンスなど行いアクシデントのフィードバック・対策の検討を実施している。

入浴時の配慮としても、プライバシーの配慮・くつろげる空間の提供は当然の事とし、患者の身体・精神状況、ライフスタイルを考慮した入浴方法の提供を行っております。

遊びりテーションについても、患者に楽しんでもらえるように好評である喫茶や漢字クイズを不定期から定期にするなどバージョンアップをその都度行っています。リハビリテーション以外の余暇の時間の充実も課題と考えています。

➤ **専門家としての知識・技術を付けて成長する**

年3回、面接を実施し、スタッフが目標を達成でき、仕事に対し満足感・達成感を得られるように、具体的な方法やスケジュール管理を提案し、目標達成できるように働きかけてきました。

クリニカルリーダーレベルも6名アップ、看護副主任2名が主任に昇格、介護副主任に1名昇格している。看護研究も、摂食・嚥下プロジェクトより1例発表ができ、来年度も院外発表を念頭に置きながら活動を継続している。

個々のスキルアップでは、埼玉県看護協会の研修を中心に参加希望を取り参加を促しています。研修参加後の伝達講習の充実や、研修参加に消極的なスタッフへの対応も課題と考えています。

今年度は、看護管理者研修ファーストレベルに1名、脳卒中認定看護師家庭に1名参加させることができました。

個人個人の成長が、病棟・病院全体の成長に繋がるように、育成に努力していきたいと思えます。

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

診療支援部門

リハビリテーション部

リハビリテーション部係長 土屋喜隆

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

役職	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
部長	野宮一志(TMG リハビリ部)		
係長		土屋喜隆	
主任	湯浅晃史 鈴木敦子	小峰隆弘 竹内章朗	中川崇之 一木友徳 赤沼賢吾
副主任	原田慎也 亀井達也	清水達也 恩田朋子	鈴木真理 中村実

役職	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士			
科 員	森田由喜枝	本多直道	櫛田来実	赤羽良介	高尾奈生子	郷麻衣子
	岩村高志	愛澤泰之	石井美帆	岩波千咲	一戸安希子	渡邊有希子
	佐藤香織	鈴木勝年	宇田川薫	滝沢宏和	吉田美穂	奥山みゆき
	関正利	白井秀忠	甫仮拓郎	田村耕	堀口紗智	中村悠輝
	真嶋菜穂	森田悠太	松永郁美	朝倉未紗	大平登茂子	志塚千紘
	吉池史雄	吉田弘太	鈴木麻未	梁川統史	戸田香純	河野杏奈
	柏瀬周示	神田一樹	長谷川雄一	深井祥	星友基	原田夏実
	高英玉	下日向健太	柏木智絵	須藤由佳	中垣友徳	川上真梨
	鳴海真悠子	丸山英樹	鈴木茜	細谷洋子	鏡恵介	柴崎倭花
	高儀隼	栗林敏光	大熊一弘	塩澤明日美	宮本麻里絵	
	山田結香子	吉井亮太	斉藤真奈美	駒木根麻沙子		
	眞島圭祐	大塚香菜	緑川陽子	吉清水理子		
	渡辺裕之	吉野智美	磯崎佳代子	根本直宗		
	森田康昭	内山優	浅石飛鳥	渡慶次里文		
	室田晴美	金子佳奈				
	山口俊哉	原谷美紀子				
	金栗亮介	岩澤悠				
	関口彩花	青井明花				
	佐藤優美	前野佑輝				
	吉川早織	上田美里				

【運営方針】

[リハビリテーション科理念]

“心 技 体で心を救う”

[理念の実行方法]

- ア. 出会った人々を大切にし、尊重し、自らの人間形成につなげる
- イ. 患者さんのため、そして自分のため積極的に専門的知識・技術を豊にする機会を作る
- ウ. 自らの健康管理に留意し、常に最高の状態で患者さんに接する

[目標とするセラピスト像]

- ア. 患者様の QOL 向上を最大目標とし、それにつながる ADL、つまり患者さんが意識をせず生活の一部となるような心地よい ADL を提供できるセラピスト
- イ. その実現のために OT、ST、PT の専門知識・技術の向上に努め、更に所属施設の特徴に対応できるセラピスト
- ウ. 既存の専門知識・技術を基に高次の認知情報処理、すなわち想像力と創造力を働かせ、治療の仮説モデルを作ることができるセラピスト

エ.そしてリハビリテーションプログラムの過程において他の専門職とのチームアプローチすなわち学際領域における協働を実現できるセラピスト

【方針】

当科の主な対象疾患は、脳血管障害・廃用症候群・運動器疾患などの亜急性期、回復期となっております。患者さんが、日常生活の中で「ただ動ける、ただ出来る」というのではなく、「より楽に、より心地よく、より様々な場面で自由度が高く、より機能的に動ける」というように、つまり本当の意味で生活の一部となるような行為動作の治療を施行しています。

患者さんを中心としたチームが、共通理解の得られた目標に向かうチームアプローチのコンセプトを基本と考えています。そのためにも、PT/OTの治療スペースは同リハビリテーション室内に設定しており、ST室も隣接した設定としています。

また、当院から社会復帰へとスムーズに橋渡すために、他の医療機関である老健、特養、外来リハビリテーション、在宅リハビリテーション機関との連携をとり情報交換をすると共に、他職種との定期的なカンファレンスの実施や家屋調査を患者さんに合わせ適時行っています。

また、職員への教育体制の強化をし、「質の高いセラピスト」を育成すること、それにより患者さん一人一人に必要なリハビリテーションサービスを提供できる環境を整えていきたいと考えています。

おわりに、回復期リハビリテーション病棟入院料1の維持に向けて近隣地域医療機関からの重症患者様の受け入れ、その患者様の日常生活活動の改善、そして入院患者様の在宅復帰率の向上を目標に今年度以上に質の高いリハビリテーションを提供していくために来年度も人員育成として技術・知識面、精神面を充実できるよう積極的に取り組んでいきたいと考えています。

【年次報告】

リハビリテーション科では回復期リハビリテーションにおいて、患者さんの心身の障害像を適切に分析し、社会復帰へのスムーズな移行を目指して業務を行っております。

25年度に入り新たに新入職員を迎え、スタッフ数、PT45名、OT31名、ST18名合計94名のスタッフで365日体制の業務に取り組んでまいりました。今年度は大きく以下の5つの項目を目標に掲げて質の高いリハビリテーションを提供できるよう役職を中心にスタッフ一丸となって勤めてまいりました。

①休日リハビリテーション提供加算（休日を含め週7日間のリハビリテーションの提供）とリハビリテーション充実加算（一人一日あたり6単位以上のリハビリテーションの提供）の提供

結果：共に目標は達成することができ、患者様一人に対し1日あたり脳血管疾患患者で平均8単位以上、運動器疾患患者で平均7単位以上、全体平均8単位を提供できた。

②スタッフ連携・教育の充実

結果：例年同様週2～3回の科内勉強会を実施し個々の知識・技術の向上に努めると共に「プリセプター・クラスター制度」を継続してきました。また、クラスター内での後輩・先輩セラピストと共同治療を行うなど、より臨床の場面での意見交換・指導を行いより一貫したリハビリを提供しております。また、中堅スタッフが指導する機会が増えたことで指導する側としてのスキルアップ、意識改革にもつながっており双方に相乗効果をもたらしていると考えています。その他、年2回個別面接をスタッフ全員に対し一人30分以上行い現状把握、問題整理・解決、目標設定など行い早期問題解決や個々のスキルアップにつなげることができた。また、研究チームを5人～10人程度のグループで編成し年間を通し活動し、外部へ向けた学術発表致しました。

③地域での医療連携強化

結果：今年度戸田地域リハビリテーション研究会を全3回開催。また戸田地域での在宅・外来リハビリテーションの充実、在宅退院後のリハビリ充実を目標に戸田中央総合病院、GV蕨、GV安行、戸田リハビリクリニックとも人事交流、患者さんの情報交換や勉強会の共催など、施設間連携を図れるよう取り組みました。また特別養護老人ホーム優和の杜が開設し3月より当院からもPT2名出張派遣致しました。

④回復期リハビリテーション病棟入院料1継続

結果：各病棟にて各職種リハビリ専従の増員、新規入院重症患者3割以上の受け入れに対し退院時、日常生活機能改善3割以上の獲得、在宅復帰率7割以上という条件を全て満たすことができました。具体的な取り組みとして今年度はADL訓練・指導、家族指導等に重きを置き外泊プロジェクトを中心に関わりました。また、定期的カンファレンス時間の延長と病棟転倒転落カンファレンスへの参

加など昨年度より共同したチームアプローチが行えた。院内勉強会においてはチームアプローチ勉強会を全3回開催し全職種での共同したチームアプローチを意識し取り組めた。

⑤科内業務改善・効率化

結果：科内に意見箱を常時設置しスタッフの意見を汲み取り業務改善に努めることができた。リハビリり役職全員にて月2回会議を開き、業務改善・効率化に努めた。また、業務改正に伴い、その都度科内業務マニュアルの改訂を適時行い、スタッフへの周知・徹底に努めることができた。電子カルテをより効率的に情報交換ツールとして有効に用いることが出来るよう、話し合いを持ちながら使用できた。また、カルテ内容の量的・質的評価を実施する際にも効率かつ有効であった。

【実績】

① 25年度疾患別

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
脳血管疾患等	算定人員	123	122	122	112	120	113	122
	単位数	23,829	24,530	22,876	24,172	24,881	23,204	23,661
廃用症候群	算定人員	7	11	11	11	11	7	6
	単位数	1,075	1,571	1,811	1,966	1,377	1,203	948
運動器疾患	算定人員	42	40	41	40	44	48	44
	単位数	4,976	5,311	6,699	6,960	6,885	7,573	8,325
初期加算	算定人員	0	0	2	2	0	1	1
	単位数	0	0	25	23	0	33	15
早期加算	算定人員	20	20	18	17	15	26	23
	単位数	905	674	1,030	1,242	489	1,186	1,383
摂食機能療法	算定人員	36	38	37	32	35	30	35
	単位数	672	633	619	654	689	567	534
リハ総合計画評価料		137	144	139	137	152	131	139
退院時指導		0	1	0	0	0	0	0

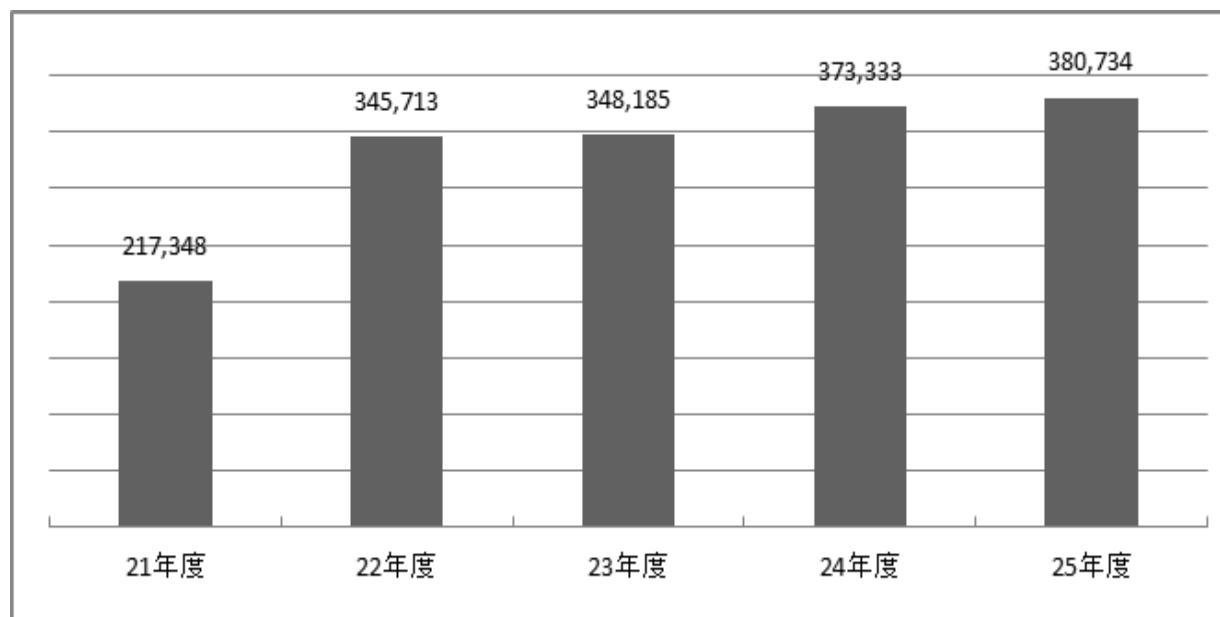
内 容		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
脳血管疾患等	算定人員	127	122	118	109	110	1,420	118.3
	単位数	22,776	22,449	22,957	20,655	22,731	278,721	23,226.8
廃用症候群	算定人員	9	12	12	11	7	115	9.6
	単位数	1,120	1,380	1,499	1,898	1,270	17,118	1,426.5
運動器疾患	算定人員	49	50	48	49	47	542	45.2
	単位数	7,473	7,816	7,634	6,990	8,253	84,895	7,074.6
初期加算	算定人員	0	4	2	3	0	15	1.3
	単位数	0	169	110	95	0	470	39.2
早期加算	算定人員	27	31	25	17	15	254	21.2
	単位数	1,324	1,979	1,286	920	633	13,051	1,087.6
摂食機能療法	算定人員	38	38	43	36	0	398	33.2
	単位数	593	708	800	725	0	7,194	599.5
リハ総合計画評価料		148	149	144	123	0	1,543	128.6
退院時指導		0	1	1	0	0	3	0.3

② 平成 25 年度疾患別リハビリテーションの算定状況平均値（月別にて集計）

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳血管疾患等	8.29	8.52	8.53	8.59	8.54	8.66	8.62	8.52	8.52	8.54	8.67	8.61
廃用症候群	7.26	7.31	7.42	7.46	6.91	7.71	7.71	7.03	6.81	7.50	7.14	7.38
運動器疾患	5.84	5.97	7.25	7.73	7.52	7.35	7.63	7.33	7.32	7.57	7.39	7.13
合計	7.71	7.88	8.15	8.33	8.66	8.27	8.32	8.15	8.12	8.24	8.22	8.12

③ 年度別推移

内容	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
脳血管疾患等	単位	189,487	251,810	267,951	278,863	278,721
廃用症候群	単位	-	13,338	17,319	14,561	17,118
運動器	単位	28,896	61,419	62,915	79,909	84,895
初期加算	単位	-	-	-	328	470
早期加算	単位	7,241	8,619	12,027	10,020	13,051
ADL加算	単位	-	-	-	-	-
摂食機能療法	回	7,167	8,974	8,823	8,824	7,194
退院時リハビリテーション指導料	件	3	1	2	3	3
リハビリテーション総合計画評価料	件	1,132	1,552	1,553	1,646	1,543
合計		217,348	345,713	348,185	373,333	380,734



【実習生受入れ】

〔目的〕

養成校で修得した知識と技術を、臨床で確認し、患者の評価・目標設定・プログラム・治療・リスク管理等を、実践的に学習させ、スペシャリストとしての知識、技術を習得させる。

〔実績〕

ア. 理学療法部門

No	期 間	養 成 校	内 容	学 科
1	4/8～6/14	埼玉県立大学	臨床(9W)	PT
2	4/15～6/8	杏林大学	臨床(8W)	PT
3	5/27～7/11	仙台医療技術専門学校	臨床(6W)	PT
4	6/10～8/3	横浜リハビリテーション専門学校	臨床(7W)	PT
5	7/29～9/20	八千代リハビリテーション専門学校	臨床(8W)	PT
6	8/26～10/19	社会医学技術学院	臨床(8W)	PT
7	9/23～11/9	帝京平成大学	臨床(8W)	PT
8	10/21～12/7	医学アカデミー	臨床(6W)	PT
9	1/20～2/28	仙台医療技術専門学校	評価(6W)	PT
10	2/3～2/21	首都大学東京	評価(3W)	PT
11	3/10～3/21	埼玉県立大学	臨床体験 (2W)	PT

イ. 作業療法部門

No	期 間	養 成 校	内 容	学 科
1	4/8～5/31	北里大学	臨床(8W)	OT
2	6/3～7/19	埼玉県立大学	臨床(7W)	OT
3	6/10～8/2	日本リハビリテーション専門学校	臨床(8W)	OT
4	7/29～9/20	八千代リハビリテーション学院	臨床(8W)	OT
5	8/5～8/6	目白大学	見学(2日)	OT
6	8/26～10/18	健康科学大学	臨床(8W)	OT
7	9/2～10/19	彰栄リハビリテーション専門学校	臨床(7W)	OT
8	9/2～9/14	横浜リハビリテーション専門学校	評価(2W)	OT
9	9/9～9/14	東京工科大学	見学(1W)	OT
10	9/9～11/2	東京福祉専門学校	臨床(8W)	OT
11	2/3～2/21	日本リハビリテーション専門学校	評価(3W)	OT

ウ. 言語聴覚療法部門

No	期 間	養 成 校	内 容	学 科
1	7/1～8/24	西武学園医学技術専門学校	臨床(8W)	ST
2	8/19～9/28	北里大学	臨床(8W)	ST
3	2/24～3/22	帝京平成大学	評価(4W)	ST
4	11/25～12/20	東京医薬専門学校	評価(4W)	ST
5	2/3～2/8	首都医校	見学(1W)	ST

【外部学会・研修会参加記録】

No	月 日	研修名	内容	参加者
1	5/18,19	第 25 回活動分析研究会	中枢	細谷他 2 名
2	6/1,2	脳血管障害後に生じる肩関節痛について	中枢	土屋
3	6/5,12	病態生理から理解する呼吸疾患	中枢	渡邊・岩波
4	6/6	AMG 治療報酬研修会	その他	土屋
5	7/4	エルゴノミックシーティング リーダー育成基本コース	その他	小峰
6	7/21	中枢疾患に対する理学療法	中枢	清水
7	8/26,27	第 18 回 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会	呼吸	吉井他 7 名
8	8/28,29	第 18 回 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会	呼吸	吉田・森田
9	8/31,9/1	第 63 回全職種研修会	その他	中村
10	9/7,28	環境適応講習会 <食事>	中枢	赤羽
11	9/22,23	第 19 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	中枢	一木
12	10/4,5	第 48 回日本理学療法士協会全国研修会	その他	小峰
13	10/13,14	入谷式足底板中級コース	整形	真水
14	10/19	第 39 回日本救急医学会総会学術集会	その他	森田
15	11/2,3	第 55 回全日本病院学会 埼玉	その他	鈴木・渡邊
16	11/10,17	骨盤勉強会	整形	竹内
17	11/14	第 21 回日本慢性期医療学会	その他	土屋
18	11/22,23	リハビリテーションケア合同研究大会 千葉	その他	原田・一木
19	11/23	第 9 回日本シーティングシンポジウム	その他	小峰他 2 名
20	11/23	第 25 回 ADL 評価表 FIM 講習会	その他	土屋他 7 名
21	11/24	第 18 回 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習	呼吸	吉井他 11 名
22	12/8	第 22 回埼玉県理学療法学会	その他	小峰・渡邊
23	1/19	IMS リハビリテーション学会	その他	土屋他 2 名
24	2/7,8	第 23 回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会	その他	土屋他 5 名
25	2/15,3/1	環境適応講習会 <平面適応・移動空間適応>	中枢	吉田
26	2/16	肩関節周囲炎に対する最新の知見と運動療法の実際	整形	岩波・梁川
27	2/19,20	3 学会合同呼吸療法認定士講習 <認定更新研修>	呼吸	倉林
28	2/24	第 11 回人工呼吸器セミナー	呼吸	吉井他 6 名

【TMG 内研修参加記録】

No	日程	研修会名	講師等
1	3/30	新人教育プログラム 「“患者第一主義”の奨め」	佐野聖次 (戸塚共立リハビリテーション病院)
2	4/25	地域リハビリテーション研究会 ・「脳卒中地域連携について」 ・「シーティングの基礎から対応」	小林洋一 (とだ小林医院) 小峰隆弘 (戸田中央リハビリテーション病院)
3	4/27	新人教育プログラム ・「臨床検査とは～TMGにおける臨床検査部の職域紹介～」 ・「主な検査データの見方～各検査の意義」 ・「感染予防」	山下真寛 (戸田中央臨床検査研究所) 塚原晃 (戸田中総合病院検査科) 川又大右 (戸田中央臨床検査研究所)
4	5/18	新人教育プログラム 「放射線科の業務内容および臨床画像について」	戸田中央総合病院放射線科
5	6/1	戸田地域勉強会「研究発表」	
6	6/8	新人教育プログラム ・「摂食・嚥下」 ・「失語症」	赤沼賢吾 (戸田中央総合病院) 阿部園子 (小平中央リハビリテーション病院)
7	7/6	新人教育プログラム 「病態の理解に役立つ画像の見方」	杉浦誠 (熱海所記念病院)
8	8/10	PT・ST 合同部会 「高次脳機能障害 心と身体で支えるリハビリテーション」	橋本圭司 (成育医療研究センター)
9	8/17	新人教育プログラム 「リハビリテーション部プレリーダー研修 (3年目対象)」	箕輪由紀子 (TMG 本部人事部)
10	8/26	地域リハビリテーション研究会 ・「ボツクスの痙性麻痺への効果と臨床応用」 ・「クッションの機能と選び方について」	栢森良二 (帝京大学) 小峰隆弘 (戸田中央リハビリテーション病院)
11	8/31	OT 部会 「日本の作業療法の歴史を振り返り、より良いサービスを考える」	山口昇 (専門学校社会医学技術学院)
12	9/28	ST 部会 「ヒトの嚥下と嚥下障害について考える」	三枝英人 (日本医科大学付属病院)
13	11/27	地域リハビリテーション研究会 「車椅子の機能と選び方の実践～症例検討とグループワークを通じて～」	小峰隆弘 (戸田中央リハビリテーション病院)
14	11/30	新人教育プログラム OT 領域「情動と感情とリハビリテーション」	野宮一志 (戸田中央総合病院)
15	12/21	新人教育プログラム PT 領域「情動と感情とリハビリテーション」	野宮一志 (戸田中央総合病院)
16	3/3,6	リハビリテーション部役職者研修	山田隆介 (新座病院)
17	2/22	・「正月リハビリテーション」「ADLについて」 ・「当院のリハビリテーションについて」	熱海所記念病院 戸田中央総合病院
18	3/13	リハビリテーション科勉強会 「小児に関わる ST の臨床について」	横澤りか (草加市子育て支援センター・松伏町保健センター)
19	3/15	新人教育プログラム 「呼吸器領域の画像診断」	山梨美紀夫

薬剤科

薬剤科係長 古賀雅恵

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔係長〕古賀雅恵

〔科員〕楊箒有理、菅原千代実、小林敦子

【年次報告】

平成 25 年度は中途入職者 2 名を迎え入れることができ、人員確保が実現しました。

医療機能評価受審を機に、薬剤科内全てのマニュアルの見直しを行ったことで、業務内容の再確認をすることが出来ました。その結果、今後の改善点も見えてきました。

前年度に比べ薬剤科独自の発行物やパンフレットの作成が少なく、満足のゆく情報提供ができなかったと考えられます。さらに病棟業務で重要視していた『カンファレンスへの参加』も実現できませんでした。

平成 26 年度は、業務内容の見直しと薬剤科としての質の向上を目標とし、チーム医療の一員としての役目を果たすべく、更なる研鑽に努めて行きたいと思えます。

【発行物】

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 院内採用医薬品集 | 2 回 |
| 2. 薬効順医薬品集 | 2 回 |
| 3. DI ニュース | 11 回 (No124～No134) |
| 4. 薬剤科からのお知らせ | 49 回 |
| 5. 安全性速報 | 2 回 |

【薬剤の種類】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

採用薬品種類	231 種類（内服薬：114、注射薬：48、外用薬：39） 後発医薬品：58.9%
新規採用薬品種類	3 種類
使用削除薬品種類	3 種類
要時採用薬	38 種類

【院内副作用報告】

No	報告日	副作用等の症状・異常所見	報告	
			厚生労働省	製薬会社
1	25.5.1	皮疹	×	×
2	25.7.4	肝機能障害	×	×
3	25.7.4	肝機能障害	×	×
4	25.7.4	肝機能障害	×	×
5	25.11.7	肝機能障害	×	×
6	25.11.11	肝機能障害	×	×
7	25.11.12	肝機能障害	×	×
8	25.11.14	肝機能障害	×	×
9	25.11.18	肝機能障害	×	×

【実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
処方箋発行枚数	943	888	842	950	803	830	869
入院	934	886	833	939	797	819	859
外来（院内）	9	2	9	11	6	11	10
注射箋	39	42	54	46	52	61	23
調剤件数	1,307	1,716	1,627	1,951	1,654	1,600	1,661
入院	1,290	1,713	1,608	1,936	1,644	1,584	1,646
外来	17	3	19	15	10	16	15
服薬指導件数	算定可	0	0	0	0	0	0
	算定不可	122	141	144	123	151	130
退院時加算	0	0	0	0	0	0	0
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
処方箋発行枚数	826	903	801	793	914	10,362	863.5
入院	819	898	789	785	903	10,261	855.1
外来（院内）	7	5	12	8	11	101	8.4
注射箋	56	20	38	43	49	523	43.6
調剤件数	1,532	1,735	1,494	1,566	1,688	19,531	1,627.6
入院	1,521	1,725	1,480	1,548	1,665	19,360	1,613.3
外来	11	10	14	18	23	171	14.3
服薬指導件数	算定可	0	1	1	0	0	2
	算定不可	172	154	131	121	148	1,691
退院時加算	0	0	1	0	0	1	0.1

【実績（DI室）】

区 分／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
医薬品疑義回答	5	15	16	15	14	15	15
1 薬剤鑑定	0	0	0	0	1	0	0
2 用法用量	1	6	1	1	2	2	1
3 性状	0	0	2	1	2	1	3
4 副作用	1	1	2	0	1	1	1
5 薬効・薬理	2	4	3	2	3	6	3
6 相互作用	2	0	0	1	0	0	0
7 在庫確認	1	3	7	9	5	4	6
8 その他	0	1	1	1	0	1	1
区 分／月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
医薬品疑義回答	10	8	11	13	12	149	12.4
1 薬剤鑑定	0	0	0	0	0	1	0.1
2 用法用量	0	1	1	4	1	21	1.8
3 性状	0	0	3	1	1	14	1.2
4 副作用	0	0	0	0	0	7	0.6
5 薬効・薬理	2	2	2	0	4	33	2.8
6 相互作用	2	0	1	0	0	4	0.3
7 在庫確認	5	4	2	5	6	57	4.8
8 その他	1	1	2	3	0	12	1.0

【学会・研修会参加】

No	学会・研修会名	講師等	会場	日程
1	3 施設合同薬剤科研修会 「アイファガン点眼液について」	千寿製薬(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	4/5
2	3 施設合同薬剤科研修会 「アンビゾームについて」	大日本住友(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	4/10
3	3 施設合同薬剤科研修会 「エポプロステノールについて」	テバ製薬(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	4/11
4	3 施設合同薬剤科研修会 「ジブレキサ筋注について」	日本イーライリリー(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	4/26
5	2013 年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「漢方医学と西洋医学の比較 ～時間軸で病態をみる漢方医学」他合計3 演題	大野クリニック院長 大野修嗣	明治薬科大学	4/28
6	2013 年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「鍼灸総論～鍼灸治療とは?～」他合計3 演題	埼玉医科大学東洋医学センター 講師 山口智	明治薬科大学	5/26
7	第 236 回平成 25 年度東京薬科大学卒業教育講座 「アレルギー性皮膚疾患の現状と最新治療」他合計3 演題	東京医科大学皮膚科教授 大久保ゆかり	東京医科大学病院	6/2
8	2013 年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「漢方医学の基礎理論（陰陽、虚实、寒熱、表裏）」 他合計3 演題	埼玉医科大学東洋医学センター 講師 医師 磯部秀之	明治薬科大学	6/23
9	3 施設合同薬剤科研修会 「ミルセラ注について」	中外製薬(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	6/25
10	埼玉県緩和薬物療法研修会 「鶴岡地域の薬局・薬剤師の取り組みと課題 ～OPTIM の経験と課題～」他 合計2 演題	篠田司	大宮法科大学院大学 OLS ビル	6/29
11	平成 25 年度日本病院薬剤師会 医薬品安全管理責任者講習会「医薬品安全管理に関する留意点について」他 合計8 演題	日本病院薬剤師会副会長 土屋文人	東京医科歯科大学	7/5
12	3 施設合同薬剤科研修会 「吸入薬について」	グラクソ・スミスクライン(株) 学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	7/8
13	3 施設合同薬剤科研修会 「インスリンについて」	イーライリリー(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	7/10
14	3 施設合同薬剤科研修会 「トレシーバ注について」	ノボ・ノルディスクファーマ(株) 学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	7/19
15	3 施設合同薬剤科研修会 「ヒュミラ皮下注について」	エーザイ(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	7/26
16	2013 年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「恒常性維持機能と気血水」他合計3 演題	大野クリニック 院長（医師・薬剤師）大野修嗣	明治薬科大学	7/28
17	3 施設合同薬剤科研修会 「レキップ CR 錠について」	グラクソ・スミスクライン(株) 学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	8/2
18	回復期リハビリテーション病棟協議会 第 63 回全職種研修会 「回復期リハビリテーション病棟における退院支援」	回復期リハビリテーション病棟協議会 理事 三橋尚志 回復期リハビリテーション病棟協議会 副会長 宮井一郎	三田 NN ビル地下1 階	8/31 9/1
19	第 238 回平成 25 年度東京薬科大学卒業教育講座 「注目される医療の動向と薬剤師」 ①栄養と健康～国民健康・栄養調査結果から わかる栄養摂取の動向と課題他 合計3 演題	国立健康・栄養研究所 栄養疫学研究部 国民栄養 調査研究室室長 奥田奈賀子	東京医科大学病院	9/8

No	学会・研修会名	講師等	会場	日程
20	2013年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「鍼灸各論 [1] ～鍼灸治療の実際・その運用 方法と作用機序について～」他 合計3演題	埼玉医科大学東洋医学センター 鍼灸師 小俣浩	明治薬科大学	9/22
21	第20回精神科薬物療法研修会 「統合失調症における薬剤選択」 「いわゆる新型うつ病について」	三枚橋病院副理事長 院長 村上忠 独協医科大学越谷病院 こころの診療科教授 井原裕	大宮法科大学院大 学 OLS ビル	9/29
22	3施設合同薬剤科研修会 「グルテストアルファについて」	三和化学(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	10/9
23	2013年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 「鍼灸各論～鍼灸治療の実際・臨床症状に 対する鍼灸治療効果について」他 合計3演題	埼玉医科大学東洋医学センター 鍼灸師 小俣浩	明治薬科大学	10/27
24	第55回全日本病院薬学会 in 埼玉 「地域医療を担う我ら」～埼玉から日本へ発信～		大宮ソニックティ	11/2 11/3
25	3施設合同薬剤科研修会 「大建中湯について」	(株)ツムラ学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	11/22
26	2013年度明治薬科大学薬剤師生涯学習講座 臨床現場での漢方医学の有用性」他 合計3演題	埼玉医科大学東洋医療センター 医師 磯部秀之	明治薬科大学	11/24
27	3施設合同薬剤科研修会 「エパデールについて」	持田製薬(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	12/2
28	TMG 薬剤部研修会 第一回精神神経領域研修会 「精神科の薬について」	ハートフル川崎病院 薬局長 安藤正純	戸田中央総合病院 第二会議室	12/7
29	3施設合同薬剤科研修会 「ビソノテープについて」	トーアエイヨー(株)学術担 当	戸田中央総合病院 北会議室	12/11
30	第83回東京医科大学病院市民公開講座 「寝たきりにならないための関節症対策」	東京医科大学 整形外科准教授 宍戸孝明	東京医科大学病院	12/20
31	3施設合同薬剤科研修会 「ボルベン輸液 6%について」	大塚製薬(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	1/8
32	3施設合同薬剤科研修会 「ヒルドイドについて」	マルホ(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	1/9
33	第7回TMG 薬剤部研修会 妊婦・授乳婦領域勉強会 「妊婦・授乳婦と薬」	戸田中央産院 薬局長 福地理香	戸田中央総合病院 第二会議室	1/25
34	3施設合同薬剤科研修会 「イーフェンバカル錠について」	大鵬薬品(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	2/3
35	3施設合同薬剤科研修会 「エンブレル皮下注 50 mgペンについて」	武田薬品(株)学術担当	戸田中央総合病院 北会議室	2/21
36	TMG 薬剤部糖尿病研修会 「最新の糖尿病治療薬 (SGLT2 阻害 薬) の使い方について」 「昨年度の糖尿尿研修会のアンケー ト結果の振り返り 他」	西東京中央総合病院 薬剤科 吾妻隼斗 戸田中央総合病院 薬剤科係長 岩下恵	戸田中央総合病院 第二会議室	2/22
37	3施設合同薬剤科研修会 「FOLFIRINOX 療法について」	ヤクルト(株) 学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	2/26
38	第1回先進医療推進フォーラム ～医師たちが挑む革新的医療～ 「ips 細胞技術を用いた医療革命」他合計3演題	慶応義塾大学 教授 岡野栄之	ベルサール汐留	3/1
39	3施設合同薬剤科研修会 「アセリオ静注液 1000 mgについて」	テルモ(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	3/7

診療支援部門－薬剤科

No	学会・研修会名	講師等	会場	日程
40	第4回 TMG 薬剤部研究報告会 「当院における疑義照会の内容調査の結果と その活用～他職種との連携～」他合計 21 演題	戸田中央リハビリテーション病院 薬剤科 小林敦子	横浜未来看護専門 学校	3/8
41	3 施設合同薬剤科研修会 「オンブレス吸入用カプセルについて」	ノバルティスファーマ(株) 学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	3/12
42	3 施設合同薬剤科研修会 「ペリセートについて」	JMS 学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	3/19
43	3 施設合同薬剤科研修会 「リキスミア注 300u について」	サノフィ(株)学術担当	戸田中央総合病院 第二会議室	3/26

栄養科

栄養科係長 藤本美穂

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 〔係 長〕 藤本美穂係長（管理栄養士）
- 〔科 員〕 伊藤恵（管理栄養士）、深田美佳（管理栄養士・長期休暇中）
- 〔委託業者〕 日清医療食品(株)北関東支店

【基本理念】

“衛生的で効率的な食事提供”

- ① クックチルによる温かく安全な食事提供
- ② 喫食率向上のための取り組み
 1. 患者さんひとりひとりに合った食事の提供
 2. 全ての患者さんに食事の楽しさを

【年次報告】

平成 25 年度は、新しい取り組みとして患者さんの食事摂取場面の確認をチームで行う『摂食・嚥下ラウンド』に加え、栄養面からもアプローチしていくことが加わった『NST・摂食・嚥下ラウンド』として各病棟週 1 回活動してきました。患者さんの食事摂取場面を確認すると同時に、栄養状態の確認も行っています。さらに栄養状態についてはさまざまな観点から確認出来るよう、血液データだけでなく、身体計測、栄養状態評価表等いくつものツールを利用しています。これらのデータは多職種で協力して収集・確認しており、これを継続してこられたのは当院のチームワークの良さ故と思っております。

また病院機能評価受審（更新）に伴い、給食システムのバージョンアップ、食事のオーダーと給食システムの連動、業務内容の見直しを行い、業務のスリム化を図りました。これにより、今後はさらに患者さんの栄養面からのアプローチや食事内容の充実に力を入れていく予定です。そして患者さんひとりひとりに合わせた食事提供を行い、『食』を通して患者さんの回復に貢献していきたいと考えています。

【実績】

〔栄養指導〕

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
栄 養 指 導 件 数	8	11	5	13	12	13	13
外 来	0	0	0	0	0	0	0
入 院	8	11	5	13	12	13	13
区 分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
栄 養 指 導 件 数	18	15	8	8	10	134	11.2
外 来	0	0	0	0	0	0	0
入 院	18	15	8	8	10	134	11.2

〔栄養指導の内訳〕

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
脳 疾 患	0	1	0	0	0	1	1	2	1	2	1	0	9
高 血 圧 症	4	6	1	6	3	4	3	7	7	2	3	2	48
糖 尿 病	3	4	3	7	9	6	8	7	7	4	3	7	68
そ の 他	1	0	1	0	0	2	1	2	0	0	1	1	9
合 計	8	11	5	13	12	13	13	18	15	8	8	10	134

[実施給食数]

月	実施給食数					エネルギー (Kcal)	蛋白(g)	材料費 (円/食)
	常食	軟食	流動食	治療食	計			
4月	5,130	3,995	297	1,900	11,322	1,753	67.8	835
5月	4,952	4,102	385	2,195	11,634	1,753	67.1	837
6月	4,297	3,854	340	2,743	11,234	1,755	67.2	832
7月	4,584	4,050	160	2,871	11,665	1,716	66.0	829
8月	4,850	4,279	190	2,400	11,719	1,736	66.0	836
9月	4,766	4,414	42	2,104	11,326	1,755	66.5	815
10月	4,376	4,902	67	2,258	11,603	1,769	66.7	835
11月	4,095	4,801	188	2,120	11,204	1,774	66.6	850
12月	4,215	5,125	168	1,833	11,341	1,772	67.3	827
1月	4,061	4,904	272	2,012	11,249	1,778	67.2	822
2月	3,924	4,037	237	2,332	10,530	1,784	67.3	809
3月	4,371	4,350	248	2,704	11,637	1,760	66.6	864
合計	53,621	52,813	2,594	27,472	136,464	-	-	9,991
	4,468	4,401	216	2,289	11,372			833

[治療食の内訳] (年間数/月平均)

No	治療食	年間食数	月平均食数	No	治療食	年間食数	月平均食数
1	胃・十二指腸潰瘍食	848	71	6	心臓・高血圧食	4,331	361
2	糖尿食 I	2,523	210	7	腎臓食	1,455	121
3	糖尿食 II	6,948	579	8	透析食	0	0
4	糖尿食 III	11,326	944	9	経管栄養	2,575	215
5	糖尿食 IV	41	3		合計	30,047	2,504

[セレクト食] (回数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
12	13	14	11	14	12	12	14	13	10	12	14	151	12.6

[行事食他]

月	行事食		その他
	日	内容	
4	1	お造り	
5	5	端午の節句	実習生見学 5/14・21・28 (東京家政大学短期大学部)
	23	お造り	
6	24	はも・金銀豆腐	6/4・11・18 (東京家政大学)
7	7	七夕	
	22	土用の丑の日	
8	12	冷しゃぶ	8/20・27 (東京家政大学)
9	23	秋分の日 (彼岸)	
	27	栗ごはん	
10	15	お造り	
11	19	茶碗蒸し	
12	24	クリスマス	
	31	年越しそば	
1	1・2	おせち	

月	行事食		その他
	日	内容	
2	3	節分	
	14	バレンタイン	
3	3	ひな祭り	
	21	春分の日（彼岸）	

【学会・研修会参加（外部）】

No	学会・研修会名	主催・講師等	会場	日程
1	第12回摂食・嚥下セミナー	日本大学歯学部摂食機能療法講座 戸原 玄 他	東京ビックサイト	5/26
2	第43回糖尿病センターと病診連携の会	東京女子医科大学糖尿病センター 内潟 安子 他	京王プラザホテル	6/12
3	総会・衛生講習会	川口保健所管内給食研究会	川口保健所	6/14
4	第27回臨床栄養学術セミナー	(公社) 日本栄養士会 医療事業部	東京医科歯科大学	6/15
5	リハ栄養フォーラム 2013	日本リハビリテーション栄養研究会	TKP 赤坂ツインタワーカンファレンスセンター	8/25
6	第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会	川崎医療福祉大学 他	9/21～23
7	食と生命のサイエンス・フォーラム 2013	東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センター 川島 隆太 他	東京大学	10/2
8	第4回摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー	南国中央リハビリテーション科医 宮本 寛 他	東医健保会館	11/23
9	栄養関係者全体研修会	川口保健所管内給食研究会	川口保健所	12/11
10	栄養関係者全体研修会	川口保健所管内給食研究会	川口保健所	1/29
11	第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会	日本静脈経腸栄養学会	パシフィコ横浜	2/27.28

【学会・研修会参加（内部）】

No	学会・研修会名	会場	日程
1	TMG 学会	大宮ソニックシティ	5/12
2	TMG 栄養部 全体勉強会	野田ビル 3F ハロー貸会議室馬喰町	6/22
3	CMS 学会	東京国際フォーラム	9/29
4	TMG 栄養部 事例発表会	戸田市商工会館	11/30
5	TMG 栄養部 臨床勉強会・症例検討会	TMG 研修センター	1/18.25

【勉強会開催（栄養科内）】

No	内容	出席者数	日程
1	昨年度のインシデント・アクシデントの報告	12名	6/5.7
2	食中毒について	11名	7/30.8/1
3	ノロウイルスについて	11名	12/17.19
4	非常災害時の対応について	11名	2/3.6

医療福祉科

医療福祉科係長 山中寛子

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 〔係長〕 山中寛子
- 〔主任〕 川嶋亜由美（休職中）
- 〔科員〕 古川珠美、小川留美子、首藤和美

【年次報告】

平成 25 年度の総相談件数は前年度より 251 件少なく 9,783 件に留まりましたが、入院相談件数は 962 件となり過去最高となりました。その一方で、入院予約になってからキャンセルとなる件数も 78 件から 118 件と 40 件増えるという結果になり、その件数も過去一番のキャンセル件数となっております。これは、近隣に同機能の病院が増え、複数のリハビリ病院を申し込むケースが増えているということが要因です。

このような状況下で、医療福祉科の業務割合も入院援助の割合が増加して、今年度は全体の 41.7%を占めました。

また、回復期リハビリテーション病棟に成果主義が持ち込まれ数年が経過し、入院にも退院にも様々な制約がつき、医療福祉科の入退院に関わる調整も多岐に渡るようになっております。

しかし、周囲の状況がどのように変わろうと、リハビリテーションを必要とする患者さんを一人でも多く入院に繋げ、できるだけ多くの患者さんが住み慣れた生活の場に退院できることを目標にしていくことに変わりはありません。

今後も、地域の医療機関・福祉関係者の皆様から信頼される医療福祉科を目指し業務に取り組んでいきたいと思っております。

【直接援助業務】

① 診療科目別総相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
回復期	832	913	810	933	812	734	868	797
療養	1	15	6	4	14	6	6	6
その他	1	0	2	2	0	0	1	4
合計	834	928	818	939	826	740	875	807
区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	割合	前年度
回復期	718	768	698	811	9,694	807.8	99.1%	99.6%
療養	9	1	1	4	73	6.1	0.7%	0.3%
その他	5	1	0	0	16	1.3	0.2%	0.1%
合計	732	770	699	815	9,783	815.3	100%	100%

② 援助内容別件数

No	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	受診援助	0	0	1	0	0	0	1	0
2	入院援助	358	363	338	383	288	302	311	344
3	退院援助	465	530	458	543	499	458	504	451
4	療養上の問題	3	17	20	9	38	6	45	11
5	経済的問題援助	0	0	2	4	2	0	0	0
6	就労問題援助	0	0	0	0	0	0	0	0
7	住宅問題援助	0	0	0	0	0	0	0	0
8	教育問題援助	0	0	0	0	0	0	0	0
9	家族問題援助	0	0	0	0	0	0	0	0
10	日常生活援助	0	1	0	0	0	0	0	0
11	心理情緒的援助	0	0	0	0	0	0	0	0
12	人権擁護	0	0	0	0	0	0	0	0
13	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		826	911	939	939	827	766	861	806
No	区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	割合	前年度
1	受診援助	2	1	1	2	8	0.7	0.1%	0.2%
2	入院援助	329	393	319	343	4,071	339.3	41.7%	39.1%
3	退院援助	388	367	366	451	5,480	456.7	56.1%	58.8%
4	療養上の問題	13	9	13	15	199	16.6	2.0%	1.5%
5	経済的問題援助	0	0	1	5	14	1.2	0.1%	0.4%
6	就労問題援助	0	0	0	1	1	0.1	0.0%	0.0%
7	住宅問題援助	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
8	教育問題援助	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
9	家族問題援助	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
10	日常生活援助	0	0	0	0	1	0.1	0.0%	0.0%
11	心理情緒的援助	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
12	人権擁護	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
13	その他	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
合計		732	770	700	817	9,774	814.5	100%	100%

③ 援助手段別件数

No	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	面接	187	202	191	223	220	186	174	194
2	協議・調整	395	480	395	448	403	385	429	389
3	電話	691	780	717	781	772	768	816	794
4	文書	7	5	19	20	24	16	81	39
5	家屋調査	6	3	5	5	1	2	7	3
6	訪問・外出	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1,286	1,470	1,327	1,477	1,420	1,357	1,507	1,419
No	区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	割合	前年度
1	面接	177	187	176	191	2,308	192.3	14.2%	14.7%
2	協議・調整	378	370	336	401	4,809	400.8	29.6%	31.1%
3	電話	660	644	629	736	8,788	732.3	54.1%	52.6%
4	文書	45	20	7	32	315	26.3	1.9%	1.3%
5	家屋調査	1	1	2	3	39	3.3	0.2%	0.3%
6	訪問・外出	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
合計		1,261	1,222	1,150	1,363	16,259	1,354.9	100%	100%

④ 相談対象者別件数

No	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	本人	60	53	61	56	56	40	35	53
2	家族	317	385	352	414	395	358	357	392
3	医師	166	160	150	162	153	153	184	159
4	看護師	245	265	213	265	242	224	259	226
5	リハビリスタッフ	165	196	160	164	131	133	152	146
6	その他院内職員	30	26	40	30	19	26	45	51
7	病院・施設	455	536	484	525	533	529	542	512
8	ケアマネジャー	88	103	75	90	58	65	143	104
9	行政機関	1	10	11	4	6	2	24	2
10	職場・学校	0	0	0	0	0	0	0	0
11	その他	17	11	14	13	6	5	10	4
合計		1,544	1,745	1,560	1,723	1,599	1,535	1,751	1,649
No	区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	割合	前年度
1	本人	41	55	41	48	599	49.9	3.1%	3.6%
2	家族	320	333	304	336	4,263	355.3	22.4%	22.7%
3	医師	157	177	158	173	1,952	162.7	10.3%	9.6%
4	看護師	204	219	210	241	2,813	234.4	14.8%	14.8%
5	リハビリスタッフ	124	116	125	153	1,765	147.1	9.3%	10.5%
6	その他院内職員	60	71	59	68	525	43.8	2.8%	1.4%
7	病院・施設	435	435	426	493	5,905	492.1	31.0%	29.8%
8	ケアマネジャー	80	47	72	81	1,006	83.8	5.3%	6.4%
9	行政機関	2	8	6	10	86	7.2	0.4%	0.6%
10	職場・学校	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
11	その他	8	4	11	19	122	10.1	0.6%	0.6%
合計		1,431	1,465	1,412	1,622	19,036	1,586.3	100%	100%

【入院相談業務】

① 入院相談件数

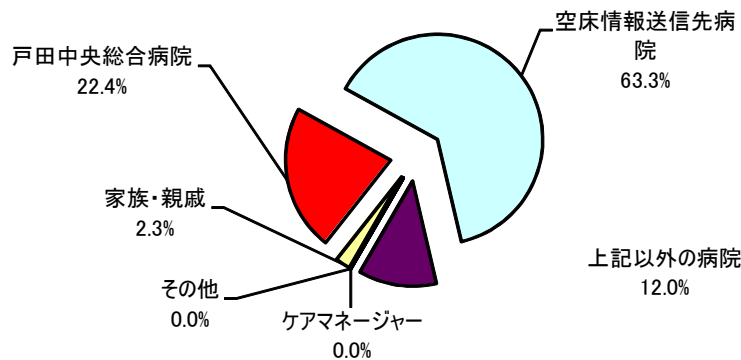
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
回復期病棟	82	83	72	86	61	75	81	76
療養病棟	1	1	0	0	1	1	0	2
合計	83	84	72	86	62	76	81	78
区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年度	前年比
回復期病棟	75	106	78	87	962	80.2	75.3	+4.9
療養病棟	0	0	0	3	9	0.8	0.5	+0.3
合計	75	106	78	90	971	80.9	75.8	+5.1

② 紹介者

No	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	本人	0	0	0	0	0	0	0	0
2	家族・親戚	0	0	0	0	0	1	1	3
3	戸田中央総合病院	8	13	11	9	16	8	15	16
4	空床情報送信先病院	65	53	46	70	38	59	57	55
5	上記以外の病院	10	18	15	7	8	8	8	4
6	ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0	0	0
7	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		83	84	72	86	62	76	81	78

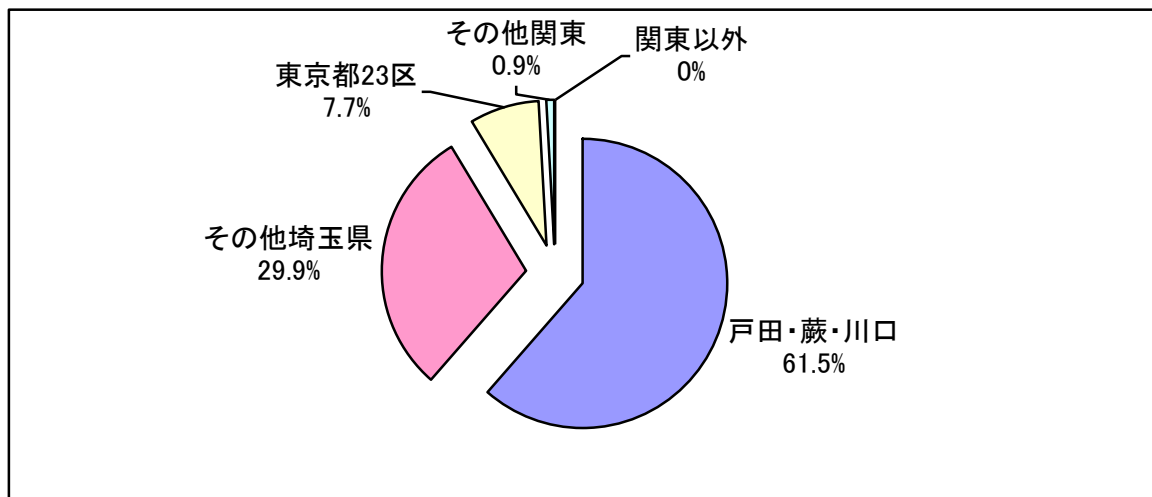
No	区分	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年度	前年比
1	本人	0	0	0	0	0	0	0	±0
2	家族・親戚	2	2	3	1	13	1.1	1.5	▲0.4
3	戸田中央総合病院	6	16	14	15	147	12.3	17.3	▲5.0
4	空床情報送信先病院	61	77	52	58	691	57.6	47.7	+9.9
5	上記以外の病院	6	11	9	16	119	9.9	9.3	+0.6
6	ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0	0	±0
7	その他	0	0	0	0	0	0	0.2	▲0.2
合計		75	106	78	90	971	80.9	75.8	+5.1

※空床・待機状況等についての情報を毎週月・木曜日に 58 病院に送信しています!!



③ 紹介元病院（地域別）

地域	人数	施設数	割合
戸田・蕨・川口	72	64	61.5%
その他埼玉県	35	32	29.9%
東京 23 区	9	19	7.7%
その他関東	1	2	0.9%
関東以外	0	0	0%
合 計	117	117	100%



④ 紹介元病院（全 84 病院 紹介件数順）

No	病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	戸田中央総合病院	9	12	21	9	11	6	10	14	10	9	10	13	125
2	川口市立医療センター	8	4	5	4	3	4	7	7	5	4	1	3	55
3	済生会川口総合病院	3	4	4	3	6	1	1	4	10	4	3	4	47
4	秋葉病院	2	4	7	4	2	2	2	1	2	3	4	1	34
5	さいたま赤十字病院	4	3		2	2	2	2	2	6	3	3	2	31
6	川口工業総合病院	2	4	1	2	4	5	2	3		1	2	2	28
7	三愛病院	3	3	2	4	5		3	2	3	2			27
8	さいたま市立病院	2	4		4	2	4	3	1	2	2		2	26
9	公平病院	1	1	2		1	4	1	1	3	2	2	2	20
10	朝霞台中央総合病院		1	1	1	1		1				2		7
11	東川口病院	1	1			3							1	6
12	帝京大学医学部附属病院	1			1			2	1		1			6
13	板橋中央総合病院			1						1	2	1	1	6
14	中島病院	1			1				1	1	1			5
15	明理会中央総合病院							1	1	1	1	1		5
16	博慈会中央総合病院	1					1	1		1				4
17	東京医大	1	1			1						1		4
18	埼玉医科大学総合医療センター			1				1			1		1	4
19	益子病院			1		1			2					4
20	草加市立病院	1						1			1			3
21	東京慈恵会医科大学附属病院		1							1		1		3
22	川口誠和病院		1						1				1	3
23	都立大塚病院			1						1	1			3
24	東京北社会保険病院						1	1					1	3
25	東京医科歯科大学附属病院							1			1		1	3
26	虎ノ門病院	1			1									2
27	河合病院	1							1					2
28	川久保病院	1										1		2
29	牛久愛和総合病院			1				1						2
30	新座志木中央総合病院			1								1		2
31	日本医科大学多摩永山病院			1							1			2
32	高島平中央総合病院			1								1		2
33	埼玉社会保険病院					1	1							2
34	蕨市立病院					1					1			2
35	豊島病院					1							1	2
36	聖路加国際病院						1					1		2
37	トワーム小江戸病院						1		1					2
38	練馬光が丘病院						1				1			2
39	社会保険中央病院							1		1				2
40	獨協医科大学越谷病院							1			1			2
41	春山外科病院								1	1				2
42	駿河台日本大学病院									1	1			2
43	越谷市立病院	1												1
44	社会保険横浜中央病院		1											1
45	東京女子医科大学病院		1											1
46	埼玉石心会病院		1											1
47	東京女子医科大学東医療センター			1										1
48	井上病院			1										1
49	常盤台外科病院			1										1
50	三楽病院				1									1

診療支援部門－医療福祉科（入院相談業務）

No	病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
51	順天堂大学医学部附属順天堂医院				1									1
52	深谷赤十字病院				1									1
53	東京医療センター				1									1
54	平成立石病院					1								1
55	亀田総合病院					1								1
56	藤崎病院						1							1
57	堀ノ内病院						1							1
58	東京大学医学部附属病院							1						1
59	齊藤記念病院							1						1
60	埼玉病院								1					1
61	青木医院								1					1
62	東和病院								1					1
63	苑田第一病院								1					1
64	悠優健康村病院								1					1
65	都立広尾病院									1				1
66	武南病院									1				1
67	川崎幸病院										1			1
68	東埼玉病院										1			1
69	とだ小林医院										1			1
70	伊東市民病院										1			1
71	大阪府済生会中津病院											1		1
72	あさひ病院（回復期）				1									1
73	埼玉協同病院（回復期）					1								1
74	武南病院（回復期）									1				1
合計		44	47	45	40	47	37	44	49	52	48	36	36	525

⑤ 入院待機日数（入院予約となってから入院当日までの日数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度	前年比	
回復期病棟	男性	9.2	13.4	8.5	6.7	12.7	7.7	4.8	5.8	5.9	8	16	13.2	9.3	10.2	▲0.9
	女性	8.8	10.9	13.7	15.5	12.9	9.5	5.8	9.6	5.8	6.8	14.1	21.1	11.2	12.2	▲1.0
療養病棟	男性	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	12	1.4	0.3	+1.1	
	女性	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	7	1.3	1.8	▲0.5	

⑥ 予約後キャンセル件数

キャンセル理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自宅退院のため	2	3	0	4	2	0	2	3	0	2	5	5	28	23.8%
他病院転院のため	8	4	9	6	8	7	3	5	6	3	3	6	68	57.6%
病状変化のため	1	2	0	1	1	0	1	4	2	1	3	3	19	16.1%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	2.5%
合計	11	9	9	11	11	7	6	12	8	7	11	16	118	100%

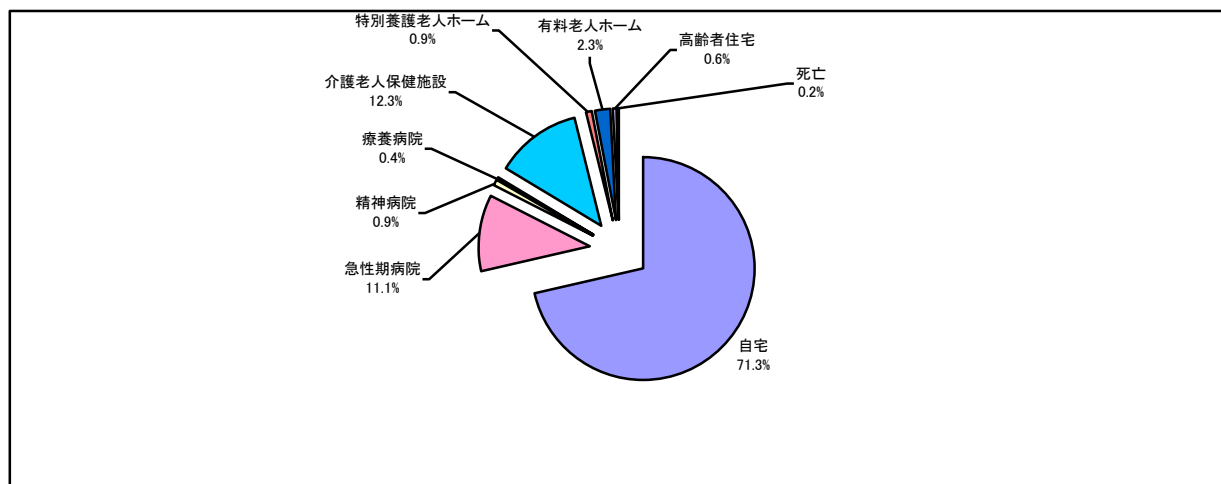
【退院援助業務】

① 退院数と退院先その内訳

区分	病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
急性期 病院	1 戸田中央総合病院	3	4	3	1	1	3	1		6	2	3	3	30
	2 さいたま市立病院		1		1			3					1	6
	3 川口市立医療センター	2				1		1					1	5
	4 秋葉病院	1		2										3
	5 三愛病院				1		1			1				3
	6 済生会川口総合病院			1						1				2
	7 川口工業総合病院					1				1				2
	8 公平病院								1			1		2
	9 さいたま赤十字病院	1												1
	10 草加市立病院										1			1
	11 社会保険中央総合病院									1				1
	12 都立大塚病院									1				1
	13 博慈会記念総合病院									1				1
	14 富山県立高志リハビリテーション病院			1										1
小計		7	5	7	3	3	4	5	3	8	5	4	5	59
療養病院	1 ふじの温泉病院	1							1				2	2
	2 富士温泉病院				1		1							2
	3 東所沢病院												1	1
小計		1			1		1		1				1	5
精神病院	1 戸田病院								1			1		2
小計									1			1		2
病院小計		8	5	7	4	3	5	5	5	8	5	5	6	66

区分	病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護老人 保健施設	1 グリーンビレッジ蕨	3	1	3	4	4	4	2	3	3	4	2	2	35
	2 エスポワールさいたま		1					1	3		1			6
	3 コスモス苑		1					2						3
	4 グリーンビレッジ安行					1			1				1	3
	5 うらわの里			2										2
	6 みぬま				1			1						2
	7 尚和園アンシャンテ				1	1								2
	8 あさがお							1			1			2
	9 リハビリパーク滝野川	1												1
	10 さくらの杜	1												1
	11 大宮ナーシングピア	1												1
	12 ゆらぎ			1										1
	13 戸田市介護老人保健施設			1										1
	14 桜田				1									1
	15 かわぐちナーシングホーム					1								1
	16 帝京大学老人保健センター							1						1
	17 ミレニアムマッシーランド								1					1
	18 ファインハイム										1			1
小計		6	3	7	7	7	5	7	8	4	6	2	3	65

区分	病院・施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設 有料ホーム	1 シーハーツ川口	1									1			2
	2 ボンセジュール川口	1												1
	3 メディス武蔵浦和	1												1
	4 たのしい家さいたま南与野		1											1
	5 ニチケアセンター東浦和			1										1
	6 アズハイム南浦和					1								1
	7 サニーライフ南浦和					1								1
	8 ボンセジュール南浦和					1								1
	9 リアンレーヴ川口									1				1
	10 ベストライフ									1				1
	11 サニーライフ越谷										1			1
小計		3	1	1		3				2	2			12
特別養護ホーム	1 レーベンホーム戸田	1					1							2
	2 さざんか		1											1
	3 川口キングスガーデン		1											1
小計		1	2											3
高齢者住宅	1 Cアミーユ戸田公園		1											1
	2 ココファン春日部								1					1
	3 ウェルネス									1				1
小計		1						1	1					3
施設小計		10	7	8	7	10	6	8	9	7	8	2	3	85
自宅退院		28	36	33	24	35	27	29	39	39	31	30	27	378
死亡退院		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		46	48	48	35	48	39	42	53	54	44	37	36	530



【間接援助業務】

① 地域連携・紹介元挨拶

No	月 日	病院名（会議名）	担当者
1	5/16	第 14 回済生会川口総合病院地域医療連携会	小川 首藤
2	6/19	グリーンブリッジ安行第 1 回地域連携報告会	山中 首藤
3	6/20	川口市立医療センター第 5 回地域連携推進懇話会	山中 古川
4	7/11	第 12 回埼玉病院医療連携施設懇談会	小川 首藤
5	7/16	第 7 回川口脳卒中地域連携研究会	古川 小川
6	9/17	第 13 回さいたま脳卒中地域連携研究会	古川 小川
7	10/29	第 3 回帝京大学医療連携セミナー	山中 古川
8	11/14	第 15 回済生会川口総合病院地域医療連携の会	小川 首藤
9	11/21	第 12 回戸田中央総合病院連携施設懇談会	山中
10	11/26	川口市立医療センター第 6 回地域連携推進懇話会	山中
11	1/16	第 2 回埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会	山中 古川 首藤
12	1/22	第 1 回看護看護ネットワークの会	山中 小川 古川 首藤
13	3/26	第 3 回埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会	小川

② 社会資源開拓（見学等）

No	月 日	病院名（会議名）	担当者
1	9/28	サービス付き高齢者向け住宅「リハビリの家川口柳崎」見学	古川 小川
2	11/16	川口工業総合病院内覧会	小川

③ 教育・見学者へのオリエンテーション・PR

No	月 日	内容
1	6/17	とだ小林医院 リハビリテーション病院見学
2	6/1,8/7,9/18	帝京大学医学部附属病院研修医 病院見学
3	8/5～8/20	淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 実習生
4	1月号	広報誌「smile」1月号「医療福祉相談室より」

④ 学会・院外研修会への参加

No	月 日	内 容	参加者
1	6/7,6/21,7/5,7/19 8/2,8/23,9/6,9/20 10/4,11/1,11/15 11/26,12/10,1/7 1/21	一般社団法人東京都医療社会事業協会 平成 25 年度新人研修（通年）	首藤
2	7/17～18	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 9 回ソーシャルワーカー研修会	小川
3	8/31～9/1	回復期リハビリテーション病棟全職種研修	小川
4	9/6 9/10	高次脳機能障害～障害の正しい理解と対応の工夫～ （埼玉県総合リハビリテーションセンター主催）	古川
5	9/11	頸椎損傷のリハビリテーション研修（神奈川県リハ）	川嶋
6	10/23	第 9 回埼玉県回復期リハビリテーションソーシャルワーカー連絡協議会	古川
7	10/23	平成 25 年度 文京学院大学人間学部人間福祉学科 実習研究協議会	古川
8	11/29	第 3 回国立障害者リハビリテーションセンター自立支援 事業公開	川嶋

⑤ TMG 医療福祉科研修などへの参加

No	月 日	内 容
1	4/6	TMG 医療福祉部定例会
2	6/10	第 1 回エリアネットワークミーティング（戸田エリア）
3	6/27 9/26 12/5	TMG 医療福祉科 G グループ研修
4	6/14 9/13 12/6	TMG 医療福祉部 C グループ研修
5	6/2 10/17 1/16	TMG 医療福祉部 E グループ研修
6	6/24 9/30 12/8	TMG 医療福祉部 D グループ研修
7	10/5	医療福祉部全体研修「ソーシャルワーカーとして成長すること」
8	9/18	第 2 回エリアネットワークミーティング（戸田エリア）
9	11/28	第 3 回エリアネットワークミーティング（戸田エリア）
10	2/1	TMG 医療福祉部グループ研修 リーダー・オブザーバー会議
11	3/1	TMG 医療福祉部 実践報告会「発信する」

放射線部門

医事課係長 桜井孝

【実績】

[撮影件数]

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
単 純 撮 影	62	55	58	58	62	48	52
入 院 時	43	43	44	37	46	36	42
入 院 中	19	12	14	21	16	12	10
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
単 純 撮 影	64	57	60	48	45	669	55.8
入 院 時	48	50	47	33	31	500	41.7
入 院 中	16	7	13	15	14	169	14.1

[フィルム使用枚数]

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
半 切	103	103	95	94	104	81	96
大 四 切	26	13	29	21	15	4	6
計	129	116	124	115	119	85	102
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
半 切	112	117	113	83	—	1,101	100.1
大 四 切	10	19	13	26	—	182	16.5
計	122	136	126	109	—	1,283	116.6

[撮影件数・委託分]

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
C T 撮 影 件 数	7	4	8	9	6	7	8
M R I 撮 影 件 数	2	0	1	0	1	0	1
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
C T 撮 影 件 数	11	7	10	7	4	88	7.3
M R I 撮 影 件 数	0	0	2	1	0	8	0.7

検査部門

医事課係長 桜井孝

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

〔責任医師〕佐藤信也院長

【年次報告】

入院時に検体検査で血液学的検査・生化学的検査・免疫学的検査、生理検査で心電図を実施し、入院中に関しては適宜、主治医の判断で検査を実施しています。

検査は(株)戸田中央臨床検査研究所に委託しています。至急の判定を要する検査に関しては FAX にて随時情報提供をしていただいております。

【実績】

〔検体検査〕

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
尿・糞便検査	140	157	150	151	170	132	151
血液学的検査	857	878	846	995	1,044	889	926
生化学的検査Ⅰ	2,394	2,397	2,376	2,780	2,907	2,396	2,526
生化学的検査Ⅱ	13	9	3	8	6	4	7
免疫学的検査	274	283	287	288	333	265	295
微生物学的検査	47	45	67	69	60	71	73
病理学的検査	0	0	0	0	0	0	0
区 分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
尿・糞便検査	181	162	161	118	135	1,808	150.7
血液学的検査	942	1,009	1,016	952	1,035	11,389	949.1
生化学的検査Ⅰ	2,589	2,680	2,585	2,411	2,547	30,588	2,549.0
生化学的検査Ⅱ	7	2	0	4	6	69	5.8
免疫学的検査	332	330	299	265	256	3,507	292.3
微生物学的検査	49	37	77	41	70	706	58.8
病理学的検査	0	0	0	0	0	0	0.0

〔生理検査〕

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
心 電 図	42	46	43	42	51	38	43
区 分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
心 電 図	49	51	48	36	34	523	43.6

地域連携部門

医事課係長 桜井孝

【年次報告】

平成 25 年度の入院件数は前年実績より 18 件の減少ではありますが、大きな変化の無い結果でありました。紹介元医療機関の地域別構成比については、戸田市の割合が 5.9%減少し、川口市の割合が 3.1%の増加となっております。

今後の地域連携強化策としては、戸田市はもちろん他市の医療機関とも積極的に連携をとっていき、スムーズな受け入れを心掛け、また連携パス（脳卒中及び大腿骨頸部骨折）実施病院の拡充、地域医療機関や介護保険施設等を対象としたリハビリテーション研究会の継続などを通して、地域に根ざした期待される病院として、より信頼される病院となるような活動をするを 26 年度の重点課題としております。

【実績】

[紹介率]

(単位：%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
68.0	73.9	60.8	60.0	70.6	59.2	60.4	56.5	73.2	68.4	53.7	45.7	62.8

[紹介元地域別]

地域		入院件数	構成比	地域		入院件数	構成比
埼玉県	戸田市	155	29.4%	県外	板橋区	16	3.0%
	川口市	145	27.5%		新宿区	10	1.9%
	さいたま市	124	23.5%		北区	8	1.5%
	朝霞市	7	1.3%		文京区	6	1.1%
	川越市	6	1.1%		足立区	6	1.1%
	草加市	3	0.6%		港区	5	0.9%
	越谷市	3	0.6%		千代田区	3	0.6%
	新座市	3	0.6%		中央区	2	0.4%
	蕨市	2	0.4%		その他都内	11	2.1%
	その他県内	4	0.8%		その他全国	9	1.7%
小計	452	85.6%	小計	76	14.4%		
				合計	528	100.0%	

[紹介元の施設別・地域]

① 戸田市 155 件

No	医療機関名	件数
1	戸田中央総合病院	128
2	公平病院	20
3	中島病院	5
4	とだ小林病院	1
5	戸田市立市民医療センター	1

② 川口市 145 件

No	医療機関名	件数	No	医療機関名	件数
1	川口市立医療センター	55	6	川口誠和病院	3
2	済生会川口総合病院	44	7	河合病院	2
3	川口工業総合病院	27	8	埼玉協同病院	1
4	東川口病院	6	9	齊藤記念病院	1
5	益子病院	5	10	武南病院	1

③ さいたま市 124 件

No	医療機関名	件数	No	医療機関名	件数
1	秋葉病院	33	5	川久保病院	2
2	さいたま赤十字病院	31	6	埼玉社会保険病院	2
3	三愛病院	28	7	青木医院	1
4	さいたま市立病院	27			

④ 朝霞市 7 件

No	医療機関名	件数
1	朝霞台中央総合病院	7

⑤ 川越市 6 件

No	医療機関名	件数
1	埼玉医科大学総合医療センター	4
2	トワーム小江戸病院	2

⑥ 新座市 3 件

No	医療機関名	件数
1	新座志木中央総合病院	2
2	堀ノ内病院	1

⑦ 越谷市 3 件

No	医療機関名	件数
1	獨協医科大学越谷病院	2
2	越谷市立病院	1

⑧ 草加市 3 件

No	医療機関名	件数
1	草加市立病院	3

⑨ 蕨市 2 件

No	医療機関名	件数
1	蕨市立病院	2

⑩ その他県内 4 件

No	医療機関名	件数
1	国立病院機構埼玉病院	1
2	埼玉石心会病院	1
3	東埼玉総合病院	1
4	深谷赤十字病院	1

⑪ 板橋区 16 件

No	医療機関名	件数
1	板橋中央総合病院	6
2	帝京大学医学部附属病院	5
3	高島平中央総合病院	2
4	豊島病院	2
5	常盤台外科病院	1

⑫ 新宿区 10件

No	医療機関名	件数
1	東京医科大学病院	4
2	社会保険中央総合病院	2
3	春山外科病院	2
4	慶応義塾大学病院	1
5	東京女子医科大学病院	1

⑬ 北区 8件

No	医療機関名	件数
1	明理会中央総合病院	4
2	東京北社会保険病院	3
3	神谷病院	1

⑭ 文京区 6件

No	医療機関名	件数
1	東京医科歯科大学医学部附属病院	4
2	東京大学医学部附属病院	1
3	順天堂大学医学部附属順天堂医院	1

⑮ 足立区 6件

No	医療機関名	件数
1	博慈会記念総合病院	4
2	苑田第一病院	1
3	あさひ病院	1

⑯ 港区 5件

No	医療機関名	件数
1	東京慈恵会医科大学附属病院	3
2	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	2

⑰ 千代田区 3件

No	医療機関名	件数
1	駿河台日本大学病院	2
2	東京都教職員互助会三楽病院	1

⑱ その他都内 13件

No	医療機関名	件数
1	聖路加国際病院	2
2	日本医科大学多摩永山病院	2
3	都立大塚病院	2
4	練馬光が丘病院	2
5	国立病院機構東京医療センター	1
6	東京女子医科大学東医療センター	1
7	東京都立広尾病院	1
8	平成立石病院	1
9	藤崎病院	1

診療支援部門－地域連携部門

⑱ その他全国 9件

No	医療機関名	件数
1	牛久愛和総合病院	2
2	亀田総合病院	1
3	社会保険横浜中央病院	1
4	川崎幸病院・川崎大動脈センター	1
5	井上病院	1
6	悠遊健康村病院	1
7	伊東市民病院	1
8	大阪府済生会中津病院	1

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

事務部門

事務部

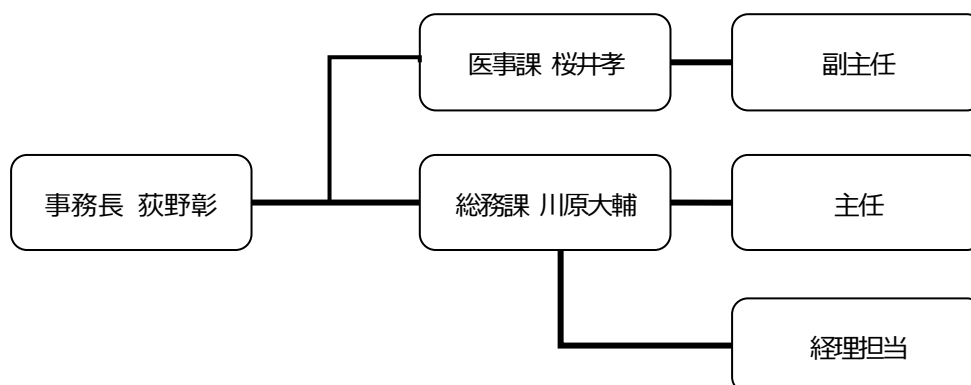
事務長 荻野彰

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

[事務長] 荻野彰

吉井政昭 25 年 7 月 21 日付 茂原中央病院へ異動

【組織図】



【動態】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

※（ ）内はパート、院内での職種変更も含

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
採用 転入 異動	事務長				1									1
	医事課	2			1									3
	総務課													
	経理担当													
合 計		2			2									4
退職 転出 異動	事務長				1									1
	医事課	1									1			2
	総務課													
	経理担当													
合 計		1			1						1			3

【事務部会議】

[関連施設経営管理会議]

目的 各院（施設）長より運営状況・課題等を報告し、情報と方向性の共有を図る

開催日 第2水曜日 8:30～

出席者 理事長、各施設（4施設）院長・施設長・所長・事務長他

[関連施設報告会]

目的 各院（施設）の運営状況・課題等を報告し、情報と方向性の共有を図る

開催日 第1・3水曜日 9:00～

出席者 理事長、各施設（7施設）、事務長他

事務部門

【会議・委員会】

病院の運営において、会議・各委員会が活発で意義あるものにするには、活性化に繋がります。そこでの事務部の役割をしっかりと明確にして責任を果たすべく努力しております。

[事務ミーティング]

目 的 各自が担当する会議・委員会からの報告や周知、各部署の状況や問題点について情報の共有を図る

開催日 第1木曜日及び第3月曜日 17:10～

出席者 事務長、事務部全職員

医事課

医事課係長 桜井孝

【人員構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- [係 長] 桜井孝
- [副主任] 金田綾乃（長期休暇中）
- [課 員] 坂本美智子、小関唯香、佐藤友葉、畠山望美
- [退職・異動]
- 佐藤友葉・・・7月21日付 戸田中央産院より
- 古賀彩子・・・1月21日付 戸田中央産院へ

【年次報告】

25 年度は業務の効率化や見直し等に重点を置いた年度でありました。中堅クラスの課員が長期休暇に入ること、医事課全体の経験値の低下を危惧しておりましたが、査定率・返戻率についても大きな増加にはなっておらず、医事課としてこの1年で大きな成長ができたと自負しています。また、2月受審（更新）の病院機能評価に向け、医事課業務マニュアルの見直し、改訂を行いました。これにより業務効率化がより図れたと考えます。さらに 26 年度の診療報酬改定に向けた情報収集や分析等を行い、回復期リハ入院料 1 の継続算定と体制強化加算を取得することができました。

26 年度はこの入院料 1 の継続算定の為の迅速な情報収集や分析・発信をしていき、いなくてはならない存在であり続けたいと思います。

【実績】

[取扱レセプト枚数]

保険別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
社 保	42	30	39	40	33	34	38
生 保	8	10	10	6	10	8	7
社 保 公 費 併 用	2	1	1	0	1	1	0
国 保	134	134	130	132	141	134	140
国 保 公 費 併 用	2	2	3	2	2	1	1
労 災 保 険	2	3	5	3	2	2	2
交 通 事 故	0	0	0	0	0	0	0
計	190	180	188	183	189	180	188

保険別	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
社 保	37	36	36	30	39	434	36.2
生 保	9	7	5	8	10	98	8.2
社 保 公 費 併 用	0	0	0	0	0	6	0.5
国 保	147	139	139	133	128	1,631	135.9
国 保 公 費 併 用	0	0	1	1	2	17	1.4
労 災 保 険	4	5	7	6	2	43	3.6
交 通 事 故	0	0	0	0	0	0	0.0
計	197	187	188	178	181	2,229	185.8

[公衛生相関係]

単位：件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護保険意見書	18	17	15	24	18	21	26
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	39
区分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護保険意見書	13	20	30	15	18	235	19.6
インフルエンザ予防接種	50	15	0	0	0	104	8.7

[レセプト査定率]

単位：金額

保険別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
社保	0	0	63	850	1,274	0	0
国保	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	63	850	1,274	0	0
査定率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
保険別	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社保	0	0	98	0	0	2,285	190
国保	0	0	1,064	0	0	1,064	89
計	0	0	1,162	0	0	3,349	279
査定率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	—

[レセプト返戻率]

単位：金額

保険別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
社保	0	808,634	0	0	1,252,059	700	0
国保	0	1,206,668	2,226,782	1,234,230	1,718,454	1,755,441	0
計	0	2,015,302	2,226,782	1,234,230	2,970,513	1,756,141	0
返戻率	0.00%	1.48%	1.45%	0.82%	1.93%	1.26%	0.00%
保険別	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社保	0	1,087,570	324,932	980,780	2,135,290	6,589,965	549,164
国保	1,185,350	0	305,367	3,361,838	1,154,013	14,148,143	1,179,012
計	1,185,350	1,087,570	630,299	4,342,618	3,289,303	20,738,108	1,728,176
返戻率	0.76%	0.76%	0.50%	2.98%	2.35%	1.18%	—

総務課

総務課係長 川原大輔

【人事構成】（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 〔係長〕 川原大輔
- 〔主任〕 太田朋美
- 〔課員〕 五十嵐法子（経理担当）、太田あゆみ、市川集

【年次報告】

25 年度は機能評価 3 回目の更新年であったことをきっかけに、職員全てが今一度向き合い病院としてのルールやマニュアル、以前より不足感のあったものや停滞していた様々な業務のより良いものへ進めていこうと、あらゆるもの見直しを行えた実りのある一年であった。

上記ソフト面の改善の次はハード面の改修に多くを費やすことが求められてきております。12 年目の施設は時代の要望に合わせ幾多の改修がなされてきましたが、構想中の計画を順次実施する年にきております。

引き続き、リハビリ病院としての情報発信、またリハビリ専門性のアピールなどをスタッフが円滑に行えるような環境づくりを目指してまいります。

【実績】

〔官公庁手続き等〕

①保健所

病院報告（患者票・従事者票）、麻薬施用者免許申請書（更新）、麻薬管理者年間届、特殊診療病床数に関する調査票、医療法第 25 条に基づく立ち入り検査事前提出書類、開設許可一部変更等

②関東信越厚生局

入院基本料及び施設基準に係る届出、入院基本料及び施設基準に係る届出（現状報告）、保険医療機関に関する登録（更新）、保険医及び保険薬剤師に係る登録等

③消防・警察

消防訓練実施計画報告書、消防訓練実施結果報告書、消防用設備等点検結果報告書、安全運転管理者に関する登録、訪問サービス提供に関する駐車許可申請等

④労働基準監督署

就業規則、定期健康診断結果報告書（夜勤従事者）、電離放射線健康診断結果報告書、時間外労働・休日労働に関する協定書等

⑤中央環境管理事務所

特別管理産業廃棄物処理実績報告書等

⑥埼玉県・戸田市役所

建築基準法第 12 条第 1 項の規定による定期検査結果報告、身体障害者福祉法に関する医師指定申請、介護保険法に関するサービス提供体制届出、生活保護指定申請、不在者投票に関する手続き等

〔各種保険手続き〕

①健康保険、厚生年金保険

被保険者資格取得及び喪失、被扶養者異動届、被保険者氏名変更届、高額療養費支給申請届、出産手当金請求書、傷病手当金請求書、育児休業等取得者申出書、育児休業等取得者終了届

②雇用保険

被保険者資格取得及び喪失、氏名変更届、雇用保険被保険者離職証明書、育児休業給付申請書、介護休業給付申請書、高年齢雇用継続給付申請書

【報告】

[月平均労働時間数]

平均労働時間数	職 種	25 年度	24 年度
	医師	161.25	161.25
	看護師・准看護師	164.81	164.33
	介護福祉士・看護助手	161.54	160.82
	病棟クラーク	164.38	164.42
	薬剤師	175.62	180.38
	管理栄養士	163.75	165.99
	医療福祉科	173.70	177.72
	リハビリテーション部	171.41	171.02
	事務部	177.94	176.92

[有給休暇消化率]

年間有給休暇消化率	職 種	25 年度	24 年度
	医師	48%	22%
	看護要員	57%	66%
	薬剤師	16%	31%
	管理栄養士	28%	26%
	医療福祉科	30%	29%
	リハビリテーション部	65%	72%
	診療放射線技師	0%	0%
	事務部	37%	20%

[水光熱費]

No	区 分	25 年度		24 年度		増減		
		使用量	金額	使用量	金額	使用量	金額	
1	電気	573,078	11,646,421	566,922	10,181,176	+6,156	+1,465,245	
2	水道	上水	21,071	8,177,561	21,304	8,274,442	▲233	▲96,881
		下水	21,071		21,304		▲233	
3	ガス	128,727	10,997,240	124,334	9,445,216	+4,393	+1,552,024	

【行事報告】

➤ 平成 25 年度 新入職員研修

- [日 時] 第 1 回 3 月 21 日 (木) ～ 3 月 22 日 (金)
 第 2 回 3 月 23 日 (土) ～ 3 月 24 日 (日)
 第 3 回 3 月 25 日 (月) ～ 3 月 26 日 (火)

[会 場] 国立女性教育会館

[出席者数] 16 名

職 種	男性	女性	計
看護師	0	2	2
介護福祉士	0	2	2
理学療法士	1	3	4
作業療法士	0	2	2
言語聴覚士	0	2	2
リハビリ助手	0	1	1
社会福祉士	0	1	1
事務	0	2	2
計	1	15	16

➤ 平成 25 年度 TMG 新入職員入職式

[日 時] 4 月 1 日 (月) 10 : 00～

[会 場] 戸田市文化会館

[出席者数] 19 名

職 種	男性	女性	計
看護師	0	2	2
介護福祉士	1	2	3
看護助手	0	1	1
理学療法士	1	3	4
作業療法士	0	2	2
言語聴覚士	1	2	3
リハビリ助手	0	1	1
社会福祉士	0	1	1
事務	0	2	2
計	3	16	19

➤ 第 51 回 TMG ソフトボール大会

[日 時] 4 月 14 日 (日) 8 : 00～

[会 場] 戸田市道満ソフトボール球場

[参加数] 86 名

[結 果] 3 位

1 回戦	○戸田リハ	12 - 2	●八王子山王病院
2 回戦	△戸田リハ	4 - 4	△新座志木中央総合病院
3 位決定戦	○戸田リハ	7 - 1	●佐々総合病院

➤ 平成 25 年度 昇格式

[日 時] 4月15日(月) 16:00～

[会 場] 戸田市文化会館

[昇格者] 5名

氏名	所属	新役職
松原昌子	看護部	主任
佐藤絵馬	看護部	主任
野口亜紀子	看護部	主任
加藤正美	看護部	主任
竹内章朗	リハビリテーション部	主任

➤ 第 51 回 TMG 学会

[日 時] 5月12日(日) 10:00～16:30

[会 場] 大宮ソニックシティ

[参加数] 82名

[学会長] 北総白井病院 院長 小木曾 実

[永年勤続] 20年 榊原薫(看護部)、金田綾乃(医事課)

10年 仲村奈美(看護部)、石田陽子(看護部)、橋本恵美子(看護部)、有路さつき(看護部)

中井浩美(看護部)

小峰隆弘(リハビリ部)、鈴木敦子(リハビリ部)

太田朋美(総務課)

➤ TMG 医局症例検討会

[日 時] 5月12日(日) 13:00～

[会 場] 大宮ソニックシティ

➤ TMG 定時総会

[日 時] 5月22日(水) 18:00～

[会 場] 京王プラザホテル

➤ 院内旅行

[日 時] 6月29日(土)・30日(日)

[旅 程] ①都内観光と東京湾ディナークルーズ

②那珂湊寿司食べ放題とメロン狩り

[参加数] 165名

➤ 消防訓練

[日 時] 7月25日(木) 13:10～

[参加人数] 62名(男性 16名、女性 46名)

[訓練内容] 消火訓練・通報訓練・避難訓練

➤ 慰霊祭(戸田中央総合病院合同)

[日 時] 8月6日(火) 13:00～14:00

[会 場] 戸田中央総合病院 C館屋上

➤ 納涼祭(戸田中央総合病院合同)

[日 時] 8月6日(火) 18:00～

[会 場] ふれあい広場

➤ 第34回 CMS 学会

[日 時] 9月29日(日) 10:00～17:00

[会 場] 東京国際フォーラム

[参加数] 66名

[学会長] 西東京中央総合病院 院長 種子田 齋

➤ 第51回 TMG 大運動会

[日 時] 10月20日(日) 8:30～

[会 場] 戸田市道満陸上競技場

[参加数] 96名

[成 績] Bブロック 優勝(7チーム中)

ブロック	施設名	障害物リレー	トンネル	大玉転がし	綱引き	玉入れ	担送リレー	絆走	最速王(女子)	最速王(男子)	最強リレー	合計点	順位
A	戸塚連合	70	70	80	—	—	—	—	10	10	—	240	2
	朝霞連合	100	100	70	—	—	—	—	10	10	—	290	1
	新座志木中央総合病院	60	50	100	—	—	—	—	10	10	—	230	3
	戸田中央総合病院	80	60	60	—	—	—	—	5	10	—	215	4
	西東京中央総合病院	50	80	50	—	—	—	—	10	10	—	200	5
B	牧野連合	80	100	60	—	—	—	—	10	5	—	255	2
	戸田中央リハビリテーション病院	100	70	100	—	—	—	—	5	5	—	280	1
	北総・船橋連合	70	80	80	—	—	—	—	10	5	—	245	3
	狭山神経内科病院	40	30	70	—	—	—	—	5	5	—	150	5
	茂原中央病院	60	40	30	—	—	—	—	5	5	—	140	6
	八王子山王病院	50	50	50	—	—	—	—	5	10	—	165	4
	本部連合	30	60	40	—	—	—	—	5	5	—	140	6
C	一橋病院	40	60	80	—	—	—	—	5	5	—	190	5
	新座病院	80	40	70	—	—	—	—	5	5	—	200	2
	熱海所記念病院	100	50	60	—	—	—	—	5	5	—	220	1
	世田谷神経内科病院	30	70	50	—	—	—	—	5	10	—	165	7
	戸田中央臨床検査研究所	60	30	100	—	—	—	—	5	5	—	200	2
	戸田中央産院	70	80	30	—	—	—	—	5	5	—	190	5
	グリーンビレッジ安行	50	100	40	—	—	—	—	5	5	—	200	2
D	小平中央リハビリテーション病院	40	80	50	—	—	—	—	10	5	—	185	6
	佐々総合病院	60	100	100	—	—	—	—	5	10	—	275	1
	松井病院	70	50	70	—	—	—	—	5	5	—	200	4
	田園調布中央病院	50	70	80	—	—	—	—	5	5	—	210	2
	奥沢病院	100	40	40	—	—	—	—	10	5	—	195	5
	東所沢病院	80	60	60	—	—	—	—	5	5	—	210	2

※雨のため中止競技あり

➤ 病院忘年会

[日 時] 12月4日(水) 19:00～

[会 場] ホテルブリランテ武蔵野

[参加人数] 182名

事務部門－総務課

➤ 新年参拝

[日 時] 1月4日(土) 7:00～
 [会 場] 和樂備神社
 [参加者] 佐藤院長、荻野事務長、黒井看護部長

➤ CMS 新春観劇会

[日 時] 1月4日(土) 16:00～
 [会 場] 明治座
 [内 容] 「コンダーさんの恋～鹿鳴館騒動記～」

➤ TMG 医局症例検討会

[日 時] 1月18日(土) 15:30～
 [会 場] 京王プラザホテル

➤ TMG 新年医局交礼会

[日 時] 1月18日(土) 18:20～
 [会 場] 京王プラザホテル

➤ CMS 事務認定試験

[日 時] 2月15日(土) 15:00～
 [会 場] 戸田中央看護専門学校・戸田中央総合病院第2会議室・戸田市商工会館
 [結 果]

事務初級		医事中級		総務中級		合計	
受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格
2	2	4	1	2	0	8	3
100%		25%		0%		37.5%	

➤ 消防訓練

[日 時] 3月27日(木) 13:10～14:00
 [参加人数] 36名(男性 10名、女性 26名)
 [訓練内容] 消火訓練・通報訓練・避難訓練

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

会議・委員会報告

定例会議

【会議構成】

No	名称	開催日	構成員
1	管理会議	毎週月曜日 14:00～	院長、事務長、看護部長
2	医局合同会議	第3月曜日 12:00～	院長、事務長、看護部長、医局員、各科（課）所属長
3	所属長連絡会議	第1月曜日 12:00～	院長、事務長、看護部長、各科（課）所属長
4	入院判定会議	毎週月・木曜日 12:00～	院長、看護部長、各病棟看護師、医療福祉科員 リハビリ科員

【管理会議】

- [目的] 病院の運営管理に関する院長の諮問機関として管理会議をおく
- [諮問内容] ア. 組織、委員会からの事項を決裁する予算、重要な事業計画等の管理運営の基幹に関する事項、病院の将来構想に関する事項等について調査・審議・決定する
 イ. 人事に関すること及び諸費用として総額 10 万円以上を要するものについては、稟議書をもって管理会議にて決裁する
 ウ. 管理会議は（ア）の達成に向けて指導力を発揮する
 エ. 各会議・委員会からの上申事項等を決裁する
- [報告] 議事録に記載

【医局合同会議】

- [目的] 診療業務を円滑に運営するため医局合同会議をおく
- [内容] ア. 管理会議等での決定事項を各診療科・各部署に周知する
 イ. 各診療科・委員会からの意見の検討。病院の診療統計資料に基づき評価改善を行う
- [報告] 議事録に記載

【所属長連絡会議】

- [目的] 病院業務を円滑に運営するため所属長連絡会議をおく
- [内容] ア. 病院業務を円滑に運営するため各科（課）所属長間の検討・調整を行う
 イ. 医療界の最新情報や医療問題についてディスカッションを行い、病院運営に役立てる
 ウ. 管理会議等の決定事項を周知する
 エ. 職員からの意見を基に話し合い、意見・要望事項を管理会議に提出する
 オ. 各診療科・委員会からの意見の検討。病院の診療統計資料に基づき評価改善を行う
- [報告] 議事録に記載

【入院判定会議】

[目的] 入院の可否を決定する

[構成] 院長、看護部長、各病棟看護師、リハビリテーション科、薬剤科、ソーシャルワーカー

[開催日時] 週2回（月・木）12：00～

[開催場所] 医療福祉相談室

[報告]

ア. 会議結果

月	回数	入院予約		入院不可	
		(回復期)	(療養)	(回復期)	(療養)
4月	8	5	0	19	0
5月	8	10	0	15	1
6月	8	7	0	15	0
7月	7	19	0	10	0
8月	8	17	0	13	0
9月	7	6	0	16	0
10月	7	7	0	12	1
11月	7	2	0	12	0
12月	7	9	0	10	0
1月	6	8	0	10	0
2月	6	11	0	11	0
3月	9	5	0	15	0
合計	回	106件	0件	158件	1件

イ. 入院不可理由

No	理由	件数	比率
1	回復期病棟でのリハビリ適応に乏しいため	45	28.3%
2	病状管理不可	36	22.7%
3	認知症がありリハビリ継続・対応が難しいため	19	11.9%
4	自立度が高いため入院の適応に乏しいため	17	10.7%
5	高次脳機能障害が著名で、対応が難しいため	11	6.9%
6	リハビリゴールと思われるため	9	5.7%
7	四肢麻痺でADL全介助、リハビリ適応に乏しいため	6	3.8%
8	回復期病棟非該当	4	2.5%
9	高次脳機能障害のみで外来レベル	4	2.5%
10	廃用症候群のため	4	2.5%
11	精神科のフォローができない	2	1.3%
12	地域性がない	1	0.6%
13	社会背景的問題	1	0.6%
合計		159件	100%

委員会

【委員会構成】

No	委員会名称	開催日	回数
1	環境整備委員会	第2月曜日 16:00~	12
2	広報委員会	第4月曜日 16:20~	12
3	医療情報システム管理委員会	第3木曜日 14:00~	6
4	放射線安全管理委員会	適宜	1
5	教育委員会	第3火曜日 12:30~	12
6	倫理委員会	第1木曜日 11:00~	5
7	地域リハビリテーション研究会運営委員会	適宜	7
8	NST・摂食・嚥下推進委員会	第2金曜日 14:00~	12
9	感染症対策委員会	第2水曜日 14:00~	12
10	褥瘡対策委員会	第4月曜日 15:30~	12
11	医療安全管理委員会	第4木曜日 14:00~	12
12	医療ガス安全管理委員会	適宜	3
13	栄養管理委員会	隔月第4木曜日 15:30~	6
14	防災対策委員会	第4火曜日 12:00~	6
15	薬事委員会	3ヵ月ごと	4
16	安全衛生委員会	第3月曜日 12:30~	12

(1) 環境整備委員会

リハビリ科副主任 恩田朋子

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 恩田朋子副主任 (リハ)

〔副委員長〕 黒井有子看護部長

〔委員〕 本下早苗 (看護)、島佐智子 (看護)、西本真那美 (看護)、首藤和美 (医療福祉)
市川集 (総務)、柳川進一 (ダスキン)、安田なみよ (ダスキン)

【目的】

1. 患者さんの立場に立ち、より良い入院環境を目指す。
2. 患者さんが満足し、安心して医療・看護を受けられるよう接遇教育を実施する。
3. 病院環境の整備・美化につとめ、快適な療養環境を整え、患者サービス向上に努める。

【開催日】

毎月第 2 月曜日 16:00～

【報告】

ア. 職員の接遇教育: 3 ヶ月に 1 回、接遇に関する院内統一のテーマを決めて各部署で実施

平成 25 年 4 月～6 月

あいさつ・言葉遣い月間「あいさつは 心と心の 良い絆」

平成 25 年 7 月～9 月

電話対応月間「電話では 見えない相手に 思いやり」

平成 25 年 10 月～平成 25 年 12 月

身だしなみ月間「意識しよう 内面見られる 身だしなみ」

平成 26 年 1 月～平成 26 年 3 月

片付け月間「片付けも 事故予防の 第一歩」

イ. 屋上でのガーデニングの実施

平成 25 年 5 月 25 日 ひまわり・ミニトマトの植え付け実施。

平成 25 年 5 月 30 日 バーベナの植え付け、希望する患者様 15 名参加。

平成 25 年 6 月 4 日 ハンギングバスケットの植え付け実施。また、小松菜の収穫を予定していたが、枯れてしまったため中止。

平成 25 年 10 月 15 日 ハンギングバスケット植え付け

平成 25 年 11 月 25 日 花壇植え付け

平成 26 年 2 月 26 日、27 日 花壇整備実施

平成 26 年 3 月 26 日 花壇植え付け実施

ウ. 病院敷地内の草刈り

平成 25 年 6 月 15 日、平成 25 年 9 月 28 日、平成 26 年 3 月 15 日

エ. 患者満足度アンケートの実施

平成 25 年 8 月 19 日～9 月 30 日に各病棟にて実施。

オ. 職員満足度アンケートの実施

平成 25 年 10 月 15 日～28 日実施。

カ. ラウンドの実施

毎月委員会開催時に院内のラウンドを実施。

(2) 広報委員会

医事課係長 桜井孝

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 荻野彰事務長

〔委員〕 黒井有子看護部長、兼本佐和子認定看護師、古川珠美（医療福祉）、鈴木真理副主任（リハ）

〔事務局〕 桜井孝係長（医事）

【目的】

「病院と地域社会双方向のコミュニケーション」を円滑にするために、病院事業を「広く報じる」ことを実施し、患者さん・地域社会と良好な関係を保ち、「多くの戸田中央リハビリテーション病院のファン」を作ることを目的とする。

【審議事項】

- ア. 病院広報に関する事項
- イ. 病院ホームページに関する事項
- ウ. その他広報全般に関する事項
- エ. 年度重点項目
 - 年 3 回の定期的な病院広報誌の発行と及び充実
 - ホームページの内容充実と定期的な更新

【報告】

議事録による

【活動報告】

- ア. 広報誌『smile』の発刊

発行号	発刊月	発刊部数	TOPICS
第 30 号	25 年 4 月	院内報 150	<ul style="list-style-type: none"> ◇院長だより ◇栄養科だより「春の行事食」 ◇看護部通信「看護師紹介」 ◇リハビリテーション科より「腰痛体操パート 1」 ◇医療福祉相談室より「介護保険について」 ◇25 年度新入職員紹介
第 31 号	25 年 7 月	院内報 150	<ul style="list-style-type: none"> ◇院長だより ◇職員旅行に行ってきました！ ◇看護部通信「看護まつり」 ◇リハビリテーション科より「腰痛体操パート 2」 ◇薬剤科より「お菓のちょっと怖い話」 ◇医療福祉相談室より「ケアマネジャーについて」
第 32 号	26 年 1 月	院外報 230	<ul style="list-style-type: none"> ◇院長だより ◇第 51 回 TMG 大運動会 B ブロック優勝！ ◇戸田市こどもの国・戸田中央総合病院イルミネーション ◇看護部通信 I 「介護教室」 ◇看護部通信 II 「認定看護師紹介」 ◇リハビリテーション科より 「車椅子・クッションレンタル制度の取り組み」 ◇医療福祉相談室より「紹介患者実績報告」

院長だよりの紹介

➤ 第 30 号

“コミュニケーションの極意”

4月に入り当院でもたくさんの新入職員を迎えました。この繰り返しも12回目となります。当初の新人は今やリーダーとして活躍しています。いつの時代もジェネレーションギャップは問題で、つい先日までの新人が「最近の若者は・・・!？」と発言するのを耳にすることもあり、いつの時代も同じなのだと思いつつコミュニケーションの大切さを感じます。コミュニケーションというと主に「言語」を思い浮かべます。日常の事務的な連絡や会話は言語によって行われています。しかし言葉によるコミュニケーション（Verbal Communication）は、実は全体の7%としかなく、声のトーンや口調による伝達が38%、ボディランゲージは55%とのことです。相手の嘘がわかるのもそういった事によるでしょう。ということは、良好なコミュニケーションの極意は、相手に好意を寄せること・・・
「愛せよされば愛されん」です。

➤ 第 31 号

「改善」とは我々が良く使う紛れも無い日本語です。その意味合いは言うまでもありません。しかしこの「改善：かいぜん」という単語が「kaizen」という英語となって、世界中で使われているのをご存知ですか？ このように英語になった日本語というのはたくさんあります。古くはkuge公家、harakiri腹切りやtempura天麩羅、最近ではannimeアニメ、otakuオタクなど数え切れません。

Kaizenは世界の自動車企業トヨタにおける質向上のための組織文化で、「もっと良い方法はないか？」と常に模索し続ける態度であります。「改善」に相当する英語にはimprovementという単語があり、『改良する』とか『上達させる』とか『向上させる』とかいう意味で最も近い言葉であるのですが、どうしても『お金をかけて』というニュアンスが入ってしまうらしいです。しかし、トヨタの意図するkaizenには『お金をかけずに、知恵を絞って』というニュアンスが含まれるため、あえて訳さずに「kaizen」として使用したのが始まりのようです。

当院も「kaizen」に努めていきたいと思えます。

➤ 第 32 号

戸田中央リハビリテーション病院は開設からまだ日の浅い平成16年の春に、病院機能評価機構による第三者評価を受け、見事一発で合格しました。当時は3割程度の病院しか認められなかった快挙でした。一流の病院の組織文化を早いうちに根付かせるため、当時としては相当無理をして成し得た事でした。5年の認定期間後、再受審し合格。まもなく2回目の再受審となりました。受審回数を重ねるたび、当時は無理難題と思われた機構側の要求も、今では病院の常識となっております。確実に良い病院の組織文化が根付いているものと自負します。

(3) 医療情報システム管理委員会

認定看護師 兼本佐和子

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

[委員長] 西野誠一部長 (医師)

[副委員長] 黒井有子看護部長

[委員] 古賀雅恵係長 (薬剤)、日坂典子課長 (看護)、佐藤絵馬主任 (看護)、今川寛海係長 (看護)
山中寛子係長 (医療福祉)、小峰隆弘主任 (リハ)、桜井孝係長 (医事)

[事務局] 兼本佐和子認定看護師

【目的】

診療情報が適切に提供できるよう基準・手順の整備、記録の標準化、医療支援システム (電子カルテ) の運用、クリニカルパスの適正化、地域連携パス大腿骨の活用

【審議事項】

- ア. 院内脳卒中パス・大腿骨頸部骨折パスについて
- イ. 地域連携パス(各種)について
- ウ. 電子カルテ導入後問題検討
- エ. 院内記録物・帳票類の標準化
- オ. 機能評価について
- カ. 委員会議事内容

開催月	議事内容	参加数
4	機能評価受審プロジェクト、平成 25 年度方針 (脳卒中地域連携パス、大腿骨骨折地域連携パス、院内脳卒中パスなど)、電子カルテについて	18
5	脳卒中院内パスについて、電子カルテ運用について	17
6	記録監査について、大腿骨地域連携パスについて、院内脳卒中パスについて、電子カルテ運用について	12
7	大腿骨地域連携パスについて、記録監査について、院内脳卒中パス・大腿骨パスについて、院内共通専門用語集について、電子カルテ運用について	11
8	身体抑制の同意書について、記録監査について、院内パスについて、院内専門用語集について、電子カルテ運用について	9
9	電子カルテ運用について、院内脳卒中パスについて、記録監査について、院内専門用語集について	12
10	院内パスについて、記録監査について、院内専門用語集について、MSW のシートについて、電子カルテについて、栄養食事オーダー画面の変更について	11
11	記録監査について、院内パスについて、院内専門用語集について、MWS のシートについて、定例開催日について、紙ベースのオーダーについて、電子カルテについて	11
12	院内パスについて、カルテ綴りについて、電子カルテについて、委員会名称について	9
1	院内パスについて、情報管理に関することについて、電子カルテについて、	11
3	院内パスについて、機能評価を終了して今後の課題について、委員会名称について、電子カルテについて、シーティングチーム同意書について	13

【報告】

毎月第 4 金曜日 1 回開催

(4) 放射線安全管理委員会

医事課 桜井孝

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

- 〔委員長〕 佐藤信也院長
- 〔委員〕 黒井有子看護部長、三井裕子(放射線科)、荻野彰事務長
- 〔オブザーバー〕 江川公伸科長(戸田中央総合病院放射線科)
- 〔事務局〕 桜井孝係長(医事)

【目的】

放射線障害予防規定の適正で効率的運用を図るために予防規定第 10 条に定める放射線安全委員会を定める

【審議事項】

- ア. 放射線障害の発生の防止に係ること
- イ. 放射線障害の防止のための管理区域に係ること
- ウ. 放射線発生装置の維持・管理に係ること
- エ. 放射線発生装置の使用に係ること
- オ. 測定に係ること
 - 使用施設、管理区域境界及び病院境界の漏洩線量の測定
 - 個人被ばく線量の測定
- カ. 放射線障害の発生を防止するために必要な教育に係ること
- キ. 訓練業務従事者に対しての健康診断に係ること
- ク. 使用、保管、自主点検並びに教育及び訓練にかかる記録に係ること
- ケ. 放射線発生装置に危険時(地震、火災等の災害)が起こったことに係る

【報告】

議事録による

(5) 教育委員会

看護部長 黒井有子

【人員構成】(平成26年3月31日現在)

[委員長] 黒井有子看護部長

[委員] 土屋喜隆係長(リハ)、山中寛子係長(医療福祉)、太田朋美主任(総務)
阿部正子(看護・臨床指導者)、本橋亜紀子副主任(看護)、加藤正美主任(看護)**【目的】**

職員の質の向上を図るため、知識、技術、接遇に関する教育の企画・運営と教育環境の整備を行う。

【会議報告】

各科の研修状況(院内、院外)報告、希望図書の見直し

回数	開催日	議題他
1	4/16	・新入職オリエンテーション研修報告、今年度の研修計画について
2	5/21	・研修報告 ・新入職者フォローアップ研修について ・職場のメンタルヘルス研修企画
3	6/18	・倫理研修企画 ・新入植者フォローアップ研修報告
4	7/16	・医ガスの安全講習会・チームアプローチ導入研修企画 8月委員会の件
5	8/20	・急変時の対応・医療機器安全講習会 ・全職種接遇研修計画
6	9/20	・急変時の対応研修報告 ・2年目フォローアップ研修企画
7	10/18	・摂食・嚥下について・医療機器安全講習会について
8	11/19	・看取りについての研修企画 ・外出・外泊プロジェクト研修企画
9	12/17	・看取り研修評価報告・医療機能評価について企画・感染、MRM 研修
10	1/21	・医療安全・感染研修について ・外出・外泊プロジェクトについて
11	2/18	・今年度教育計画評価と次年度教育計画 ・接遇・個人情報保護についての研修企画
12	3/18	・診療報酬改定勉強会について・チームアプローチ研修報告 ・新入職者オリエンテーション研修について

【活動内容】**【新入職員オリエンテーション】**

日時：4月2日～3日、25日

参加者：27名

内容：就業規則、医療安全・感染症予防対策、チームアプローチについて

身体拘束ゼロに向けた取り組みについて、職業倫理、個人情報保護、接遇、電子カルテ操作指導

【院内研修の実施】

開催日	研修内容	講師等
5/17	摂食・嚥下リハビリテーション研修	
6/12	新入職者フォローアップ研修	
6/28	職場のメンタルヘルス	
7/4	医ガス安全講習会	
8/2	チームアプローチ導入研修	
8/22、9/19	感染・医療安全研修	
10/31	2年目フォローアップ研修	
9/27	チームアプローチ研修 4階病棟	
11/7	医療機器安全講習会	
11/21	看取りについて	

会議・委員会－教育委員会

開催日	研修内容	講師等
11/29	チームアプローチ研修 2階病棟	
12/20	外出・外泊プロジェクト事例 報告会	
1/16	感染・医療安全研修	
1/24	チームアプローチ研修 3階病棟	
1/31	接遇・個人情報保護研修	TMG 本部 箕輪由紀子 医事課係長 桜井孝
3/27	診療報酬改定勉強会	医事課係長 桜井孝

(6) 倫理委員会

リハビリ科主任 小峰隆弘

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

[委員長] 小峰隆弘主任 (リハ)

[副委員長] 黒井有子看護部長、今川寛海係長 (看護・医療安全委員長)

[委員] 西野誠一部長 (医師)、荻野彰事務長、日坂典子課長 (看護)、橋本祐子係長 (看護)
山中寛子係長 (医療福祉)、古賀雅恵係長 (薬剤)、桜井孝係長 (医事)

[外部有識者] 八木橋春儀 (民生委員・上前町会長)、三宅坂総合法律事務所 顧問弁護士

[書記] 川原大輔係長 (総務)

【目的】

病院に属する医師及びコメディカルスタッフが行う、人間を直接対象とした医療行為及び医学の研究において、ヘルシンキ宣言 (1975 年東京総会・1983 年ベニス総会での修正を含む) の趣旨に沿って審議し、倫理的配慮を図る事を目的とする。

【審議事項】

ア. 医療倫理 (臨床現場における倫理)

医療倫理 (臨床現場における倫理)

特定の臨床上の事例において生ずる問題

患者のケアの事例において生ずる問題

医療従事者患者関係 (説明義務、守秘義務、善感注意義務など)

最先端医療 (研究的側面、不足の危険性を伴う)

イ. 医学研究倫理

戸田中央リハビリテーション病院で行われる研究等に関し、研究者から申請された実施計画及びその成果の出版公表予定の内容

【報告】

毎月第 1 木曜日開催

(7) 地域リハビリテーション研究会運営委員会

総務課係長 川原大輔

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕佐藤信也院長

〔副委員長〕荻野彰事務長

〔委員〕一木友徳主任(リハ)、鈴木真理副主任(リハ)、吉田弘太(リハ)

〔オブザーバー〕野宮一志(TMG本部リハビリ部)、稲垣達也(戸田中央総合病院リハビリ科)

〔事務局〕川原大輔係長(総務課)

【目的】

地域リハビリテーション研究会の企画から運営を行う。

【報告内容】

〔地域リハビリテーション研究会〕

回数	開催日	演題	講師	外部参加
16	4/25	特別講演 シーティングの基礎から対応まで	とだ小林医院院長 小林洋一 小峰隆弘 (PT)	19 施設 53 名
17	8/26	ボトックスの痙性麻痺への効果と臨床応用 クッションの機能と選び方について	帝京大学医学部リハビリテ ーション科教授 栢森良二 小峰隆弘 (PT)	23 施設 51 名
18	11/27	特別講演 「車椅子の機能と選び方の実践 ～症例検 討とグループワークを通じて～」	とだ小林医院院長 小林洋一 小峰隆弘 (PT)	14 施設 38 名

【開催報告】

開催	議事内容	参加数
4/18	第 16 回リハビリ研究会 参加者確認、会場レイアウト・式次第・進行の確認、 当日役割確認	5
5/17	第 16 回リハビリ研究会 運営上の反省、アンケート集計結果報告、次回テーマ 検討	5
6/13	第 17 回リハビリ研究会 会場レイアウト・式次第・進行の確認、当日役割確認	5
8/8	第 17 回リハビリ研究会 参加者確認、会場レイアウト・式次第・進行の確認、 当日役割確認	4
9/12	第 17 回リハビリ研究会 運営上の反省、アンケート集計結果報告、次回テーマ 検討	4
11/13	第 18 回リハビリ研究会 参加者確認、会場レイアウト・式次第・進行の確認、 当日役割確認	5
12/11	第 18 回リハビリ研究会 運営上の反省、アンケート集計結果報告、次回テーマ 検討	5

(8) NST・摂食・嚥下推進委員会

認定看護師 兼本佐和子

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕西野誠一郎長(医師)

〔副委員長〕黒井有子看護部長

〔委員〕藤本美穂係長(栄養)、伊藤恵(栄養)、重田愛子(看護)、大野寛子(看護)
渡辺美智子(看護)、一戸安希子(リハ)、小峰隆弘主任(リハ)、梁川統史(リハ)
桜井孝係長(医事)

〔事務局〕兼本佐和子認定看護師

【目的】

1. 嚥下障害患者の機能及び QOL の向上のため、また安全かつ適切な食事提供のため、多職種でのチームアプローチを効果的に推進する。
2. 患者の栄養状態を把握し、早期に適切な改善が図れるよう多職種でのチームアプローチを実施する。

【報告】

隔月第 3 金曜日 1 回開催

【役割】

1. NST・摂食・嚥下障害に関するアプローチの標準化
2. NST・摂食・嚥下カンファレンスの実施、他職種によるチーム医療の徹底
3. 院内及び院外の関連部署との連携に関すること
4. 職員の教育に関すること
5. 研究の推進

【開催報告】

開催月	議事内容	参加数
4	NST の合併について、低栄養スクリーニングについて、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、外来 VF 検査について、VE 検査同意書について	13
5	NST・摂食・嚥下ラウンドについて、摂食機能療法について、栄養補助食品変更について	9
6	院内研修会について、嚥下リハ学会演題について、摂食機能療法について、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、水分のトロミについて	12
7	NST・摂食・嚥下ラウンドについて、水分のトロミについて、摂食機能療法について NST 栄養アセスメント身体計測について	12
8	NST・摂食・嚥下ラウンドについて、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について	12
9	NST・摂食・嚥下ラウンドについて院内研修会について、摂食機能療法について、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について、低栄養患者のカンファレンスについて	11
10	VF 検査用ゼリーについて、院内研修会について、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、摂食機能療法について、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について、低栄養患者のカンファレンスについて	13
11	NST・入院時スクリーニング項目について、食堂の椅子不足について、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、摂食機能療法について、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について	12
12	食堂の椅子購入について、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、摂食機能療法について、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について	12
1	VF 検査機器設置について、摂食機能療法について、栄養アセスメント・身体計測・CONUT 値について、回復期リハ協会研究大会演題発表について	13
2	NST・摂食・嚥下ラウンドについて、栄養アセスメントシートについて、摂食機能療法について	11

会議・委員会－NST・摂食・嚥下推進委員会

開催月	議事内容	参加数
3	VF 検査について、NST・摂食・嚥下ラウンドについて、摂食機能療法について、NST 稼働施設登録について	13

(9) 感染症対策委員会

看護師主任 松原昌子

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕佐藤信也院長

〔副委員長〕露口郁子医師

〔委員〕黒井有子看護部長、荻野彰事務長、鈴木淑江(看護)、佐藤瑠夏(看護)、古賀雅恵係長(薬剤)
鈴木敦子主任(リハ)、恩田朋子副主任(リハ)、藤本美穂係長(栄養)、桜井孝係長(医事)
首藤和美(医療福祉)

〔事務局〕松原昌子主任(看護)

【目的】

委員会は感染予防に関する事項について調査審議すると共に感染対策を推進する事を目的とする

【委員会開催】

月日	議事内容	出席数
4月	・抗菌薬使用状況 ・HB ワクチン ・他ワクチン	12
5月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・HB ワクチン ・勉強会 ・栄養科より	11
6月	・抗菌薬使用状況 ・HB ワクチン ・勉強会 ・ラウンド実施結果報告 ・手ピカジェル	12
7月	・抗菌薬使用状況 ・7月勉強会について ・手ピカジェル ・勉強会 ・包交車カバー ・食中毒	10
9月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・勉強会 ・機能評価 ・枕カバー消毒	9
10月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・勉強会補習ビデオ ・インフルエンザワクチン実施予定内容 ・HB ワクチン ・医療監査	10
11月	・抗菌薬使用状況 ・インフルエンザワクチンについて ・勉強会 ・HB ワクチン	10
12月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・勉強会 ・インフルエンザワクチン ・HB ワクチン ・ノロウイルス ・ラウンド結果	10
1月	・感染状況報告 ・抗菌薬使用状況 ・勉強会 ・ノロウイルスキット ・HB 検査 ・RH 科より ・事業ごみ ・ヘアブラシの消毒 ・手指消毒剤使用量	11
2月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・ノロウイルス対策 ・ディスポ手袋 ・インフルエンザ対策 ・事業ごみ ・感染症検査 ・機能評価より	12
3月	・抗菌薬使用状況 ・感染状況報告 ・勉強会補習 ・面会者マスク着用 ・来年度のラウンド	10

【院内感染の発生状況についての記録・分析】

[MRSA 検出状況]

月	2 階病棟	3 階病棟	4 階病棟	計
4 月	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0
6 月	2	1	0	3
7 月	0	0	0	0
8 月	0	2	0	2
9 月	0	0	1	1
10 月	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0
2 月	0	1	0	0
3 月	0	0	0	0
計	2	4	1	7

[緑膿菌検出状況]

月	2 階病棟	3 階病棟	4 階病棟	計
4 月	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0
6 月	0	0	0	0
7 月	1	0	0	1
8 月	1	2	4	7
9 月	0	2	0	2
10 月	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0
1 月	1	0	0	1
2 月	1	0	0	1
3 月	1	1	1	3
計	5	5	5	15

[インフルエンザ検出状況]

インフルエンザ A 陽性 0 名
 インフルエンザ B 陽性 1 名
 スタッフインフルエンザ罹患 7 名

[職員インフルエンザ予防接種]

接種日 11 月 11 日・14 日・19 日日 13:00～会議室
 対象者 全職員（リハクリ・委託業者も含む）

[針刺し事故状況]（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

針刺し事故者 0 名

【院内感染教育に関する事項】

No	月日	内 容
1	4/2	新人研修 スタンダードプリコーション ・防護用具の使用法 ・手洗い・消毒薬
2	8/22・9/19	手洗い
3	1/16・2/7	ノロウイルス対策（ケンエー製薬会社）

【院内感染の調査及び対策有効性の評価】

【院内ラウンドの実施】（年3回）

〔実施日〕平成25年6月、9月、平成26年1月

〔調査部署〕各病棟・リハビリ室・栄養科（厨房）

〔評価〕ゴミの分別不十分、尿器の消毒不適切、ゴミがあふれている

(10) 褥瘡対策委員会

看護師 石田陽子

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 露口都子医師

〔副委員長〕 石田陽子(看護)

〔委員〕 並木祐樹医師、黒井有子看護部長、日野貴子(看護)、鴨志田恵美子(看護)
楊箸有理(薬剤)、藤本美穂係長(栄養)、深田美佳(栄養)、竹内章朗主任(リハ)
森智美副主任(リハ)

〔事務局〕 石田陽子(看護)

【目的】

- ア. 褥瘡発生の予防と対策について組織的に取り組む
- イ. 全職員が褥瘡に関しての認識を深められるよう教育環境を整える
- ウ. 褥瘡発生の予防と対策について組織的な取り組みを行う為の推進役になる

【運営】

毎月第 4 月曜日 15:30

【活動内容】(職員教育も含む)

- ア. 褥瘡ラウンド・カンファレンスの定例実施
- イ. 体圧分散用具の使用状況
- ウ. シーティングによる車椅子レンタルの活用法

【開催報告】

開催日	議 事 内 容	参加数
4/22	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討 NST 活動の反省と課題、今年度の方針	11
5/27	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討 車椅子レンタルについての承諾書作成	9
6/24	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討 車椅子用クッションについての承諾書作成	9
7/22	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討 体圧分散用具について検討	8
8/26	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討 車椅子レンタル・オーダーシート記入法	8
9/30	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 体圧分散用具について検討	10
10/28	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 新人職員対象による褥瘡委員会からの院内勉強会	8
11/25	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 体圧分散用具について検討	9
12/16	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 体圧分散用具について検討	8
1/27	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 体圧分散用具について検討	10
2/24	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 体圧分散用具について検討	10
3/25	褥瘡ラウンド・結果報告、NST ケース検討、体圧分散用具の使用状況 今年度の反省と来年度の目標	11

(11) 医療安全管理委員会

看護係長 今川寛海

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 幡谷史子医師

〔副委員長〕 今川寛海係長 (看護)

〔委員〕 荻野彰事務長、黒井有子看護部長、松原昌子主任 (看護)、清水睦子副主任 (看護)
古賀雅恵係長 (薬剤)、中川崇之主任 (リハ)、深田美佳 (栄養)、小川留美子 (MSW)
坂本美智子 (医事)

【目的】

患者と職員の安全と安心の確保を通じ組織に与える損失を最小に抑える

【活動内容】

- ア. インシデント・アクシデントの集計・分析・検討
- イ. 院内全体研修実施 2回/年 (7月及び1月)
- ウ. レポート分析実施
- エ. 医療安全管理マニュアル改訂
- オ. KYT 評価・修正、フォローアップ研修
- カ. 内服指導方法見直し
- キ. 院内ラウンド実施
- ク. 不審者・盗難への対応掲示物作成、貼付
- ケ. リストバンド使用基準改定
- コ. リスクカンファレンス運用基準改訂

【開催報告】

開催月	議 事 内 容	出席数
4/25	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 3 月のインシデント・アクシデント報告・検討 ・平成 25 年度活動指標について ・骨折ケース増加に伴う対応について 	11
5/23	<ul style="list-style-type: none"> ・4 月インシデント・アクシデント報告・検討 ・平成 25 年度インシデント・アクシデント総件数報告 ・IC 時ビデオ撮影について検討 ・入院患者ご家族、面会后障害未遂事件について報告 ・薬剤科より報告 	11
6/27	<ul style="list-style-type: none"> ・5 月インシデント・アクシデント報告と検討 ・院内ラウンド実施結果報告 ・リハビリ中転倒、レベル 4 アクシデント発生について報告 	11
7/25	<ul style="list-style-type: none"> ・6 月インシデント・アクシデント報告・検討 ・公衆電話から警察通報してしまうケースについて検討 ・8 月医療安全・感染合同研修内容について検討 	11
8/22	<ul style="list-style-type: none"> ・7 月インシデント・アクシデント報告・検討 ・リハビリ中のアクシデント増加について ・医療安全的視点からの、入院誓約書の今後について検討 ・薬局の金庫の鍵の管理について 	10
9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・8 月インシデント・アクシデント報告・検討 ・院内ラウンド実施、結果報告 ・医療安全・感染研修結果報告 	11
10/17	<ul style="list-style-type: none"> ・9 月インシデント・アクシデント報告・検討 ・感冒薬持参し内服してしまうケースについて ・浴槽排水口での切創アクシデントについての対応 ・入院時持参薬アクシデントについて報告 	11

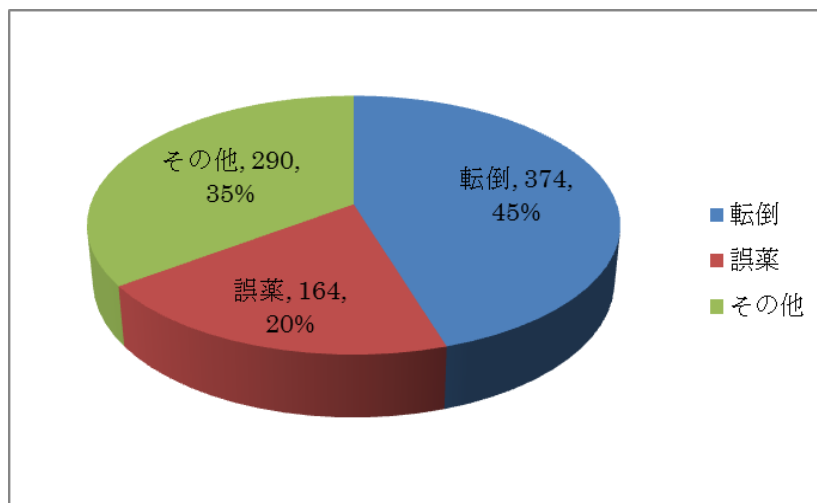
開催月	議事内容	出席数
11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・10月インシデント・アクシデント報告・検討 ・患者家族盗難被害について報告 ・日本医療機能評価機構より、誤った処方の不十分な確認について報告 ・1月医療安全・感染合同研修内容について検討 	9
12/26	<ul style="list-style-type: none"> ・11月インシデント・アクシデント報告・検討 ・盗難・離院で警察介入ケースについての対応について検討 ・院内ラウンド実施、結果報告 ・他院でミトン使用者、指壊疽したケースについて報告 ・リストバンド使用基準について改訂 	11
1/23	<ul style="list-style-type: none"> ・12月インシデント・アクシデント報告・検討 ・日中杖歩行自立レベル患者、夜間転倒骨折レベル4について報告 ・1月医療安全・感染合同研修について報告 ・院内セキュリティーに関する掲示物強化実施開始 ・新基準でのリストバンド使用開始に伴う、報告・検討について ・リスクカンファレンス今後について検討 	11
2/27	<ul style="list-style-type: none"> ・1月インシデント・アクシデント報告・検討 ・病院機能評価、結果について報告 ・リスクカンファレンスについてリハビリ科より報告あり、その内容も考慮し今後についての具体的内容確認 	9
3/30	<ul style="list-style-type: none"> ・2月インシデント・アクシデント報告・検討 ・院内ラウンド実施、結果報告 ・今年度の反省と来年度に向けての課題 ・各科より報告 	11

レベル0	・ ・ 未然に防いだ
レベル1	・ ・ 身体的実害はないが影響はある
レベル2	・ ・ 軽度の身体的実害を与えた観察・検査の必要性が生じた
レベル3	・ ・ 重度の実害を与えた検査・治療が必要になる
レベル4	・ ・ 事故が原因で長期的な治療が必要となった その後に影響を与えた
レベル5	・ ・ 事故が原因で死亡した

【インシデント・アクシデント報告】（25年度）

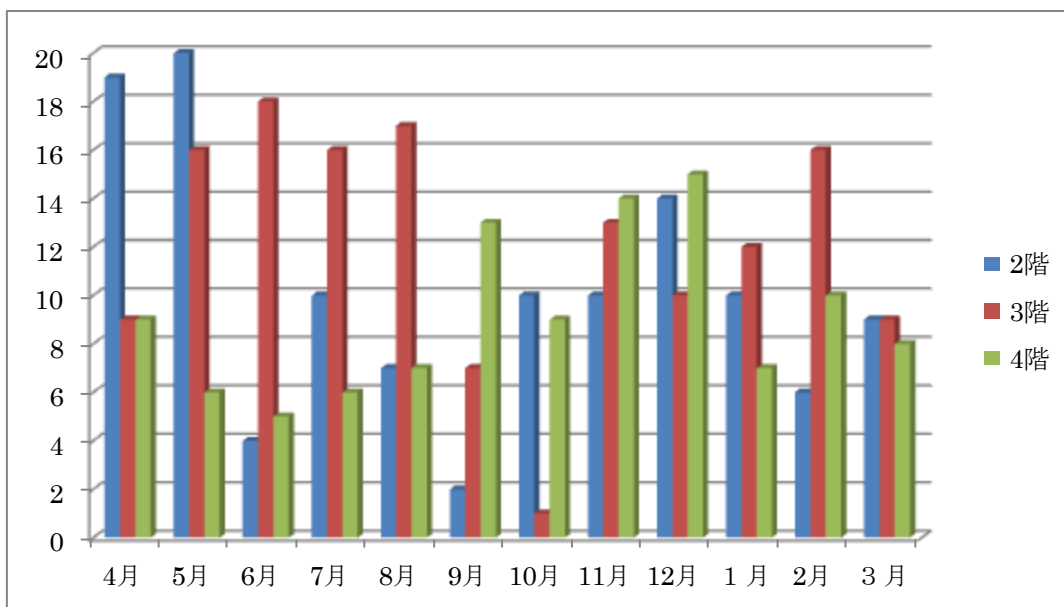
◆インシデント・アクシデント総件数

転倒	誤薬	その他	総件数
374	164	290	828



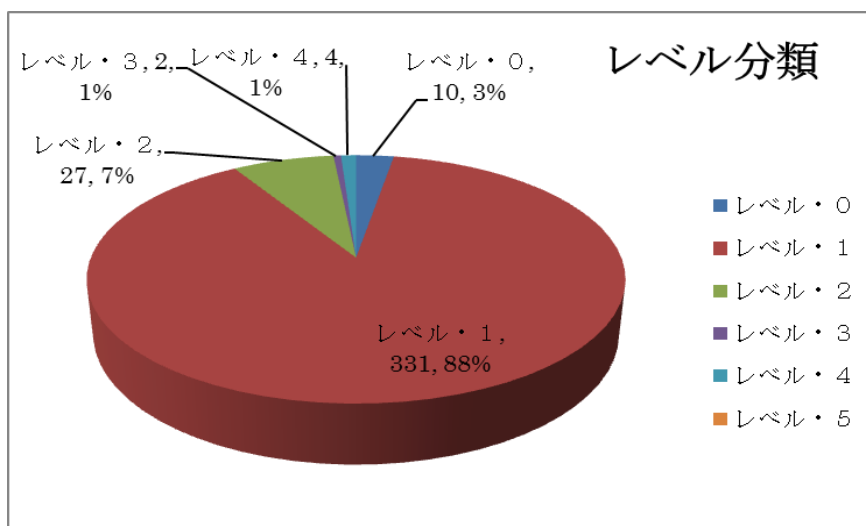
◆転倒件数（病棟・月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	19	20	4	10	7	2	10	10	14	10	6	9	121
3F	9	16	18	16	17	7	1	13	10	12	16	9	144
4F	9	6	5	6	7	13	9	14	15	7	10	8	109
計	37	42	27	32	31	22	20	37	39	29	32	26	374



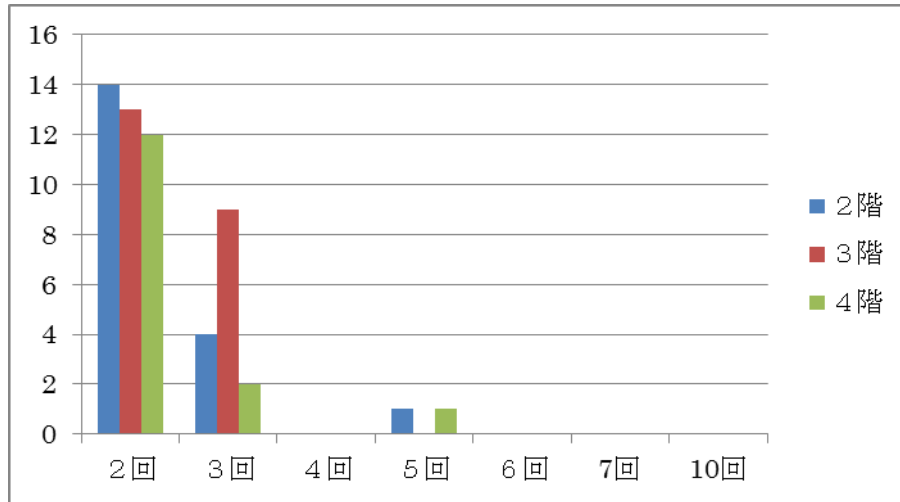
◆転倒件数（レベル別）

レベル	0	1	2	3	4	5	計
	10	331	27	2	4	0	374



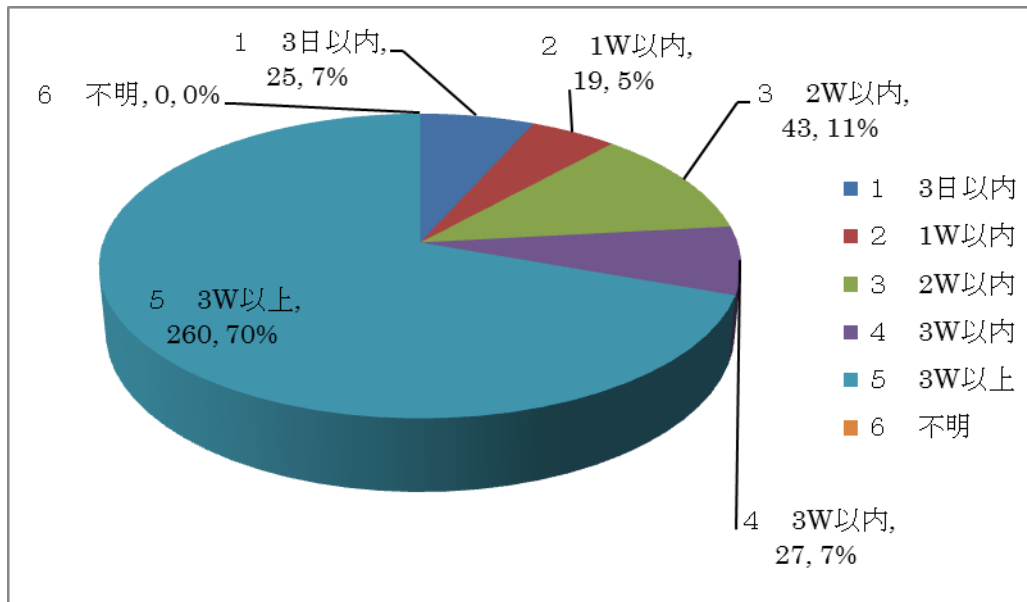
◆転倒件数（回数別）

	2回	3回	4回	5回	6回	7回	10回	計
2F	14	4	0	1	0	0	0	19
3F	13	9	0	0	0	0	0	22
4F	12	2	0	1	0	0	0	15
計	39	15	0	2	0	0	0	56



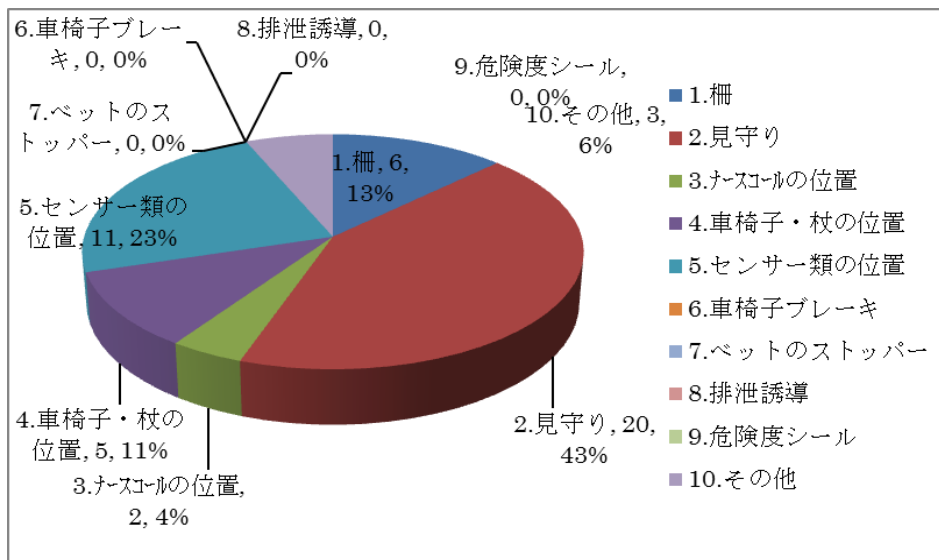
◆転倒件数（期間別）

3日以内	1W以内	2W以内	3W以内	3W以上	不明	計
25	19	43	27	260	0	374



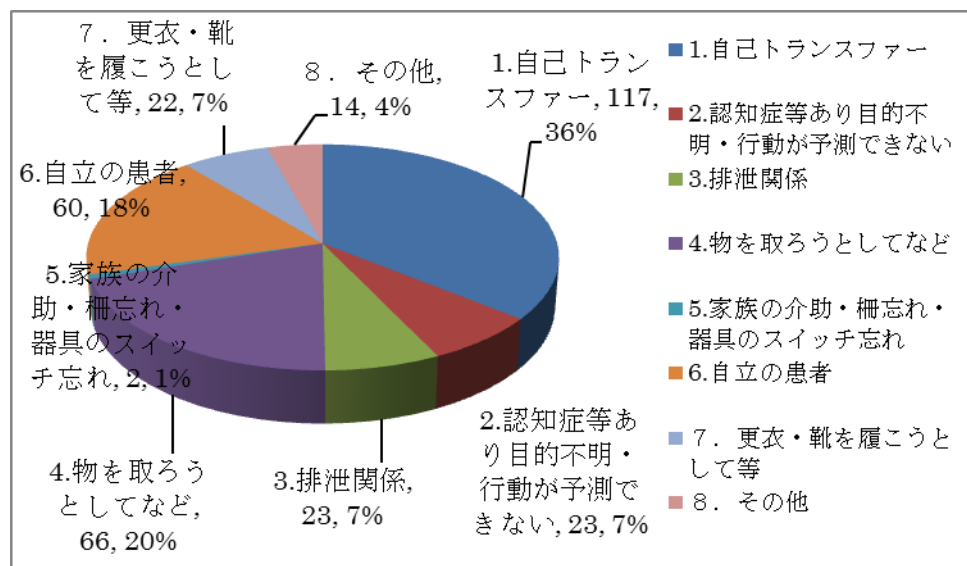
◆転倒・転落件数（約束違反あり）

柵	見守り	ナースコールの位置	車椅子杖位置	セオ類の位置	車椅子ブレーキ	ベッドのストッパー	排泄誘導	危険度シール	その他	計
6	20	2	5	11	0	0	0	0	3	47



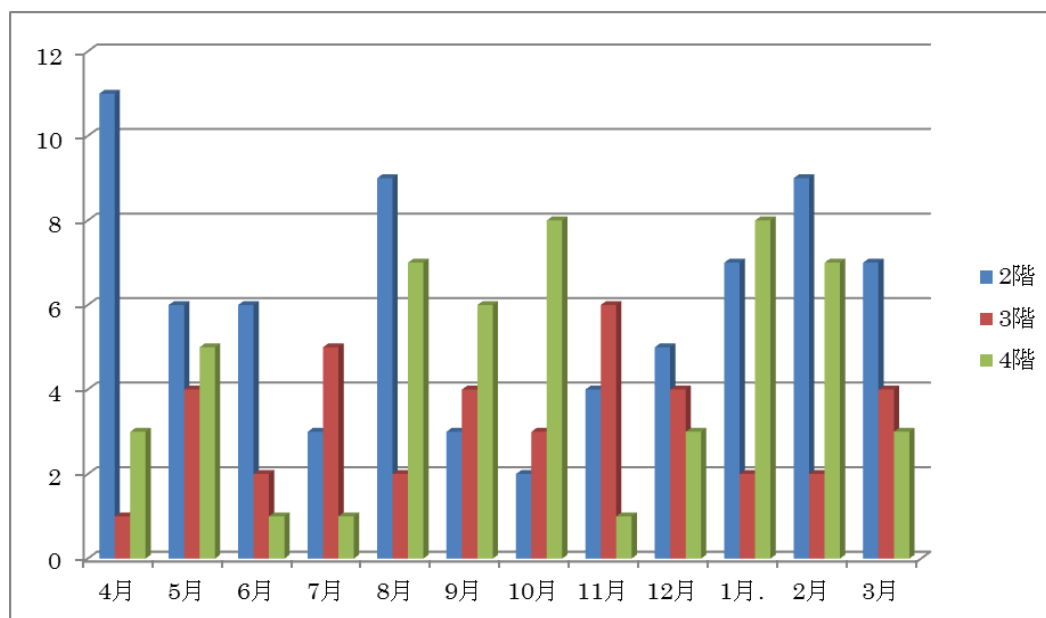
◆転倒・転落件数（約束違反なし）

自己トランスファー	認知症等あり 目的不明・行動 予測できない	排泄関係	物を取ろう として等	家族の介助・ 柵及び器具の スイッチ忘れ	自立の患者	更衣・靴を 履こうとして	その他	計
117	23	23	66	2	60	22	14	327



◆誤薬件数（病棟・月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	11	6	6	3	9	3	2	4	5	7	9	7	72
3F	1	4	2	5	2	4	3	6	4	2	2	4	39
4F	3	5	1	1	7	6	8	1	3	8	7	3	53
計	15	15	9	9	18	13	13	11	12	17	18	14	164

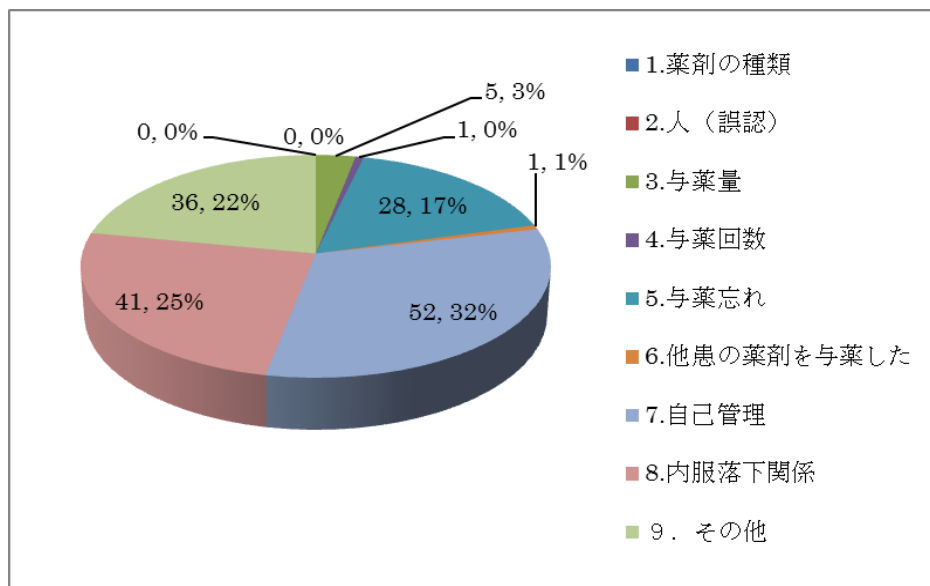


◆誤薬件数（レベル別）

レベル	0	1	2	3	4	5	計
	13	143	8	0	0	0	164

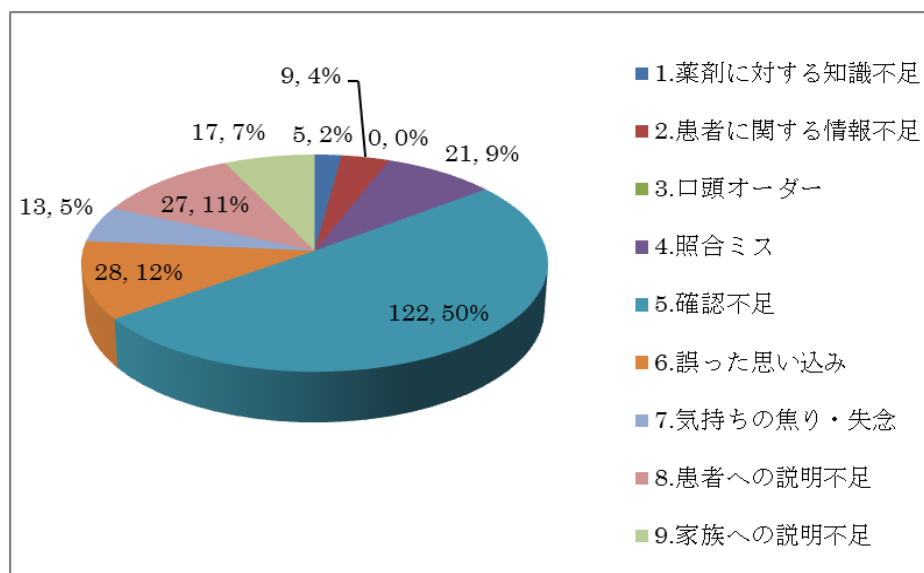
◆誤薬件数（項目別）

薬剤の種類	人（誤認）	与薬量	与薬回数	与薬忘れ	他患の薬剤を与薬	自己管理	内服落下関係	その他	計
0	0	5	1	28	1	52	41	36	164



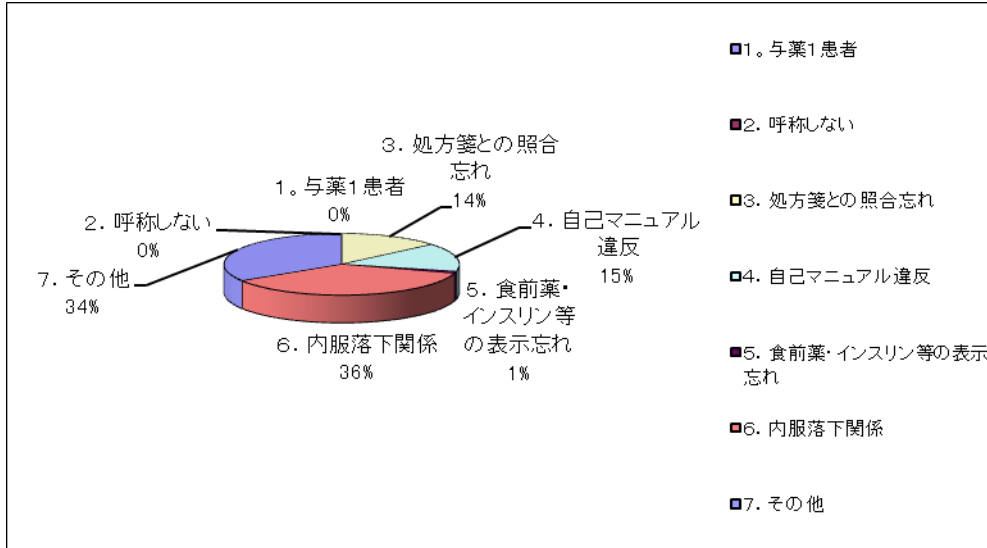
◆誤薬件数（原因別）

薬剤に対する知識不足	患者に対する情報不足	口頭オーダー	照合ミス	確認不足	誤った思い込み	気持ちの焦り・失念	患者への説明不足	家族への説明不足	計
5	9	0	21	122	28	13	27	17	242



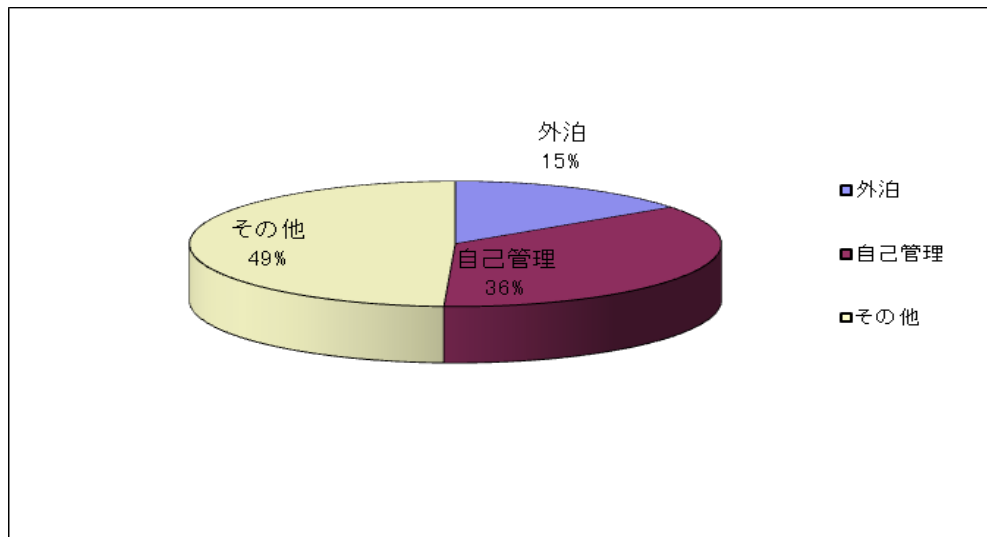
◆誤薬件数（約束違反あり）

1 与薬 1 患者	呼称 なし	処方箋との 照合忘れ	自己マニュアル 違反	食前薬・インスリン 等の表示忘れ	内服落 下関係	その他	計
0	0	13	14	1	34	32	94



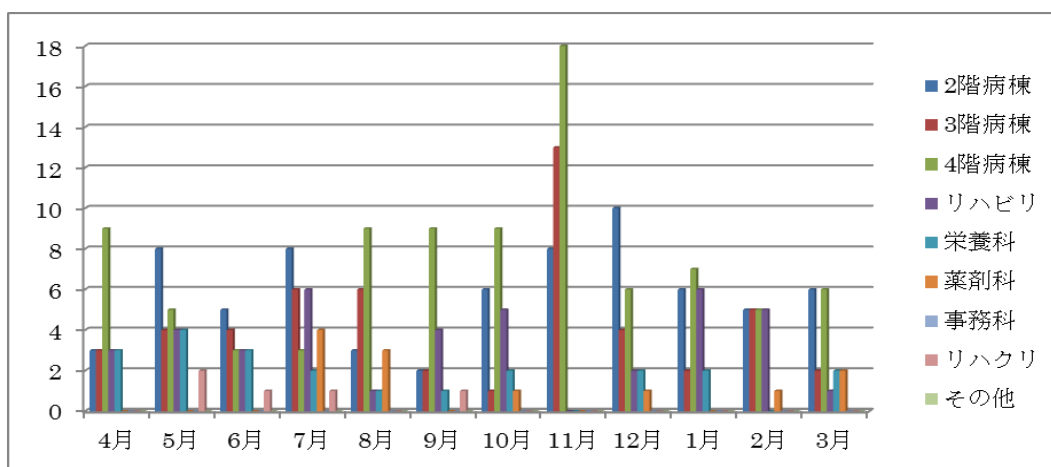
◆誤薬件数（約束違反なし）

外泊	自己管理	その他	計
11	26	36	73



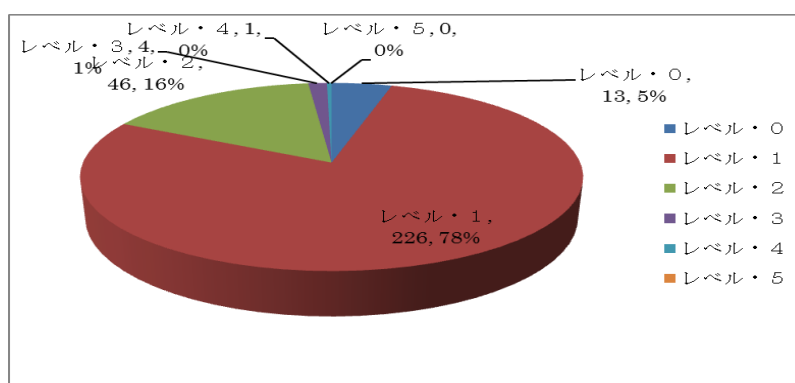
◆その他のインシデント・アクシデント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	3	8	5	8	3	2	6	8	10	6	5	6	70
3F	3	4	4	6	6	2	1	13	4	2	5	2	52
4F	9	5	3	3	9	9	9	18	6	7	5	6	89
リハビリ	3	4	3	6	1	4	5	0	2	6	5	1	40
栄養科	3	4	3	2	1	1	2	0	2	2	0	2	22
薬剤科	0	0	0	4	3	0	1	0	1	0	1	2	12
事務課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハック	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	21	27	19	30	23	19	24	39	25	23	21	19	290



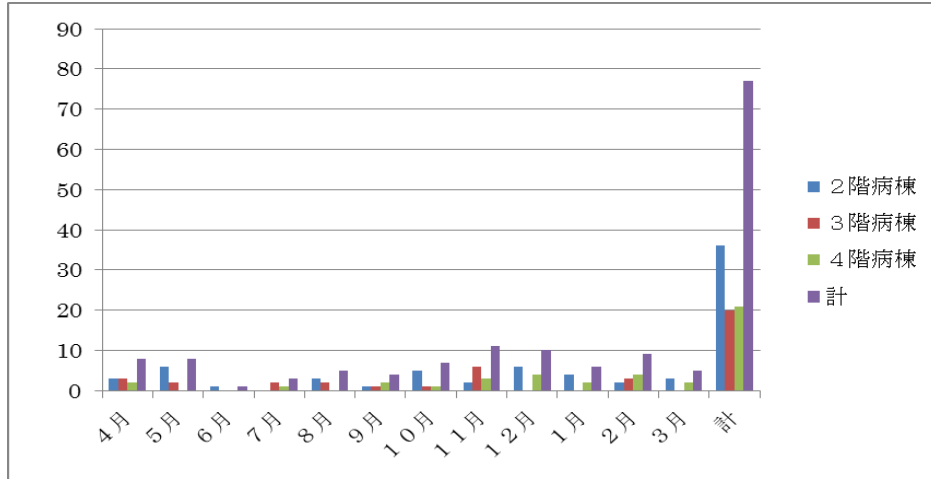
◆その他インシデント・アクシデント件数（レベル分類）

レベル	0	1	2	3	4	5	計
	13	226	46	4	1	0	290



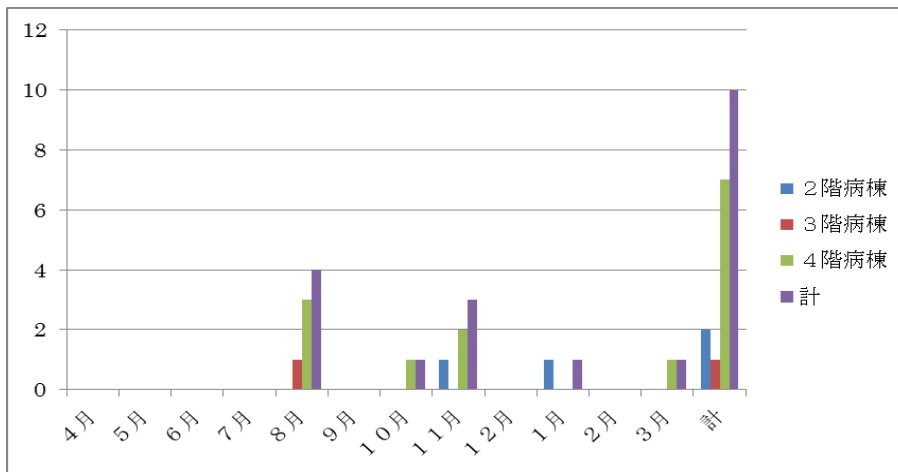
◆離棟件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	3	6	1	0	3	1	5	2	6	4	2	3	36
3F	3	2	0	2	2	1	1	6	0	0	3	0	20
4F	2	0	0	1	0	2	1	3	4	2	4	2	21
計	8	8	1	3	5	4	7	11	10	6	9	5	77



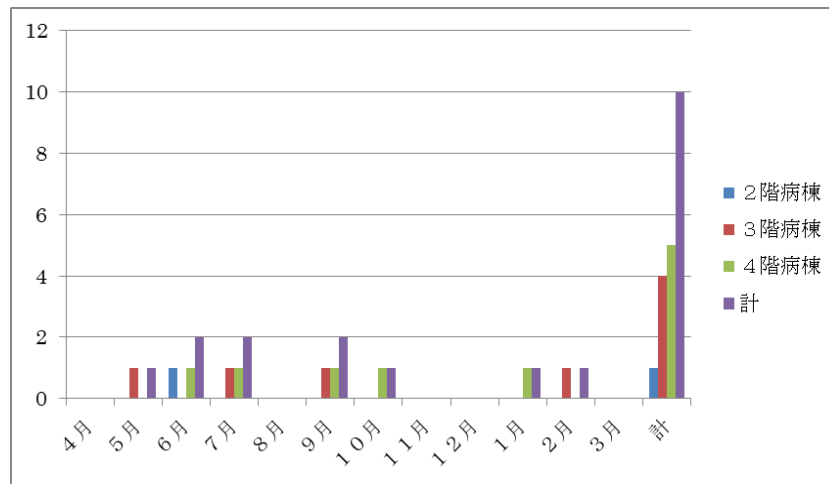
◆離院件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
3F	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
4F	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	1	7
計	0	0	0	0	4	0	1	3	0	1	0	1	10



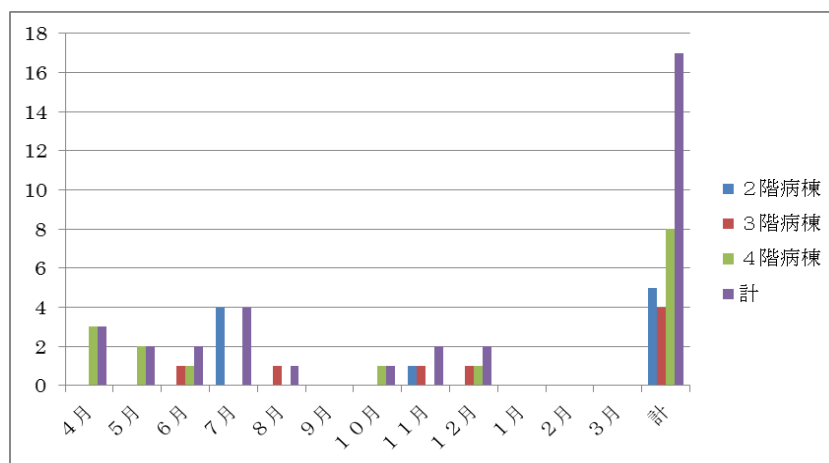
◆誤配膳数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3F	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4
4F	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	5
計	0	1	2	2	0	2	1	0	0	1	1	0	10



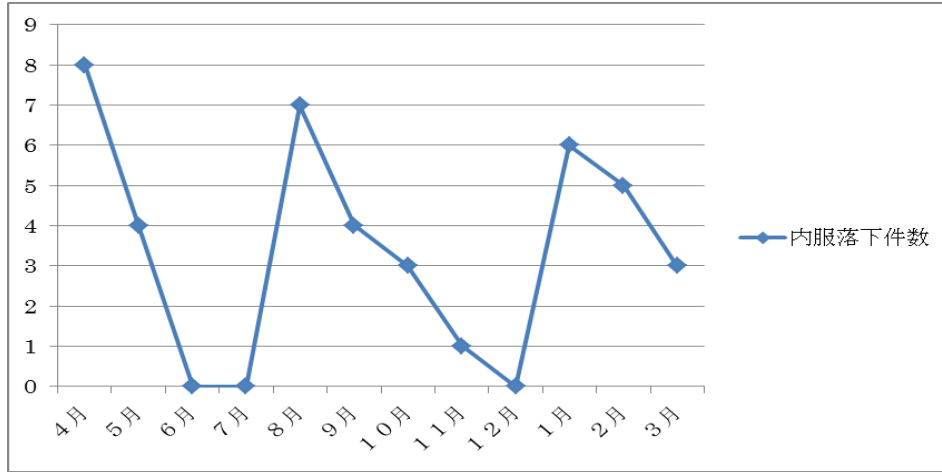
◆チューブトラブル件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2F	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
3F	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4
4F	3	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8
計	3	2	2	4	1	0	1	2	2	0	0	0	17



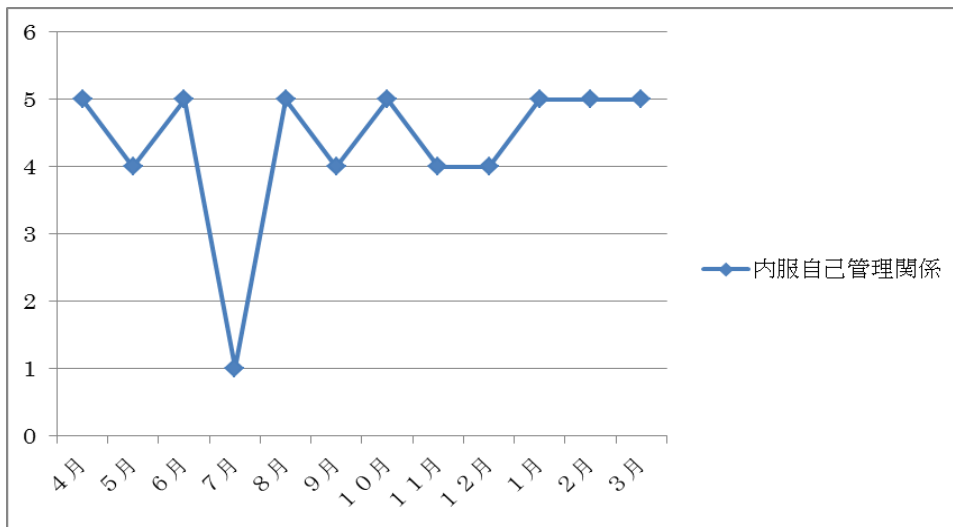
◆内服落下件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	8	4	0	0	7	4	3	1	0	6	5	3	41



◆内服自己管理関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	5	4	5	1	5	4	5	4	4	5	5	5	52



(12) 医療ガス安全管理委員会

総務課係長 川原大輔

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕佐藤信也院長

〔委員〕荻野彰事務長、黒井有子看護部長、古賀雅恵係長(薬剤)

〔オブザーバー〕今井敏彦課長(戸田中央総合病院施設課)、東京エアウォーター(株)

〔事務局〕川原大輔係長(総務)

【目的】

医療ガス施設の安全管理を図り、患者の安全を確保するために、医療ガスに関する各種の事項について審議する。

【報告】

医療ガス配管設備の安全点検

日時：①平成 25 年 7 月 26 日 ②平成 26 年 1 月 16 日

結果：①異常なし ②異常なし

(13) 栄養管理委員会

栄養科係長 藤本美穂

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕西野誠一医師

〔副委員長〕藤本美穂栄養科係長

〔委員〕荻野彰事務長、黒井有子看護部長、兼本佐和子(認定看護師)、林奈央子(看護)
佐藤純子(看護)、田鎖愛里(看護)、堀口紗智(リハ)、伊藤恵(栄養)

【主旨】

栄養・給食業務の改善等に関する重要事項を審議し、かつ関係部門との連絡調整の円滑化を図る。

【目的】

審議事項は、食事基準・献立・栄養指導・各種調査等、栄養・給食業務の改善及び患者サービスの向上等に関するものとする。

【報告】

議事録による

(14) 防災対策委員会

総務課係長 川原大輔

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 荻野彰事務長

〔委員〕 黒井有子看護部長、日坂典子課長(看護)、橋本祐子係長(看護)、今川寛海係長(看護)
湯浅晃史主任(リハ)、小川留美子(医療福祉)、楊箒有理(薬剤)、深田美佳(栄養)

〔事務局〕 川原大輔係長(総務)

【目的】

法令に基づき設置し、併せて院内の特定事項に関する院長の諮問機関として設置する。

【審議事項】

- ア. 防火、防災に関する院長からの指示事項
- イ. 消防計画の立案と変更
- ウ. その他病院の防火、防災に必要な事項
- エ. 年度重点項目
- オ. 各部署訓練計画の策定
- カ. 防災倉庫の設置と非常食等防災用品の充実

【報告】

ア. 消防訓練

平成 25 年 7 月 25 日(木) 参加数 62 名

平成 26 年 3 月 27 日(木) 参加数 36 名

イ. 消防用設備等点検

平成 25 年 8 月 17 日(土)

点検者：能美防災㈱

点検内容：自動火災報知設備、非常用放送設備、ガス漏れ火災警報設備、消防水利、消火器設備、防火・防排煙設備、誘導灯設備、スプリンクラー設備、避難器具設備、自家発電設備、火災通報装置

平成 26 年 2 月 1 日(土)

点検者：能美防災㈱

点検設備：自動火災報知設備、非常用放送設備、ガス漏れ火災警報設備、消防水利、消火器設備、防火・防排煙設備、誘導灯設備、スプリンクラー設備、避難器具設備、自家発電設備、火災通報装置

ウ. 防災実施点検報告書の作成・管理

エ. 年末年始、ゴールデンウィーク防災管理体制

オ. 各種マニュアル・規程の作成・配布・遵守の指導・消防計画、大規模災害マニュアル、新入職員への防災心得

(15) 薬事委員会

薬剤科係長 古賀雅恵

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕佐藤信也院長

〔委員〕荻野彰事務長、黒井有子看護部長、古賀雅恵係長(薬剤)

【目的】

病院における使用薬品の評価及び新規薬品の採用、その他業務の合理化に資する事項を検討し、病院運営の効率化を図ることを目的とする。

【開催】

3ヶ月に1回(平成 25 年 5 月 31 日、8 月 23 日、11 月 14 日、平成 26 年 3 月 6 日)

【報告】

〔新規採用薬〕

No	薬剤名	No	薬剤名
1	エンピナス・P カプセル 9000	3	イコサベント酸エチル粒状カプセル 900 mg 「日医工」
2	アーチスト錠 2.5 mg		

〔口座末梢薬剤〕

No	薬剤名	No	薬剤名
1	サリペックス錠 20 mg	3	オイラックスクリーム 10%
2	テルフィス点滴静注		

〔名称変更〕

No	薬剤名
1	プラバスタチンナトリウム錠 5 mg 「日医工」 (←メバン錠 5)
2	ジルチアゼム塩酸塩徐放カプセル 100 mg 「日医工」 (←コロヘルサーR100)
3	リマプロストアルファデクス錠 5µg 「日医工」 (←オパプロスモン錠)
4	ニカルジピン塩酸塩徐放カプセル 40 mg 「日医工」 (←サリペックス LA カプセル 40 mg)
5	ウルソデオキシコール酸錠 100 mg 「JG」 (←レプター錠 100)
6	ニフェジピン L 錠 10mg 「トーワ」 (←トーワラート L 上 10mg)
7	カモスタットメシル酸塩錠 100 mg 「日医工」 (←カモステート錠 100 mg)
8	エチゾラム錠 0.5 mg 「トーワ」 (←エチカム錠 0.5 mg)
9	プロチゾラム錠 0.25 mg 「トーワ」 (←ゼストロミン錠 0.25 mg)
10	テオフィリン徐放錠 100 mg 「日医工」 (←セキロイド錠 100 mg)
11	チクロピジン塩酸塩錠 100 mg 「トーワ」 (←パチュナ錠 100 mg)
12	バルプロ酸ナトリウムシロップ 5% 「日医工」 (←セレブシロップ 5%)
13	ベタヒスチンメシル酸塩錠 6 mg 「トーワ」 (←メニタジン錠 6 mg)
14	セファゾリンナトリウム注射用 1g 「日医工」 (←ラセナゾリン注射用 1g)

[薬剤の切り替え]

No	薬剤名	No	薬剤名
1	リシノプリル錠 10 mg 「タイヨー」 (←エナラプリルマレイン酸塩錠 5 mg 「日医工」)	6	ファモチジン静注 10mg 「日新」 (←ファモチジン注射用 10mg 「サワイ」)
2	コカール錠 200 mg (←カロナール錠 200)	7	シロスタゾール OD 錠 100 mg 「サワイ」 (←シロスタゾール錠 100 mg 「サワイ」)
3	センノサイド錠 12 mg (←センノシド錠 12 mg 「タイヨー」)	8	エビプロスタット配合錠 SG (←エルサメット配合錠)
4	ナテグリニド錠 90 mg 「日医工」 (←スターシス錠 90 mg)	9	ニコランジル錠 5 mg 「日医工」 (←ニコランマート錠 5 mg)
5	ロサルタンカリウム錠 25 mg 「NP」 (←オルメテック錠 10 mg)		

[要時採用薬]

No	薬剤名	No	薬剤名
1	ベゲタミン A 配合錠	22	ノイロトロピン錠 4 単位
2	本草加味逍遥散エキス顆粒	23	リーマス錠 200
3	ベサコリン散 5%	24	アドエア 250 ディスカス 60 吸入用
4	ファンミル R 錠 150 mg	25	フルタイド 100 ロタディスク
5	アナフラニール錠 10 mg	26	バクタ配合錠
6	アザルフィジン EN 錠 500 mg	27	ユーロジン 2 mg 錠
7	フォリアミン錠	28	ペルサンチン L カプセル 150 mg
8	カルナクリン錠 50	29	フランドルテープ 40 mg
9	アシクロビル錠 400 mg 「サワイ」	30	デスマプレシン点鼻液 0.001%
10	アドナ錠 30 mg	31	ベセラール錠 250µg
11	ペプリコール錠 50 mg	32	フェロミア錠 50 mg
12	エビスタ錠 60 mg	33	アルドメット錠 250
13	ビ・シフロール錠 0.5 mg	34	ミルナシブラン錠 25 mg 「AFP」
14	ソタコール錠 80 mg	35	エルカルチン錠 300 mg
15	ガスコン錠 40 mg	36	ペンタサ錠 500 mg
16	プラザキサカプセル 75 mg	37	リレンザ
17	レミニール OD 錠 8 mg	38	アキネトン錠 1 mg
18	スピリーバ 2.5µg レスピマット 60 吸入		
19	ドネペジル塩酸塩 OD 錠 3 mg 「日医工」		
20	カモスタットメシル酸塩錠 100 mg 「日医工」		
21	プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg 「日医工」		

(16) 安全衛生委員会

総務課係長 川原大輔

【人員構成】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔委員長〕 露口都子医師

〔委員〕 荻野彰事務長、黒井有子看護部長、中川崇之主任（リハ）、桜井孝係長（医事）

【目的】

労働基準法第 18 条に基づき、下記事項について調査審議する

- ア. 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- イ. 健康の保持促進を図るための基本となるべき対策に関すること
- ウ. 労働災害の原因及び再発防止対策で衛生にかかるものに関すること
- エ. 労働者の健康障害の防止及び健康の保持促進に関する重要事項について

【報告】

ア. 雇入時健康診断

25 年度中途入職者を対象に実施

実施医療機関：戸田中央総合健康管理センター

イ. 定期健康診断

夜勤従事者対象 平成 25 年 8 月 28 日（水）～29 日（木） 64 名実施

全従事者対象 平成 26 年 2 月 25 日（火）～27 日（木） 222 名実施

[差出人の会社名を入力]

[差出人の会社の住所を入力]・[差出人の電話番号を入力]・[差出人の電子メール アドレスを入力]

地域との交流

地域との交流

【ボランティア受入報告】

No	月日	活動内容	団体・個人	活動時間	活動場所
1	5/19	春ふれあいコンサート	コンセール・ルネッサ吹奏楽団	13:30	各階食堂
2	11/17	秋のコンサート	リハビリテーション部 鈴木勝年、渡辺有希子	14:00	各階食堂
3	毎月 第3日曜日	絵手紙の会	絵手紙教室 大石里子	15:00	各階食堂

【介護教室】

※看護部門内、「介護教室推進委員会」をご参照下さい。

【地域リハビリテーション研究会】

(1) 第16回地域リハビリテーション研究会

- 日 時：平成25年4月25日（火）18:00～20:00
- 内 容：「シーティングの基礎から対応まで」
- 講 師：小峰隆弘（理学療法士）
- 参 加 者：53名（19施設）

(2) 第17回地域リハビリテーション研究会

- 日 時：平成25年8月26日（月）18:00～20:00
- 特別講演：「ボトックスの痙性麻痺への効果と臨床応用」
- 講 師：栢森良二（帝京大学医学部リハビリテーション科教授）
- 内 容：「クッションの機能と選び方について」
- 講 師：小峰隆弘（理学療法士）
- 参 加 者：51名（23施設）

(3) 第18回地域リハビリテーション研究会

- 日 時：平成25年11月27日（水）18:00～20:00
- 内 容：「車椅子の機能と選び方の実践 ～症例検討とグループワークを通じて～」
- 講 師：小峰隆弘（理学療法士）
- 参 加 者：38名（14施設）

2013 病院年報

【発行者】

医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院
〒335-0023
埼玉県戸田市本町1-14-1

【編集】

責任者：院長 佐藤 信也
副責任者：事務長 荻野 彰

【編集担当】

広報委員会